

第2次黒部市総合振興計画 前期基本計画

大自然のシンフォニー 文化・交流のまち 黒部

[対象期間（5カ年）：平成30年度～令和4年度]

令和2年度実績報告書

令和3年9月

黒 部 市

◆実績(令和2年度)報告書作成にあたって	1
◆総括表	1
◆各事業メニュー(個別事業)の事業内容、事業費、成果・検証等	
1 自然と共生し、安全で安心して暮らせるまちづくり	
1-1 自然環境の保全	2
1-2 河川・海岸環境の保全と整備	3
1-3 森林環境の保全と活用	4
1-4 水の保全と活用	5
1-5 循環型社会の形成	5
1-6 消防・防災体制の充実	6
1-7 交通安全・防犯対策の充実	7
2 地域の活力を生み出す産業育成のまちづくり	
2-1 農林水産業の振興	9
2-2 工業の振興	12
2-3 商業の振興	13
2-4 観光の振興	14
3 都市基盤の充実した住みやすいまちづくり	
3-1 公共交通対策の推進	16
3-2 道路の整備	17
3-3 市街地・住宅の整備	18
3-4 水道の整備	19
3-5 下水道の整備	19
3-6 公園・緑地の整備	20

4 健やかで笑顔あふれる、ぬくもりのあるまちづくり	
4-1 保健・医療の充実	21
4-2 地域福祉の充実	22
4-3 高齢者福祉の充実	23
4-4 障がい者福祉の充実	25
4-5 子育て支援への対応	25
5 豊かな心と生きがいを育み、人が輝くまちづくり	
5-1 家庭教育の充実	27
5-2 学校教育の充実	27
5-3 青少年の健全育成	29
5-4 生涯学習の推進	30
5-5 芸術文化の振興	31
5-6 スポーツの振興	32
5-7 国際化への対応	33
6 市民と行政が一体となったまちづくり	
6-1 市内外との連携・交流の促進	34
6-2 市民活動支援への取組	34
6-3 人権尊重と男女共同参画の推進	35
6-4 開かれた行政の取組	36
6-5 情報・通信の整備	36
6-6 計画的行政運営の推進	37
6-7 健全財政の推進	38
7 新型コロナウイルス感染症対策事業	39

参 考

◆目標とする指標一覧表(令和2年度実績)	42
----------------------	----

◆実績（令和2年度）報告書作成にあたって

- ①前期基本計画実施計画（平成30年度～令和4年度）の中で位置付けた「事業メニュー」ごとに、事業費（令和2年度計画額及び実績額）及び令和2年度の計画目標に対する成果・検証等を施策の体系に基づき示してあります。また、事業メニューの中の各個別事業については、その事業主体、実施年度、事業担当課及び令和2年度中に実施した主な事業内容を整理しています。
（注 担当課名は令和2年度の所管課名を記載）
- ②「事業メニュー」ごとの事業費（計画額及び実績額）合計は、市が予算として支出する事業額を対象とします。したがって、国及び県が事業主体のものなどは、その事業負担金など市が予算に計上する分を事業費として整理しています。また、人件費、庁内内部の管理費・事務費、公債費、債務負担行為、法定受託事務などは、事業費の対象外としています。なお、今回の取りまとめにあたって、年度途中の補正等を加味して、事業費の再精査を行っています。
- ③令和2年度の実績額及びその財源内訳は、上記を踏まえ、令和2年度において執行した事業費実績額と財源内訳を整理しています。また、この実績報告書は、本市の施策の進捗管理の手法であるPlan（計画）、Do（実施）、Check（検証・評価）、Action（改善）のPDCAサイクルによる柔軟かつ効果的な事業展開を行うことを目的に作成しています。
- ④各基本事業の中で設定した目標指標については、総合振興計画上の進行管理に資するために84項目が設定されています。その指標の達成状況について、令和2年度実績値及び進捗状況に係る分析等を記載しています。

※新型コロナウイルス感染症対策事業については、前期基本計画には位置付けられていないものの、金額、事務量ともに大きく、市の重要な施策として計画的に実施したものであることから、今回の実績報告書に含めることとします。ただし、その特殊性から6つのまちづくり方針とは別に整理します。

《参考附記》

各事業メニューは、前期基本計画に位置付けた一般会計及び特別会計・企業会計すべての対象事業をもとに整理しています。

P2以降の実績シートの見方

- ①各事業メニューのうち、重点事業メニューは で表記
- ②各個別事業のうち、一般会計以外の事業は で表記
- ③各個別事業のうち、ハード事業（投資的経費）に係るものは ※ で表記
- ④右端の「R2実績に対する成果・検証等」欄に、【検証】、【次年度対応】を記載しています。また、主な成果や特殊要因等がある場合は個別に記載しています。

◆総括表

単位：千円

まちづくり方針 施策名	R2年度 計画額計 【A】	R2年度 実績額計 【B】	R2年度					前期5カ年 (H30-R4年度) 計画額計【C】	H30-R2年度 実績額計 【D】
			国費	県費	地方債	その他	一般財源		
1. 自然と共生し、安全で安心して暮らせるまちづくり	1,080,816	808,160	1,286	10,098	21,700	336,200	438,876	6,207,918	2,816,973
- 1 自然環境の保全	29,066	27,081	0	2,564	0	5,366	19,151	151,184	86,046
- 2 河川・海岸環境の保全と整備	1,703	1,359	0	0	0	0	1,359	21,939	9,063
- 3 森林環境の保全と活用	26,706	22,669	0	5,389	1,500	9,915	5,865	107,895	71,060
- 4 水の保全と活用	2,781	1,133	0	0	0	578	555	20,826	10,668
- 5 循環型社会の形成	614,258	585,435	0	1,486	0	311,573	272,376	2,960,826	1,725,162
- 6 消防・防災体制の充実	359,811	148,257	1,286	323	20,200	4,764	121,684	2,806,733	836,432
- 7 交通安全・防犯対策の充実	26,491	22,226	0	336	0	4,004	17,886	138,515	78,542
2. 地域の活力を生み出す産業育成のまちづくり	1,217,655	1,105,210	66,902	176,377	139,000	156,525	566,406	6,174,243	3,545,612
- 1 農林水産業の振興	962,284	885,229	54,332	172,397	129,700	129,848	398,952	4,818,926	2,787,187
- 2 工業の振興	36,544	21,053	2,016	450	0	0	18,587	166,165	68,110
- 3 商業の振興	27,569	23,750	0	0	0	260	23,490	128,624	68,599
- 4 観光の振興	191,258	175,178	10,554	3,530	9,300	26,417	125,377	1,060,528	621,716
3. 都市基盤の充実した住みやすいまちづくり	3,438,182	3,265,827	980,141	21,985	1,171,179	569,494	523,028	15,379,459	8,358,891
- 1 公共交通対策の推進	110,377	103,164	155	4,937	200	24,000	73,872	884,179	478,088
- 2 道路の整備	1,160,690	1,059,662	333,103	1,035	322,806	710	402,008	5,209,210	2,362,787
- 3 市街地・住宅の整備	637,326	629,909	313,646	15,779	240,800	27,931	31,753	2,402,934	1,475,448
- 4 水道の整備	478,709	450,914	0	0	286,300	164,614	0	2,450,782	1,352,378
- 5 下水道の整備	929,520	901,850	282,968	234	268,373	343,773	6,502	3,988,288	2,429,692
- 6 公園・緑地の整備	121,560	120,328	50,269	0	52,700	8,466	8,893	444,066	260,498
4. 健やかで笑顔あふれる、ぬくもりのあるまちづくり	5,700,408	5,295,518	902,669	585,687	1,003,300	488,035	2,315,827	23,691,195	13,581,604
- 1 保健・医療の充実	1,510,906	1,440,066	32,038	101,945	1,000,000	52,772	253,311	3,938,315	2,637,839
- 2 地域福祉の充実	29,271	28,388	6,011	8,490	0	10,228	3,659	209,898	81,544
- 3 高齢者福祉の充実	1,421,657	1,381,888	0	101,433	3,300	129,533	1,147,622	7,002,334	4,102,189
- 4 障がい者福祉の充実	958,970	904,151	404,685	177,559	0	44,793	277,114	4,306,884	2,521,988
- 5 子育て支援の充実	1,779,604	1,541,025	459,935	196,260	0	250,709	634,121	8,233,764	4,238,044
5. 豊かな心と生きがいを育み、人が輝くまちづくり	1,539,392	1,330,807	259,030	3,699	383,700	113,045	571,333	9,970,084	5,119,876
- 1 家庭教育の充実	100	100	0	0	0	0	100	500	300
- 2 学校教育の充実	773,461	590,686	78,039	1,805	90,100	37,016	383,726	5,277,814	3,604,532
- 3 青少年の健全育成	3,429	2,137	0	740	0	765	632	16,045	7,293
- 4 生涯学習の推進	290,384	287,270	146,747	0	78,000	1,886	60,637	3,272,131	438,402
- 5 芸術文化の振興	304,847	297,265	642	1,154	173,900	25,500	96,069	845,067	627,214
- 6 スポーツの振興	159,306	147,154	33,602	0	41,700	47,866	23,986	507,901	417,405
- 7 国際化への対応	7,865	6,195	0	0	0	12	6,183	50,626	24,730
6. 市民と行政がともに支えるまちづくり	919,315	872,713	732	74,642	0	90,743	706,596	4,796,672	2,770,869
- 1 市内外との連携・交流の促進	418,151	401,824	600	0	0	8,942	392,282	2,123,842	1,245,546
- 2 市民活動支援への取組	128,910	119,591	0	0	0	35,725	83,866	631,116	356,250
- 3 人権尊重と男女共同参画の推進	1,073	1,031	0	187	0	0	844	6,218	3,906
- 4 開かれた行政への取組	39,736	38,873	0	0	0	916	37,957	203,213	116,037
- 5 情報・通信の整備	151,897	150,099	0	0	0	0	150,099	808,043	530,551
- 6 計画的行政運営の推進	65,397	51,399	0	0	0	3,082	48,317	289,239	123,655
- 7 健全財政の推進	114,151	109,896	132	74,455	0	42,078	-6,769	735,001	394,924
小 計	13,875,768	12,678,235	2,210,760	872,488	2,718,879	1,754,042	5,122,066	66,219,571	36,193,824
7. 新型コロナウイルス感染症対策事業	5,312,934	4,976,532	4,831,774	8,902	0	112,365	23,491	5,312,934	4,976,532
総 計	19,188,702	17,654,767	7,042,534	881,390	2,718,879	1,866,407	5,145,557	71,532,505	41,170,356

R2 計画額計【A】	R2 実績額計【B】	R2 執行率 【B/A】%	前期5カ年 (H30-R4) 計画額計【C】	H30-R2 実績額計(3/5年) 【D】	H30-R3 執行率(3/5年) 【D/C】%
19,188,702	17,654,767	92.0%	71,532,505	41,170,356	57.6%

まちづくり方針等 No.	戦略 ハ ド	個別事業	事業 主 体	実施 年 度	担当課	R2事業の内容	R2 計 画 額 計 【A】	R2 実 績 額 計 【B】						R2 執 行 率 【B/A】 %	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
								R2 国 費	R2 県 費	R2 地 方 債	R2 其 他	R2 一 般 財 源			
【まちづくり方針】 1 自然と共生し、安全で安心して暮らせるまちづくり							1,060,816	808,160	1,286	10,098	21,700	336,200	438,876	76.2	
《施策区分》 1 自然環境の保全							29,066	27,081	0	2,564	0	5,366	19,151	93.2	
【基本事業(施策中分類)】 ① 環境保全・美化対策事業							23,338	21,592	0	2,564	0	5,000	14,028	92.5	
(事業メニュー) 1 地球温暖化対策の推進							300	300	0	0	0	0	300	100.0	【検証】 新型コロナウイルス感染症の影響によりアクアパークフェスティバル時のエコライフイベントが中止となったが、代替として食品ロス削減啓発を実施した。 【次年度対応】 継続して実施する。新型コロナウイルス感染症拡大が懸念される場合は代替事業を実施予定。
1-1	◆	地球温暖化防止対策普及啓発事業	県・市	継続	市民環境課	地球温暖化防止環境教育、普及啓発イベントの実施									
1-2		地球温暖化防止計画策定事業	市	継続	市民環境課	-									
(事業メニュー) 2 環境マネジメントシステム(EMS)の推進							34	0	0	0	0	0	0	0.0	【検証】 内部監査の実施。 【次年度対応】 職員研修及び内部監査を継続実施する。
2-1		環境マネジメントシステム(EMS)の取組	市	継続	総務課	市庁舎及び公共施設におけるEMS取り組みの推進									
(事業メニュー) 3 国立公園(黒部峡谷)の自然保護と環境保全の推進							6,267	5,994	0	526	0	0	5,468	95.6	【検証】 国立公園内のソフト・ハード事業の推進により、環境保全を行った。 【次年度対応】 次年度以降も国立公園内の環境保全に係るソフト・ハード事業を推進し良好な環境保全に努める。
3-1		国立公園内環境保全事業(ソフト事業)	国・県・市 その他	継続	商工観光課	立山黒部環境保全協会黒部支部、黒部峡谷ナチュラリスト研究会、黒部峡谷イワナ放流事業等への助成									
3-2	※	国立公園内環境保全事業(ハード事業)	国・県・市 その他	継続	商工観光課	登山道維持管理									
(事業メニュー) 4 県立自然公園(僧ヶ岳)の自然保護と環境保全の推進							3,494	3,408	0	781	0	0	2,627	97.5	【検証】 予定通り大原台自然公園、僧ヶ岳県立自然公園内の維持管理、登山道補修を実施した。 【次年度対応】 次年度においても適正に維持管理、登山道補修を行い、公園内の環境保全に努める。
4-1	※	僧ヶ岳県立自然公園環境保全事業	県・市	継続	商工観光課	大原台自然公園、県立自然公園内のトイレ(山岳トイレ)の維持管理、僧ヶ岳登山道補修工事									
(事業メニュー) 5 野生鳥獣保護・生息管理の推進							39	39	0	39	0	0	0	100.0	【検証】 県の委託を受け、愛本自然環境保全地域の巡視を年9回実施した。 【次年度対応】 引き続き、適正な管理に向け巡視を実施していく。
5-1		地域巡回事業	市	継続	農林整備課	野生鳥獣生息地の巡視									
(事業メニュー) 6 ジオパーク活動の推進							13,204	11,851	0	1,218	0	5,000	5,633	89.8	【検証】 立山黒部ジオパークの再認定審査として11月に現地調査が行われた結果、再認定となった。地域観光ギャラリーでは3面マルチ映像を制作した。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、来館者が減少したことから、当初予定していたフィールドカードの追加印刷を中止した。 【次年度対応】 立山黒部ジオパークをさらに普及、質的向上を図るため、地域と連携した事業を積極的に進めていく。ジオパーク拠点施設となる地域観光ギャラリーでは、来訪者のご意見や観光動向を考慮しながら、展示改良を進めていく。
6-1	◆	ジオパーク推進事業(ソフト)	市 その他	継続	生涯学習文化課	立山黒部ジオパーク支援自治体協議会員負担、看板管理等									
6-2	◆	※ ジオパーク推進事業(ハード)	市 その他	継続	生涯学習文化課	施設整備									
6-3	◆	フィールドミュージアム事業	市 その他	継続	生涯学習文化課	フィールドミュージアム事業補助金									
6-4	◆	地域観光ギャラリー展示空間の運営(ソフト)	市	継続	生涯学習文化課	展示空間の保守管理・運営									
6-5	◆	※ 地域観光ギャラリー展示空間の運営(ハード)	市	R1 ~	生涯学習文化課	3面マルチ映像制作									
【基本事業(施策中分類)】 ② 公害対策事業							5,728	5,489	0	0	0	366	5,123	95.8	
(事業メニュー) 7 公害発生防止対策の充実							2,107	2,008	0	0	0	66	1,942	95.3	【検証】 河川水及び工場排水の水質調査、大気汚染観測黒部植木観測局や市内3か所の大気汚染基礎調査、自動車騒音常時監視を継続実施し、環境保全状況を数値で確認。 【次年度対応】 経年変化の状況をとらえるために継続して各種環境調査を実施し環境保全状況の把握に努める。
7-1		各種公害調査事業	市	継続	市民環境課	各種環境調査(水質汚濁・大気汚染・自動車騒音)の実施									
(事業メニュー) 8 監視・指導体制の強化							3,621	3,481	0	0	0	300	3,181	96.1	【検証】 環境審議会を開催して環境基本計画の推進状況を委員に報告し、専門機関から事業へのアドバイスを事業に反映。また、旧不燃物処理場の環境整備への補助及び水質検査を行っており、検査結果は基準値内であった。 【次年度対応】 旧不燃物処理場の環境整備への補助及び水質検査を継続して実施して、公害対策の監視を行っていく。
8-1		環境審議会の運営	市	継続	市民環境課	環境審議会開催									
8-2		旧不燃物処理場環境対策事業	市	継続	市民環境課	宮沢及び山田地区内の旧不燃物処理場に係る環境管理									

まちづくり方針等 No.	戦略 ハード	個別事業	事業 主体	実施 年度	担当課	R2事業の内容	R2 計画額計 【A】	R2 実績額計 【B】	R2 国費	R2 県費	R2 地方債	R2 その他	R2 一般財 源	R2 執行率 【B/A】 %	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
《施策区分》 2 河川・海岸環境の保全と整備															
[基本事業(施策中分類)] ① 砂防事業															
(事業メニュー) 9 黒部川上流域など崩壊対策事業の促進															
9-1		砂防事業に関する要望等	市	継続	道路河川課	尾山大谷川改修促進協議会補助金、 富山県治水砂防協会負担金									【検証】 砂防、治水事業等の整備促進のための要望活動、関係機関との連絡調整、協会等への支援を行った。富山県治水砂防協会においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、協会活動を抑制した。 【次年度対応】 砂防、治水事業等の整備促進を図るため、関係機関と連携し、継続して実施予定。
9-2		※ 黒部川砂防事業	国	継続	道路河川課	連絡調整									
9-3		※ 尾山大谷川砂防事業(県ハード)	県	継続	道路河川課	連絡調整									
9-4		※ 小規模急傾斜地崩壊対策事業(砂防事業)	市	R1 ~	道路河川課	-									
(事業メニュー) 10 黒部川総合土砂管理の促進															
10-1		黒部川土砂管理調査	国	継続	道路河川課	連絡調整	0	0	0	0	0	0	0	0	【検証】 運搬排砂・通砂を実施。目標排砂量20万m ³ に対し、12万m ³ となったが、想定変動範囲の約10万~38万m ³ の範囲内であった。環境調査の結果、一時的な環境の変化はあるものの、周囲の環境に大きな影響を及ぼしたとは考えられない。 【次年度対応】 運搬排砂実施機関により、継続して実施予定。
[基本事業(施策中分類)] ② 河川事業															
(事業メニュー) 11 河川改修事業の促進															
11-1		※ 黒部川改修	国	継続	道路河川課	連絡調整	938	784	0	0	0	0	784	83.6	【検証】 河川改修事業の整備促進のための要望活動や関係機関との連絡調整、同盟会等への支援を行った。富山県河川海岸協会においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、協会活動を抑制した。 【次年度対応】 河川改修事業の整備促進を図るため、関係機関と連携して取り組む。継続して実施予定。
11-2	◆	黒瀬川改修(ソフト)	市	継続	道路河川課	黒瀬川改修促進期成同盟会補助金、 富山県河川海岸協会会費									
11-3		※ 黒瀬川改修(ハード)	県	継続	道路河川課	連絡調整									
11-4	◆	片貝川広域基幹河川改修(布施川工区)(ソフト)	市	継続	道路河川課	片貝川布施川河川総合整備促進期成 同盟会負担金、片貝川長大橋建設促 進協議会負担金									
11-5		※ 片貝川広域基幹河川改修(布施川工区) (ハード)	県	継続	道路河川課	連絡調整									
11-6	◆	※ 準用河川生地西背戸川改修	市	R4	道路河川課	改修工事									
(事業メニュー) 12 黒部川の水環境改善の促進															
12-1		黒部川水辺の賑わい創出の取組	市	R1 ~	道路河川課	-	0	0	0	0	0	0	0	0	【検証】 新型コロナウイルス感染症拡大の防止のためイベントや活動を中止した。 【次年度対応】 黒部川の魅力を広くアピールし、水辺を取り巻く活動を活性化させるため、関係機関と連携して取り組む。
(事業メニュー) 13 河川環境保全・美化活動の推進															
13-1	◆	準用河川維持管理	市	継続	道路河川課	水辺の楽校維持管理委託費、維持費 (浚渫、防護柵、護岸補修等)	221	221	0	0	0	0	221	100.0	【検証】 全般を通じ計画通り実施した。 準用河川維持工事(浚渫、護岸補修等)8件 【次年度対応】 河川改修事業の整備促進を図るため、関係機関と連携して取り組む。継続して実施予定。
13-2		ふるさとリバーボランティア支援事業	県	継続	道路河川課	連絡調整									
(事業メニュー) 14 水辺・親水空間の整備推進															
14-1		※ 黒部川環境整備	国・市	R1 ~	道路河川課	-	0	0	0	0	0	0	0	0	【検証】 環境整備のための要望活動や関係機関との連絡調整を行い、黒部川自然再生事業を実施した。 【次年度対応】 黒部川の魅力を広くアピールし、水辺を取り巻く活動を活性化させるため、関係機関と連携して取り組む。
[基本事業(施策中分類)] ③ 海岸事業															
(事業メニュー) 15 下新川海岸直轄事業の整備促進															
15-1		※ 下新川海岸整備	国	継続	道路河川課	連絡調整	100	100	0	0	0	0	100	100.0	【検証】 防災・減災に繋がるよう、下新川海岸の整備促進に向け、要望活動や関係機関との連携調整を行った。 【次年度対応】 下新川海岸の整備促進を図るため、関係機関と連携するとともに、引き続き要望活動を実施。

まちづくり方針等	No.	戦略	ハート	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等	
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源	執行率【B/A】%		
				(事業メニュー) 16 海岸防災林の保全・整備の推進					100	100	0	0	0	0	0	100	100.0	【検証】 伐倒駆除に対する補助金2件を交付し、松くい虫被害の拡大及び枯損木の倒壊等による二次被害予防に努めることができた。 【次年度対応】 事業の周知、促進を図っていく。
	16-1			海岸防災林の保全・整備	県・市	継続	農林整備課	松くい虫被害木の伐倒処理に対する補助										
				〈施策区分〉 3 森林環境の保全と活用					26,706	22,669	0	5,389	1,500	9,915	5,865		84.9	
				[基本事業(事業中分類)] ① 治山事業					14,550	13,334	0	1,500	1,500	9,903	431		91.6	
				(事業メニュー) 17 治山工事の推進					3,431	3,431	0	1,500	1,500	0	431		100.0	【検証】 県単補助事業による法面対策工事(1件)の実施により、崩壊山地を復旧し保全対象施設(市道等)の安全性を確保した。また、治山施設等の補修を行いその機能を維持した。 【次年度対応】 地区要望等を整理し、計画的な事業実施に努めるとともに、突発的な事象が発生した場合には早急に適切な対応を行う。
	17-1			※ 崩壊山地・溪流等の整備	県・市	継続	農林整備課	崩壊山地の整備(県単補助事業)										
	17-2			※ 崩壊山地・溪流等の保全	県・市	継続	農林整備課	崩壊山地、溪流等の補修(市単補助事業)										
				(事業メニュー) 18 水源涵養の推進					11,119	9,903	0	0	0	9,903	0		89.1	【検証】 計画どおり水源林造成保育事業を実施した。 【次年度対応】 国立研究法人森林研究・整備機構 森林整備センターと協議し、継続して実施する。
	18-1			水源森林総合整備事業	市 その他	継続	農林整備課	分収林造林地保育										
				(事業メニュー) 19 保安林改良の推進					0	0	0	0	0	0	0		—	【検証】 地元や県と連絡調整を行った。 【次年度対応】 保安林の機能が維持できるよう、引き続き県と連携を図る。
	19-1			保安林改良事業	県	継続	農林整備課	連絡調整										
				[基本事業(施策中分類)] ② 豊かで美しい森づくり事業					12,156	9,335	0	3,889	0	12	5,434		76.8	
				(事業メニュー) 20 里山整備の推進					7,488	5,109	0	3,809	0	0	1,300		68.2	【検証】 計画に基づき、里山林整備を実施した。また、県民参加の森づくりを16地区において、実施した。 【次年度対応】 新規取組や継続した取組ができるよう県に要望していく。
	20-1			里山再生整備事業	市	継続	農林整備課	計画策定、里山整備、県民参加の森づくり										
				(事業メニュー) 21 森林環境整備の促進					4,588	4,146	0	0	0	12	4,134		90.4	【検証】 林業施設の補修工事や、草刈、路面清掃等を実施し、適正な維持管理に努めた。 【次年度対応】 継続して適正な維持管理を実施していく。
	21-1			森林公園、森林浴の森周辺の整備(ソフト)	市	継続	農林整備課	森林公園等周辺の整備 ①嘉例沢②トレセン③やまびこ遊歩道										
	21-2			※ 森林公園、森林浴の森周辺の整備	市	継続	農林整備課	林業施設整備工事										
	21-3			※ 公共施設再編に向けた東布施トレーニングセンターの整備	市	R1	農林整備課	—										
				(事業メニュー) 22 多様な森づくりの推進(みどりの森再生事業)					80	80	0	80	0	0	0		100.0	【検証】 計画どおり事業協定の締結し、森づくりを推進した。 【次年度対応】 県、地権者と協議し、継続して実施予定。
	22-1			みどりの森再生事業(針広混交林)	県・市	継続	農林整備課	地権者との合意形成(事業協定の締結)										
				〈施策区分〉 4 水の保全と活用					2,781	1,133	0	0	0	578	555		40.7	
				[基本事業(施策中分類)] ① 水環境保全整備事業					2,781	1,133	0	0	0	578	555		40.7	
				(事業メニュー) 23 水辺環境や清流の保全					15	15	0	0	0	0	15		100.0	【検証】 県内協議会内での水質事故にかかる情報交換を行うことにより迅速な対応ができています。 【次年度対応】 引き続き情報交換を行っていく。
	23-1			水辺環境保全事業	県・市 その他	継続	市民環境課	富山県一級水系水質汚濁対策連絡協議会に係る事業の実施										
				(事業メニュー) 24 水環境保全意識の高揚					59	36	0	0	0	0	36		61.0	【検証】 全国から名水百選カードを求めて来庁されるが、在庫が不足していたことから追加で作成した。 【次年度対応】 名水百選カードを求めてくる方に今後とも配布し水環境保全を啓発するとともに、不足時に追加作成予定。
	24-1			◆ 水環境保全啓発事業	市	継続	市民環境課	名水百選カードの作成										
				(事業メニュー) 25 水環境保全団体等の活動支援					712	712	0	0	0	578	134		100.0	【検証】 1市2町連携で黒部川地域地下水協議会、市内事業所等を会員とした水資源対策協議会を運営し、特別講演や研修会を実施して情報交換を行った。水の少年団活動は、感染症および熱中症のリスクを下げる対策を行いながら事業を実施した。 【次年度対応】 研修や先進事例を参考にし会員からアイデアをいただきながら、地下水の保全や活用のための事業につなげていく。また、水の少年団活動は、継続(コスト維持)して予定どおりの成果を求めていく。
	25-1			水環境保全団体活動支援	県・市 その他	継続	市民環境課	黒部川地域地下水利用対策協議会、黒部市水資源対策協議会に係る事業の実施										
	25-2			水の少年団活動支援	市	継続	生涯学習文化課	水の少年団活動補助金										

まちづくり方針等	No.	戦略	ハート	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等	
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源	執行率【B/A】%		
	(事業メニュー) 26 水に関するイベントおよび全国PRの推進								1,620	0	0	0	0	0	0	0	0.0	【検証】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、水のコンサート及びアクアパークフェスティバルについて、R2年度の開催は中止とした。 【次年度対応】 黒部川の恵みをイメージした水のコンサート&フェスティバル及び良好な水環境をイメージしたアクアパークフェスティバルは、イベントとして、幅広い各層のボランティアの参加による市民イベントとして定着しており、コロナの状況をみながら実施の方向で進める。
	26-1	◆		黒部川の水のフェスティバル等開催支援	市	継続	生涯学習文化課	水のコンサート&フェスティバル開催補助金(開催中止)										
	26-2			アクアパークフェスティバル等水環境啓発イベントの開催	その他	継続	上下水道経営課	アクアパークフェスティバルの開催										
	(事業メニュー) 27 水資源の保全								375	370	0	0	0	0	0	370	98.7	【検証】 とやまの名水15か所の水質調査、沿岸地域の地下水8か所の水質調査を実施し、基準値を超える清水については関係団体と協議し対応した。 【次年度対応】 特に基準値を超える清水を注視しながら水質調査を継続して実施。
	27-1	◆		地下水等水質監視	市	継続	市民環境課	とやまの名水、自噴井戸水質調査										
	27-2			地下水の状況等調査	市	R4	市民環境課	-										
	[基本事業(施策中分類)] ② 水資源活用推進事業								0	0	0	0	0	0	0	-		
	(事業メニュー) 28 水を活かした商品開発の推進								0	0	0	0	0	0	0	-	【検証】 県外物産展等が中止となったため積極的なPRはできなかったが、市内の2事業所が販売している飲料水が高い評価を受け「モンドセレクション」を受賞した。 【次年度対応】 黒部の名水を活かした商品開発の支援やPRを引き続き実施していく。	
	28-1	◆		名水を活用した既存商品や新商品の販路開拓およびPR	その他	継続	商工観光課	産業おこし推進事業補助金(個別No.82-1と重複)										
	(事業メニュー) 29 水を活かした企業誘致活動の推進								0	0	0	0	0	0	0	-	【検証】 企業立地セミナーが中止となりセミナーでのPRはできなかったが、企業からの問い合わせ等には水の豊富さと品質をPRした。 【次年度対応】 企業立地セミナーや問い合わせ等において、豊かな水・名水を引き続きPRしていく。	
	29-1			企業誘致における豊富な水資源のPR活動	市	継続	商工観光課	企業誘致活動による推進(個別事業No.74-1と重複)										
	(事業メニュー) 30 宇奈月温泉の研究・開発支援								0	0	0	0	0	0	0	-	【検証】 民間団体(観光ガイドの会等)の活動において、温泉の歴史についても案内するため研修会が開催された。 【次年度対応】 民間団体等が実施する調査・研究・実証実験等を連携して実施していく。	
	30-1			医療など異業種交流による研究・開発	その他	継続	商工観光課	異業種間の連携調整										
	〈施策区分〉 5 循環型社会の形成								614,258	585,435	0	1,486	0	311,573	272,376	95.3		
	[基本事業(施策中分類)] ① 再生可能エネルギー活用事業								92,865	91,607	0	0	0	91,607	0	98.6		
	(事業メニュー) 31 小水力・太陽光・地熱等エネルギーの調査研究および利活用								92,865	91,607	0	0	0	91,607	0	98.6	【検証】 再生可能エネルギーに関する情報の収集を行うとともに、宮野用水発電所及び黒瀬川発電所の安定的運営に努めた。 【次年度対応】 再生可能エネルギーへの取り組みによるカーボンニュートラルへの実現に向けて、国等の動向を注視していく。また、今後も宮野用水発電所及び黒瀬川発電所の運営の安定化を図る。	
	31-1	◆		太陽光エネルギー利活用事業	市 その他	継続	市民環境課	太陽光エネルギーの利活用策についての調査検討										
	31-2	◆		民間との協働による再生可能エネルギーの利活用に向けた調査・研究	市 その他	継続	商工観光課	再生可能エネルギーに関する情報収集活動										
	31-3	◆		水力エネルギーの利活用	市 その他	継続	農林整備課	小水力発電事業										
	[基本事業(施策中分類)] ② バイオマス利活用事業								224,650	211,444	0	0	0	211,444	0	94.1		
	(事業メニュー) 32 バイオマス(食品残渣廃棄物)の利活用の推進								20	0	0	0	0	0	0	0.0	【検証】 市内7か所の回収所で廃食用油回収事業を実施した。 【次年度対応】 引き続き回収所の周知等を行い、回収量の増に努める。	
	32-1	◆		食品残渣廃棄物利活用事業	市	継続	市民環境課	廃食用油回収施設管理、食品残渣廃棄物の利活用策についての調査検討										
	(事業メニュー) 33 下水道汚泥のバイオマスエネルギー利活用の推進								224,630	211,444	0	0	0	211,444	0	94.1	【検証】 市広報やCATV、イベント等を通してディスプレイのPRを図り、新たに50基が設置され、うち、49基に設置補助を交付した。また、下水汚泥等のバイオマスから約74万㎡のガスを取り出し、当該施設の汚泥乾燥用ボイラーや発電機の燃料に活用した。乾燥した汚泥約99tは、県内企業で発電燃料や肥料として有効利用したほか、「くろべ緑花王」という肥料名で市民に無償提供した。 【次年度対応】 今後ともディスプレイの普及促進のためPRに努める。食品残渣の確保に努め、バイオマス利活用施設の適切な維持管理を実施し、下水汚泥の資源化を図る予定。	
	33-1	◆		バイオマス(下水道汚泥(農業排汚泥、浄化槽汚泥含む))エネルギーの利活用の推進	市	継続	上下水道経営課	住宅用ディスプレイ設置補助										
	33-2			下水道汚泥リサイクル事業	市	継続	上下水道工務課	下水汚泥利活用施設の維持管理										
	[基本事業(施策中分類)] ③ ごみの減量化・リサイクル推進事業								56,410	55,604	0	0	0	4,202	51,402	98.6		
	(事業メニュー) 34 ごみの減量化・リサイクルに対する意識啓発活動の推進								440	352	0	0	0	0	352	80.0	【検証】 自治振興会の回収日等要望と回収業者の意見を踏まえ、年間ごみ収集カレンダーを作成した。 【次年度対応】 自治振興会要望と回収業者の意見を取り入れつつ、引き続きわかりやすい表記となるよう工夫する。	
	34-1	◆		ごみ減量化・リサイクル普及啓発事業	市	継続	市民環境課	一般家庭ごみ・資源物の収集カレンダー作成										

まちづくり方針等	No.	戦略	ハード	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源	執行率【B/A】%	
(事業メニュー) 35 ごみの減量化・リサイクル活動の推進									54,123	53,454	0	0	0	4,202	49,252	98.8	【検証】 リサイクル事業は小型家電品の売却費が逆有償化するなど経費が増加傾向にある。 資源リサイクル集団回収活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施する団体が減少した。 【次年度対応】 引き続き、廃棄物を資源物としてリサイクルするよう促し、廃棄物排出量が減少するよう努める。
35-1	資源物収集運搬事業	市	継続	市民環境課	資源物収集運搬、指定法人処理料、中間処理費、家電リサイクル運搬費												
35-2	◆ リサイクル推進団体活動支援	市	継続	市民環境課	資源リサイクル集団回収活動補助												
(事業メニュー) 36 ごみの減量化・リサイクルを進める施設の充実									1,847	1,798	0	0	0	0	1,798	97.3	【検証】 市内3か所の常設資源回収所の管理委託及び地区ステーションの資源物回収ボックスの交換を行った。劣化した資源回収ボックスの調査を行った。 【次年度対応】 自治振興会等の意見を踏まえ、常設資源回収所の回収品目の増を検討する。資源回収ボックス調査の結果を踏まえ、計画的な回収かごの交換を行う。
36-1	リサイクル環境整備事業	市	継続	市民環境課	常設資源ステーションの管理、地域の資源回収所における消耗品整備												
[基本事業(施策中分類)] ④ ごみ収集・処理対策事業									240,333	226,780	0	1,486	0	4,320	220,974	94.4	
(事業メニュー) 37 ごみ収集・処理体制の充実									239,497	226,400	0	1,486	0	4,320	220,594	94.5	【検証】 廃棄物回収量は経年傾向として横ばいであるが、令和2年度は前年度比較で1%程度の減少。し尿処理量は減少傾向にあり、令和2年度は前年比較で受付件数87%、汲取り量82%。 【次年度対応】 引き続き、廃棄物を資源物としてリサイクルするよう促し、廃棄物排出量が減少するよう努めていく。
37-1	ごみ収集運搬事業	市	継続	市民環境課	ごみ収集運搬、ごみステーション補助												
37-2	環境美化団体活動支援	市	継続	市民環境課	環境衛生協議会補助、ボランティア清掃臨時収集、防疫薬品代等												
37-3	し尿収集事業	市	継続	市民環境課	し尿収集運搬委託、浄化槽汚泥投入負担額												
(事業メニュー) 38 不法投棄防止対策の推進									836	380	0	0	0	0	380	45.5	【検証】 不法投棄対応は少量規模の処理を行った。 【次年度対応】 不法投棄の対応を行うとともに意識啓発を継続して実施。
38-1	不法投棄防止対策事業	県・市 その他	継続	市民環境課	不法投棄廃棄物処理業務の実施、不法投棄禁止看板購入												
＜施策区分＞ 6 消防・防災体制の充実									359,811	148,257	1,286	323	20,200	4,764	121,684	41.2	
[基本事業(施策中分類)] ① 消防体制整備事業									146,515	134,876	1,286	323	18,900	4,722	109,645	92.1	
(事業メニュー) 39 消防体制の強化・充実(常備消防)									56,881	56,590	0	0	0	4,469	52,121	99.5	【検証】 消防組合主体により、概ね計画どおり実施できた。 (R3年報より：R2年中出動件数) ・火災2件(建物火災2件) ・救急2,574件(火災2件、水難13件、交通事故124件、労働災害28件、運動競技3件、一般負傷502件、加害2件、自損行為18件、急病1,593件、転院搬送258件、その他31件) ・救助67件(交通事故38件、水難事故10件、機械事故1件、建物等事故2件、破裂事故3件、その他事故13件) 【次年度対応】 消防組合と連携し、継続して実施予定。
39-1	常備消防体制の整備	市 その他	継続	総務課 (消防署)	新川地域消防組合運営への参画(常備消防負担金)												
39-2	※ 消防署等の整備	市 その他	H30	総務課 (消防署)	-												
(事業メニュー) 40 地域消防組織の強化・充実(非常備消防)									89,634	78,286	1,286	323	18,900	253	57,524	87.3	【検証】 消防組合と連携し、以下のとおり概ね計画どおり実施できた。 ・消火栓新設3基(大布施、荻生、下立)、更新1基(石田) ・防火水槽埋立2基(生地No.6、7)・防火水槽給水管引込(阿窪) ・屯所補修(音沢)・消防ポンプ自動車(三日市2号車)・小型動力ポンプ(愛川) 【次年度対応】 消防組合と連携し、継続して実施予定。
40-1	消防団体制の整備	市 その他	継続	総務課 (消防署)	黒部市消防団の活動強化・支援等												
40-2	※ 消防施設等の整備	市 その他	継続	総務課 (消防署)	消防屯所の補修、消防ポンプ自動車の購入等												
[基本事業(施策中分類)] ② 防災対策事業									213,296	13,381	0	0	1,300	42	12,039	6.3	
(事業メニュー) 41 地域防災体制および防災基盤の整備推進									202,787	3,819	0	0	1,300	0	2,519	1.9	【検証】 ・地域防災計画の修正に伴い、新たな計画を印刷製本し、関係機関へ配布した。 ・地区自治振興会に向いて防災行政無線デジタル化の工事概要を説明し、戸別受信機の設置希望調査を行った。 ・市議会9月定例会において補正予算議案を上程し、12月に本契約を締結した。 ・新型コロナウイルスの影響で市防災訓練の通常開催は見送り、代替訓練として、人数規模等を縮小した上で新型コロナウイルスに対応した避難所運営訓練を行った。 ・災害時備蓄品の数量確保のため、適切な物品選定と計画的な購入に努めた。 ・宮城県大崎市と災害時における相互応援協定を締結し、災害発生時の的確な連携及び協力体制の構築に努めた。 ・災害時要援護者支援システム保守を令和2年4月に実施したほか、要支援者等の名簿を振興会や民生委員児童委員に配付し該当者の確認等を実施した。【福祉課】 【次年度対応】 ・防災会議を適切に開催し、計画の修正を必要に応じて行う。 ・防災行政無線デジタル化工事の同報系親局工事、屋外拡声子局工事及び移動系基地局工事について円滑に進める。 ・戸別受信機について各世帯へ円滑に設置する。 ・旧黒部市、旧宇奈月町で異なる放送の運用統一化に向けた調整を行う。 ・新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、関係機関と連携の上、市総合防災訓練の通常開催を目指す。 ・災害時備蓄品については、消費期限等も考慮し、県が示す備蓄数量の確保に努める。 ・必要に応じて、災害時における各種応援協定の拡充を図る。 ・振興会に制度について説明し、引き続き、福祉課、民生委員児童委員、町内会及び振興会が連携をとりながら、避難行動要支援者の把握や個別計画の作成に努める。【福祉課】
41-1	市地域防災計画の随時適切な改訂	市	継続	総務課	市地域防災計画印刷製本、市防災会議開催												
41-2	◆ ※ 防災行政無線のデジタル化	市	H30 ~ R3	総務課	防災行政無線のデジタル化												
41-3	総合防災訓練の実施	市	継続	総務課	市総合防災訓練の実施												
41-4	◆ 非常食料、避難所物資等備蓄品および防災資機材の整備拡充(ソフト事業)	市	継続	総務課	避難所・福祉避難所物資等備蓄品及び防災資機材の整備拡充												
41-5	◆ ※ 非常食料、避難所物資等備蓄品および防災資機材の整備拡充(ハード事業)	市	継続	総務課	避難所等必要な備蓄品等の検討												
41-6	市と市内企業等との各種相互応援協定の拡充および災害時の的確な連携・協力	市	継続	総務課	災害時における市内企業等との各種応援協定の締結												

まちづくり方針等	No.	戦略	ハワード	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等	
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	R2一般財源	執行率【B/A】%		
	41-7			福井県大野市および北海道根室市との「災害時相互応援協定」に基づく協力	市	継続	総務課	災害時における協定先自治体との協力連携										
	41-8			避難行動要支援者制度の推進	市 その他	継続	福祉課	災害時要支援者支援システム保守料等										
(事業メニュー) 42 自主防災組織の育成支援									1,218	637	0	0	0	0	637	52.3	【検証】 ・自主防災組織の防災訓練を8地区で実施 ・防災士の育成5人(総数105人)※市職員等を除く。 【次年度対応】 継続して各地区の地域防災リーダーの育成、地域防災力の向上を図る。	
	42-1	◆		自主防災活動用資機材の整備	その他	継続	総務課	自主防災活動用資機材の検討										
	42-2	◆		自主防災組織の活動支援と地域防災リーダーの育成	県・市	継続	総務課	自主防災組織が行う防災訓練への助成、防災士資格を持った地域防災リーダーの育成										
	42-3	◆		市内自主防災会連合組織の育成・連携強化	市	継続	総務課	市自主防災連絡協議会運営補助(研修費)										
(事業メニュー) 43 防災情報システムの充実									9,291	8,925	0	0	0	42	8,883	96.1	【検証】 ・全国瞬時警報システム(J-Alert)の保守、運用 ・防災ラジオの配布(42台) ・防災放送設備の適正な管理、運用 【次年度対応】 全国瞬時警報システム(J-Alert)の保守、運用等を継続して実施。防災行政無線デジタル化整備に合わせ運用を確認していく。	
	43-1	◆		全国瞬時警報システム(J-Alert)・防災行政無線の適切な運用(ソフト事業)	市	継続	総務課	J-Alert・防災行政無線の保守・運用										
	43-2	※		全国瞬時警報システム(J-Alert)・防災行政無線の適切な運用(ハード事業)	市	継続	総務課	—										
	43-3	◆		CATV、携帯電話、防災ラジオ、コミュニティFM、防災業務支援サービスを活用した緊急情報の提供充実	市	継続	総務課	コミュニティFM、防災業務支援サービス等を活用した緊急情報の提供、防災ラジオの有償配布										
(事業メニュー) 44 災害に対する意識啓発活動の推進									0	0	0	0	0	0	0	—	【検証】 新型コロナウイルス感染症の影響により、職員出前講座は、例年より少ない7回の実施にとどまった。R元年度に作成した洪水及び土砂災害ハザードマップ改訂版を周知した。 【次年度対応】 市HPや広報等で積極的な周知に努め、コロナの状況をみながら職員出前講座を継続する。	
	44-1	◆		出前講座等による防災意識の高揚	市	継続	総務課	防災・減災に関する職員出前講座の実施										
	44-2			河川想定最大規模洪水の周知及び避難等の検討を図る情報等の提供	市	継続	道路河川課	洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップの作成										
《施策区分》 7 交通安全・防犯対策の充実									26,491	22,226	0	336	0	4,004	17,886	83.9		
[基本事業(施策中分類)] ① 交通安全対策推進事業									15,833	12,123	0	336	0	2,000	9,787	76.6		
(事業メニュー) 45 交通安全に対する意識啓発活動の推進									0	0	0	0	0	0	0	—	【検証】 各季の交通安全運動期間中において、警察、交通関係団体等と連携し、広報啓発活動を実施した結果、市内における交通人身事故の発生件数は、過去最少を記録した(R2:37件)。また、園児を対象とした交通安全かるた大会を開催し、早期段階から交通安全意識の醸成に努めた。 【次年度対応】 関係団体と連携し、「交通事故のない黒部市」の実現に向け、各種広報活動を実施し交通安全対策を推進する。	
	45-1			交通安全教室の開催	市 その他	継続	市民環境課	警察、交通安全協会と連携し交通安全教室の開催										
	45-2			交通安全広報活動の実施	市 その他	継続	市民環境課	ケーブルテレビ、ラジオ、市広報誌を活用し交通安全広報活動の実施										
(事業メニュー) 46 地域交通安全活動の推進									12,293	9,553	0	336	0	0	9,217	77.7	【検証】 高齢者運転免許返納支援事業は、事業開始以降、継続的に広報等を行い、周知に努めた結果、免許返納意識が浸透してきており、毎月一定数の申請件数がある。交通指導員を始め、交通関係団体と緊密に連携を図った結果、市内における交通人身事故の発生件数は過去最少を記録し、一定の成果が見られた。 【次年度対応】 高齢者運転免許返納支援事業については、R3年10月1日から支援額を従来の2万円から1万5千円に減額することから、引き続き、警察署と連携した事業周知に努め、返納促進を図っていく。	
	46-1	◆		高齢者運転免許自主返納事業	市	継続	市民環境課	市内バスフリーパスバスケース購入費、タクシー利用券印刷費、高齢者運転免許証自主返納支援事業										
	46-2			黒部市交通安全協会への活動支援	市	継続	市民環境課	黒部市交通安全協会補助金、専任交通指導員設置補助金										
	46-3			地区交通安全推進協議会等への活動支援	市	継続	市民環境課	県・市委嘱交通指導員報償費、市委嘱交通指導員報償費、富山県交通安全アドバイザー報償費等、地区交通安全推進協議会補助金										
	46-4			交通安全運動の実施	市 その他	継続	市民環境課	県委嘱交通指導員被服購入費、市委嘱交通指導員被服購入費										
(事業メニュー) 47 交通安全施設の整備促進									3,540	2,570	0	0	0	2,000	570	72.6	【検証】 道路交通環境の変化に則し、地区の要望等を踏まえ、真に必要な・効果的な箇所カーブミラーを5基設置した。また、経年劣化に伴う修繕に迅速に対応し、14基の修繕を行った。 【次年度対応】 道路事情や宅地造成等の環境の変化や、地区からの要望を踏まえ、真に設置が必要と思われる箇所の整備を進めていく。	
	47-1	◆	※	危険箇所におけるカーブミラー、交通安全看板等の整備	市	継続	市民環境課	交通安全施設整備、交通安全施設設置工事										

まちづくり方針等	No.	戦略	ハート	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	R2一般財源	執行率【B/A】%	
【基本事業(施策中分類)】② 防犯対策推進事業									7,435	6,905	0	0	0	2,000	4,905	92.9	
(事業メニュー) 48 防犯に対する意識啓発活動の推進									0	0	0	0	0	0	0	—	【検証】 コロナ禍により総会は中止となったが、各地区センター単位による各種防犯啓発活動を実施し、市民の防犯意識の向上に努めた。また、警察、防犯協会等と連携し、特殊詐欺被害防止啓発ポスターを作成し、金融機関やショッピングセンター等に貼付し、広く注意を呼び掛けた。 【次年度対応】 犯罪の発生状況等タイムリーな情報提供に努め、市民の防犯意識の更なる醸成に繋がるよう、引き続き、各センター・警察と連携していく。
	48-1			自主防犯団体等に対する研修会の開催	市 その他	継続	市民環境課	市安全なまちづくり推進センター総会の開催									
(事業メニュー) 49 地域防犯活動の推進									4,351	4,337	0	0	0	0	4,337	99.7	【検証】 カギかけキャンペーンや特殊詐欺防止活動等、官民一体となった各種啓発活動を推進した結果、市内における刑法犯認知件数は過去最少を記録し、一定の成果を収めた(R2:105件) 【次年度対応】 引き続き、所管の各団体との連携強化に努め、犯罪のない黒部市のため活動を支援していく。
	49-1			黒部市防犯協会の活動支援	市	継続	市民環境課	黒部市防犯協会運営補助金、黒部市防犯協会事務局設置補助金									
	49-2			地区安全なまちづくり推進センターおよび自主防犯団体の整備と育成支援	市 その他	継続	市民環境課	防犯灯管理費補助金、黒部市安全なまちづくり推進センター補助金									
(事業メニュー) 50 防犯施設の整備促進									3,084	2,568	0	0	0	2,000	568	83.3	【検証】 主として通学路における児童生徒の安全確保のため、地区の要望等を踏まえ、15灯の防犯灯を新設した。また、耐用年数の経過に伴う修繕に迅速に対応し、142灯の修繕を行った。 【次年度対応】 防犯施設の整備は市民の安心安全に大きく寄与することから、地区要望等を踏まえ、防犯効果が最大限発揮できるよう整備を進めていく。
	50-1	◆※		通学路等における危険箇所への防犯灯の整備及び公共空間への防犯カメラの設置	市	継続	市民環境課	防犯灯修繕料、防犯灯設置工事費									
【基本事業(施策中分類)】③ 消費者生活対策事業									3,223	3,198	0	0	0	4	3,194	99.2	
(事業メニュー) 51 消費者相談の充実									3,223	3,198	0	0	0	4	3,194	99.2	【検証】 コロナ禍の影響により、出前講座回数は2回であったが、市広報誌やHPを通じて特殊詐欺被害防止・消費者トラブル被害の注意喚起文等を掲載し、広報啓発活動に努めた。 【次年度対応】 全国的にコロナ禍における市民生活の不安に乗じた新たな詐欺や消費トラブルが発生していることから、消費者保護・救済を目的に、本事業を継続していく。
	51-1			相談員の育成	市	継続	市民環境課	消費生活相談員の給料、期末手当、社会保険料事業主負担分									
	51-2			消費生活問題に関する広報啓発活動	市	継続	市民環境課	啓発用パンフレット等購入費									

まちづくり方針等	No.	戦略	ハ ー ド	個別事業	事業 主体	実施 年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
									計画額計 【A】	実績額計 【B】	国費	県費	地方債	R2 その他	R2 一般財 源	執行率 【B/A】 %	
【まちづくり方針】 2 地域の活力を生み出す産業育成のまちづくり									1,217,655	1,105,210	66,902	176,377	139,000	156,525	566,406	90.8	
＜施策区分＞ 1 農林水産業の振興									962,284	885,229	54,332	172,397	129,700	129,848	398,952	92.0	
【基本事業(施策中分類)] ① 農業生産体制支援事業									107,746	97,845	52,820	1,608	0	0	43,417	90.8	
【事業メニュー】 52 担い手育成の推進(経営体質の強化等)									24,581	23,135	18,467	256	0	0	4,412	94.1	【検証】 ・出島集落における基盤整備事業を契機に、地域の集積集約化が進み、担い手農地有効利用推進事業及び機構集積協力金交付事業において、当初予算よりも活用が増加した。 ・法人化支援事業においては、1経営体の活用にとどまった。 ・新規就農促進対策事業として、農業次世代人材投資資金による支援を対象者2名に実施。 ・担い手育成支援事業として、利子助成10件実施、環境保全型3名に実施。 【次年度対応】 ・市内全域での狭小田活用や担い手農家への集積集約化が進むよう、事業の周知・活用促進に努める。 ・農業経営のサポートについて、関係機関と連携し支援を継続的に行う。また経営の効率化に関して、法人化が望ましい場合は事業の活用を促す。 ・関係機関との連携のもと新規就農者の情報共有を徹底するとともに、交付金制度の周知を徹底する。 ・担い手育成支援を行うために事業の周知・活用の促進に努める。
52-1	担い手農地有効利用推進事業	市	継続	農業水産課	狭小田等の耕作条件不利地の流動化に対する支援												
52-2	機構集積協力金交付事業	市	継続	農業水産課	農地中間管理機構による農地集約に協力する農家への支援												
52-3	◆ 農業経営法人化支援事業	その他	継続	農業水産課	個人経営体の法人化に対する支援												
52-4	農業経営組織化支援事業	その他	継続	農業水産課	集落営農等の営農組織化に取り組む農家への支援												
52-5	※ 集落営農強化促進事業	市 その他	R2	農業水産課	—												
52-6	新規就農促進対策事業	国	継続	農業水産課	農業次世代人材投資事業												
52-7	担い手育成総合支援事業	国・県・市	継続	農業水産課	利子助成、担い手協補助、農業振興協議会、環境保全型												
【事業メニュー】 53 土づくり等品質向上対策の推進									10,947	8,207	3,568	0	0	0	4,639	75.0	【検証】 放棄農地解消協力金について、事業の活用が2経営体にとどまった。また、米の品質向上に向けた取り組みを行った(土壌改良剤散布1,427ha、カメムシ防除83ha)ことにより、コシヒカリの一等比率は県の89%を大きく上回る94.7%となった。 【次年度対応】 R2年度は、中核農業者の逝去に伴い、未耕作となった農地を対象とし、地区外から耕作する農業者を交付対象としたが、本来、耕作放棄地の防止・解消は、未耕作地となった箇所のみではないことから、R3年度からは、市内全域を対象とし、事業の活用を促進する。引き続き、土づくり、病害虫の防除を徹底することにより、米の品質向上に努め、「黒部米」ブランドの価値を高める。
53-1	耕作放棄地対策事業	市	R2 ~	農業水産課	放棄農地解消協力金												
53-2	◆ 土壌改良対策事業	その他	継続	農業水産課	黒部米ブランド産地強化対策事業												
53-3	GAP活動支援	市	継続	農業水産課	—												
53-4	カメムシ類防除対策事業	その他	継続	農業水産課	カメムシ類共同防除対策事業												
【事業メニュー】 54 施設・機械整備の促進									23,793	23,245	21,943	0	0	0	1,302	97.7	【検証】 担い手確保・経営強化支援事業を実施し、若栗地区において地域の農業を担う経営体の育成に努めた。 また、農業用ローンの資格取得に8経営体を支援し、ICT技術の導入による効率的な農業経営体制の確立に努めた。 【次年度対応】 引き続き、地域の農業を担う経営体を育成し、黒部市の水田をフル活用した継続的な農産物の生産に努める。
54-1	※ 強い農業づくり交付金事業(ネギ集出荷処理施設整備等)	その他	継続	農業水産課	—												
54-2	※ 地域農業担い手育成推進事業	その他	継続	農業水産課	担い手確保・経営強化支援事業(R2繰越)												
54-3	◆ ※ 革新的農業技術導入事業	その他	R1 ~	農業水産課	黒部米競争力強化支援事業(ICT技術の導入)												
【事業メニュー】 55 米の需給調整システムの安定確保									48,425	43,258	8,842	1,352	0	0	33,064	89.3	【検証】 ・米政策の変化に対応し、収益性の高い農業を推進するため、生産調整の団地化や特産物の育成(ねぎ・ビール麦等)の支援を図った。 ・多収量良食味品種の生産拡大(51.7ha)を図った。 【次年度対応】 更なる黒部モデル創生を目指し、継続して実施予定
55-1	◆ 水田農業構造改革対策事業	県・市 その他	継続	農業水産課	市米政策改革推進助成事業、とやま型水田フル活用促進事業、経営所得安定対策推進指導費、黒部米競争力強化支援事業(生産拡大分)												
【基本事業(施策中分類)] ② 農業基盤整備事業									433,917	426,089	0	142,291	97,100	74,741	111,957	98.2	
【事業メニュー】 56 県営農地整備事業の促進									201,106	201,106	0	151	97,100	47,600	56,255	100.0	【検証】 事業の早期完成について、県へ重要要望活動を行い事業の促進が図られた。 【次年度対応】 引き続き、早期完成に向けた事業促進要望を行っていく。
56-1	※ 県営土地改良事業(経営体育成型、防災減災等)、団体営土地改良事業等	県・市	継続	農林整備課	農用地や水路、農道整備事業に係る市負担金、地元負担に係る市負担(債務負担)												

まちづくり方針等	No.	戦略	ハワード	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源	執行率【B/A】%	
(事業メニュー) 57 農村地域の水環境等の保全・活用									142,798	141,587	0	89,208	0	27,141	25,238	99.2	<p>【検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農道整備工事(6件)を実施し農耕者等の通行の安全確保など営農条件を改善することができた。また、補修工事(6件)を実施し施設の機能を維持し営農の支障とならないようにすることができた。 全ての対象農地約1,750ha(交付金対象53組織)で営農活動及び農村環境保全維持活動等が行われた。 用排水路等整備工事(11件)を実施し、通水機能の確保や維持管理の軽減を図ることができた。また、補修工事(16件)を実施し、施設の機能を維持し営農の支障とならないようにすることができた。 関係機関(国、県、土地改良区)と連携を図りながら情報収集及び実施の可能性を検討した。 <p>【次年度対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的な整備や適宜、補修を行い、営農条件の改善等を図っていく。 新規1組織を加えた54組織に対し、引き続き、事業の促進を図っていく。 計画的な整備や適宜、補修を行い営農条件の改善や維持管理の軽減を図っていく。 国等の動向を注視し、情報収集、研究に努める。
57-1	※ 農道整備事業	市	継続	農林整備課	農道の整備												
57-2	※ 農道の保全	市	継続	農林整備課	農道の補修												
57-3	◆ 多面的機能支払交付金事業	市	継続	農林整備課	集落の共同活動による営農活動及び農村環境保全維持活動への支援												
57-4	※ かんがい排水・湛水防除施設の整備	市	継続	農林整備課	農業用排水路の整備や改修												
57-5	※ かんがい排水・湛水防除施設の保全	市	継続	農林整備課	農業用排水路の補修												
57-6	◆ ※ マイクロ水力発電の利活用	市	継続	農林整備課	農業用水路でのマイクロ水力発電設備の情報収集・研究												
(事業メニュー) 58 中山間地域の保全・有害鳥獣対策の推進									90,013	83,396	0	52,932	0	0	30,464	92.6	<p>【検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中山間地域における全ての対象農用地約427ha(対象23集落)で農地維持活動等が実施された。 有害鳥獣の捕獲(イノシシ146頭、サル96頭、シカ42頭、カラス10羽)及び電気柵等の補助(19件)を行い鳥獣による農作物被害の防止を図った。 <p>【次年度対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄の防止などへ向けて事業の促進を図っていく。 有害鳥獣の捕獲体制の強化と被害防止対策の推進を図っていく。
58-1	◆ 中山間地域等直接支払交付金事業	市	継続	農林整備課	中山間地域振興(農地維持、耕作放棄防止、国土保全)												
58-2	◆ 有害鳥獣対策事業	市 その他	継続	農林整備課	捕獲報奨金・捕獲委託(サル、イノシシ、カラス、クマ)、侵入防止柵設置補助、獣肉生産組合運営補助等												
[基本事業(事業中分類)] ③ 林業生産基盤整備事業									53,405	50,396	972	19,248	16,400	550	13,226	94.4	
(事業メニュー) 59 森林基幹道等の整備促進									41,961	41,961	0	16,483	16,400	0	9,078	100.0	<p>【検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> 林道整備工事(6件)を実施し、通行者の安全を確保した。また、補修工事(8件)を実施し、常時良好な状態を保つよう維持し通行に支障のないよう努めた。 事業の早期完成について、県へ重要要望活動を行った。現地条件が軟弱地盤等の比較的良好でない工事区間もあったため事業進捗が少し遅くなっている。 <p>【次年度対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区要望等を整理し、計画的な整備や適宜、補修を行い常時良好な状態を維持していく。 引き続き、幹線林道の早期完成に向けた事業促進要望を行う。
59-1	※ 林道整備事業	市	継続	農林整備課	林道の整備(県補助事業)												
59-2	※ 林道の保全	市	継続	農林整備課	林道の補修												
59-3	※ 幹線林道朝日・大山線、山のみち福平東城線等事業	市	継続	農林整備課	幹線林道の整備												
(事業メニュー) 60 地域林業推進組織の経営基盤強化									1,812	1,762	0	0	0	0	1,762	97.2	<p>【検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新川森林組合と新川管内市町、県が連携をすることにより、地域林業の円滑な運営、振興の貢献に努めた。 <p>【次年度対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 組合、管内市町、県と連携し、継続して実施する。
60-1	新川森林組合の育成強化、林業従事者の確保・育成	市	継続	農林整備課	新川森林組合振興対策協議会負担金等												
(事業メニュー) 61 森林施業(造林事業)の促進									5,765	4,067	972	1,255	0	550	1,290	70.5	<p>【検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県単独森林整備事業や国の交付金を活用し、間伐促進に努めた。また、森林経営管理事業において、森林所有者に意向調査を実施した。 <p>【次年度対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県と連携し、継続して間伐を促進し、次年度以降の森林整備につなげていく。
61-1	市行造林保育、県単森林整備、間伐事業の支援	市	継続	農林整備課	森林整備、林道維持補修工事等												
61-2	森林経営管理事業	市	R2	農林整備課	森林整備(森林所有者への意向調査)												
(事業メニュー) 62 県・市産材利用促進の普及啓発									900	800	0	0	0	0	800	88.9	<p>【検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助金を3件交付し、黒部市地域材の活用を促進することができた。 <p>【次年度対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業の周知、促進を図っていく。
62-1	住宅用材の地元産材利用に対する支援	市	継続	農林整備課	地域産材活用促進補助金(市単独・個人住宅対象)												
(事業メニュー) 63 森林病虫害防除対策による健全な人工林の育成強化									2,967	1,806	0	1,510	0	0	296	60.9	<p>【検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> 薬剤散布等の防除及び枯損木除去を実施し、森林病虫害等防除事業を促進することができた。 <p>【次年度対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県と連携し、継続して防除事業の促進を図っていく。
63-1	森林病虫害等防除事業	県・市	継続	農林整備課	枯木伐採処理、薬剤散布												
[基本事業(施策中分類)] ④ 漁業経営安定化・近代化対策事業									34,587	24,411	0	0	16,200	1,957	6,254	70.6	
(事業メニュー) 64 担い手育成の推進									50	0	0	0	0	0	0	0.0	<p>【検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> 担い手確保に努めたが、新規就業者はなかった。 <p>【次年度対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 次年度も関係団体と連携し、継続して担い手確保に努める。
64-1	◆ 新規漁業就業者支援事業	市 その他	継続	農業水産課	漁業に新規就業された者に漁の雇用事業就業奨励金を交付												

まちづくり方針等	No.	戦略	ハワード	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源	執行率【B/A】%	
				(事業メニュー) 65 漁業経営安定化の支援					3,174	2,587	0	0	0	994	1,593	81.5	【検証】 継続的に漁獲共済補助(9者)、漁船保険補助(71隻)することで漁業経営の安定化を図った。 【次年度対応】 次年度も持続可能な経営に向け実施予定。
	65-1			漁業経営安定対策事業	市 その他	継続	農業水産課	漁獲共済・漁船保険料、漁業振興基金活用事業(ハード)に補助金を交付									
				(事業メニュー) 66 漁港施設整備の推進					29,478	21,139	0	0	16,200	963	3,976	71.7	【検証】 計画的に「つり棧橋手摺り・床板交換工事」を実施していきたい。 【次年度対応】 次年度も引き続き長期の修繕計画をたてて修繕工事等を実施していく。
	66-1			石田漁港整備事業	市	H30	農業水産課	-									
	66-2	◆ ※		石田漁港整備事業	市	H30 ~ R2	農業水産課	つり棧橋手摺り・床板交換工事									
	66-3	◆ ※		フィッシャリーナ整備事業	市	継続	農業水産課	施設修繕費									
	66-4	※		黒部漁港施設整備事業	県	継続	農業水産課	水産物供給基盤機能保全事業負担金、漁港施設機能強化事業負担金、県環境整備事業負担金									
				(事業メニュー) 67 栽培漁業の促進					885	685	0	0	0	0	685	77.4	【検証】 稚魚(ヒラメ21,000尾、クロダイ9,000尾)の放流は概ね計画どおり実施できた。 魚のつかみ取り大会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが魚の放流は行っており、魚の購入代金の補助を行った。 【次年度対応】 コロナの状況をみながら、種苗放流事業を進める。
	67-1			種苗放流事業	県・市 その他	継続	農業水産課	種苗放流事業、内水面漁協育成事業、黒部川魚つかみ取り大会開催に補助金を交付									
	67-2			ヤリイカ等産卵保護施設設置事業	市 その他	継続	農業水産課	-									
				(事業メニュー) 68 観光産業との連携強化					1,000	0	0	0	0	0	0	0.0	【検証】 新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 【次年度対応】 コロナの状況をみながら、取組を進める。
	68-1			漁村活性化推進事業	市 その他	継続	農業水産課	漁村交流活性化事業に補助金を交付									
				[基本事業(施策中分類)] ⑤ 生産・流通・販売対策促進事業					332,629	286,488	540	9,250	0	52,600	224,098	86.1	
				(事業メニュー) 69 産地ブランド化の推進					15,354	15,354	0	9,000	0	0	6,354	100.0	【検証】 ・果樹振興会会員の苗木[もも30本(14.7a)、なし5本(1.458a)、ぶどう14本(5.6a)、計21.758a]の購入に要する経費の1/2を補助した。 ・露地栽培に加え、冬期間の栽培出荷が可能なねぎの園芸ハウス4棟を整備した。(1経営体) ・臭気対策等の環境対策活動及び家畜伝染病予防等の防疫対策活動を実施。 【次年度対応】 ・果樹は今後も需要が見込まれるため、継続して実施予定 ・1億円産地を目指すため、要望に応じて継続して実施予定 ・次年度も臭気対策等の環境対策活動及び家畜伝染病予防等の防疫対策活動を同様に実施予定。
	69-1	◆		園芸ブランド産地強化事業(ソフト事業)	市	継続	農業水産課	果樹苗木補助									
	69-2	◆ ※		園芸ブランド産地強化事業(ハード事業)	県・市	H30 ~ R2	農業水産課	1億円産地づくり条件整備事業									
	69-3	◆		黒部名水パークネームアップ事業	市 その他	継続	農業水産課	優良種豚導入補助、環境対策CSFワクチン接種補助、家畜伝染病対策									
				(事業メニュー) 70 農林水産加工・販売施設の整備および有効活用の促進					52,250	52,250	0	250	0	52,000	0	100.0	【検証】 ・棚田保全活動支援事業では布施谷ふるさと活性化委員会がアザミの栽培面積の拡大と山菜加工に取組んだ。 ・前年度から宇奈月麦酒館への貸付金を減額(100万円)した。一方で、コロナ禍の影響により運転資金が不足し、民間から6,000万円を借り入れた。 【次年度対応】 ・令和2年度で布施谷ふるさと活性化委員会で棚田保全活動支援事業が終了。 ・宇奈月麦酒館への短期貸付金の減額(毎年100万円)を目標に、経営の安定化に向けて、運営資金の貸付を継続していく。
	70-1	◆		6次産業化支援事業	市 その他	継続	農業水産課	棚田保全活動支援事業									
	70-2	◆ ※		公共施設再編に向けた宇奈月麦酒館の整備	市	R2 ~ R3	農業水産課	宇奈月麦酒館の施設工事									
	70-3	※		公共施設再編に向けた宇奈月農村活性化センターの整備	市	R1	農業水産課	-									
	70-4	※		公共施設再編に向けた高齢者共同作業センターの整備	市	H30	農林整備課	-									
	70-5	◆		宇奈月麦酒館の管理運営に対する貸付(宇奈月ビール(株))	市	継続	農業水産課	宇奈月ビール(株)に対する運営資金の貸付									
				(事業メニュー) 71 価格安定・消費拡大の推進					302	1	0	0	0	0	1	0.3	【検証】 市場出荷野菜の価格下落における価格差補給金であり、補給金の支払いが少なく、安定的な価格の維持が図られた。 【次年度対応】 農業者の経営安定を図り、消費者へ農作物を安定供給するため、継続して実施予定
	71-1			野菜価格安定事業	国・県・市 その他	継続	農業水産課	野菜価格安定事業、野菜協会負担金									

まちづくり方針等	No.	戦略	ハ イ ド	個別事業	事業 主体	実施 年度	担当課	R2事業の内容	R2 計画額計 【A】	R2 実績額計 【B】						R2 執行率 【B/A】 %	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
										R2 国費	R2 県費	R2 地方債	R2 その他	R2 一般財 源			
(事業メニュー) 72 地産地消と食育の推進									4,991	4,633	540	0	0	600	3,493	92.8	【検証】 ・第3次黒部市食育推進計画を策定した。 ・小学生向けの体験教室を6回開催した。 ・市、JAくろべで道の駅KOKOくろべ直売所イベントや研修会を実施した。 ・魚のさばき方教室(20回/年)を開催し、魚食普及や地産地消に努めた。 【次年度対応】 ・食育推進活動を行い、第3次黒部市食育推進計画の認知を広める。 ・道の駅KOKOくろべ直売所開業に向けたイベントや研修会を実施する。 ・魚のさばき方教室を継続的に開催する。
72-1	食育推進事業	市	継続	農業水産課	食育推進事業、生産現場体験事業												
72-2	◆ 地産地消推進事業	市	継続	農業水産課	地産地消活用拡大事業委託、学校給食米粉食品利用助成、食の王国フェスタ出展費補助、地産地消生産拡大支援事業、産地づくりプラットフォームモデル事業												
72-3	◆ 生地の魚PR事業	その他	継続	農業水産課	漁業振興基金活用事業(ソフト)に補助金を交付												
(事業メニュー) 73 くろべ牧場まきばの風の運営強化									259,732	214,250	0	0	0	0	214,250	82.5	【検証】 コロナウイルスの影響によるファームフェア等のイベントの中止や、緊急事態宣言の発令に伴うMOOガーデンの休店(約1か月間)などに伴い、ふれあい事業収入が減った。家畜育成事業においては、搾乳量の増により生産物販売収入が増となった。 【次年度対応】 ふれあい事業については、コロナの状況をみながら、売上の回復に努めたい。家畜育成事業においては、飼養管理技術の向上により、安定的な搾乳量の確保に努める。
73-1	くろべ牧場まきばの風の運営支援	市	継続	くろべ牧場まきばの風	繰出金												
73-2	◆ くろべ牧場まきばの風運営事業	市	継続	くろべ牧場まきばの風	家畜育成事業、ふれあい事業												
73-3	◆ ※ くろべ牧場まきばの風施設整備事業	市	継続	くろべ牧場まきばの風	-												
〈施策区分〉 2 工業の振興									36,544	21,053	2,016	450	0	0	18,587	57.6	
[基本事業(施策中分類)] ① 工業活性化事業									27,870	20,159	2,016	450	0	0	17,693	72.3	
(事業メニュー) 74 新規誘致のための施策推進									14,174	11,006	0	0	0	0	11,006	77.6	【検証】 新型コロナウイルスの影響で、県外での企業誘致活動ができず、また、新規立地を検討している企業の事業進捗も停止している状況となったが、問い合わせ等への情報提供や現場視察への対応等、企業進出の促進に努めた。 【次年度対応】 新石田企業団地の残り2区画について、引き続き、企業誘致に向けPR等を実施していく。
74-1	市内外企業への営業活動	市 その他	継続	商工観光課	企業立地セミナー出展、企業誘致活動												
74-2	◆ 立地促進のための助成および企業の本社機能(管理部門を含む)の本市への移転(一部移転を含む)に対する支援	市 その他	継続	商工観光課	本社機能移転事業所設置助成、企業立地助成												
74-3	※ 企業団地造成等新たな用地確保の調査・検討・造成	市 その他	継続	商工観光課	既存用地の販売に向けた誘致活動												
(事業メニュー) 75 新商品・新技術開発の支援									0	0	0	0	0	0	0	-	【検証】 新型コロナウイルスの影響を受ける事業者が活用できるような、生産性の向上やサプライチェーン改革、販路開拓支援等、各種支援制度の情報収集や周知を行った。 【次年度対応】 中小企業に対する支援検討のため、引き続き情報収集に努めていく。
75-1	新技術開発助成(助成金)	市 その他	継続	商工観光課	国制度の情報収集活動												
(事業メニュー) 76 就労・雇用機会の拡大									13,696	9,153	2,016	450	0	0	6,687	66.8	【検証】 就職定住促進助成22件、地方創生移住支援1件、インターンシップ支援3件、職業能力開発技能訓練奨励25件、創業・事業承継促進助成1件を実施した。新型コロナウイルスの影響で、企業のインターンシップ受入れが少なかったが、合同企業説明会はコロナ対策として対面式の説明会ではなく、オンラインによる説明会に変更して実施した。新たに、学生等の求職者に対し、市内企業の魅力を伝えるとともに就職に伴う移住・定住の情報を発信することで企業理解と市内での就職定住促進を図るため「黒部市UIJターン就活ホンネBOOK」を作成し、県内外の大学・高等学校・関係機関等に配布した。 【次年度対応】 引き続き、UIJターンによる就職定住やインターンシップ支援等の各種支援策を実施し、企業の人材確保と多様な人材が働きやすい職場環境づくりを推進していく。
76-1	雇用促進機関等との連携による労働情報収集・提供活動	市 その他	継続	商工観光課	ハローワーク等からの情報収集活動												
76-2	◆ 産業活性化フォーラムの実施(合同企業説明会)	市 その他	継続	商工観光課	合同企業説明会開催												
76-3	◆ UIJターン就業支援	市 その他	継続	商工観光課	就職定住促進助成、地方創生移住支援金、インターンシップ支援、パンフレット作成												
76-4	◆ 職業能力の開発支援	市 その他	継続	商工観光課	職業能力開発技能訓練奨励												
76-5	◆ 若者・女性の起業支援	市 その他	継続	商工観光課	創業・事業承継促進助成												
76-6	◆ 外国人受入環境整備	市 その他	R2 ~	商工観光課	外国人研修生等日本語研修事業開催												
76-7	◆ 多様な働き方の支援	市 その他	R3 ~	商工観光課	新たな就業スタイルに取り組む企業に対する支援の検討												

まちづくり方針等	No.	戦略	ハワード	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源	執行率【B/A】%	
【基本事業(施策中分類)】② 経営安定化対策事業									8,674	894	0	0	0	0	894	10.3	
【事業メニュー】77 経営基盤の強化と設備の近代化(融資制度の活用等)									8,674	894	0	0	0	0	894	10.3	【検証】 中小企業融資保証料助成7件、中小企業退職金共済加入助成17社23人の助成を実施した。県制度資金の借入実績の多くが新型コロナウイルス感染症対応資金であり、助成対象の小口資金等の借入実績が少なかった。 【次年度対応】 中小企業の事業継続、人材確保のため引き続き支援を実施していく。
77-1	◆	中小企業融資保証料等に対する助成および事業後継者の育成支援	市 その他	継続	商工観光課	中小企業融資保証料助成・利子補給、 中小企業退職金共済制度加入助成											
【事業メニュー】78 販路開拓の支援									0	0	0	0	0	0	0	—	【検証】 ジェトロ富山や県新世紀産業機構と販路拡大に関する情報交換や情報収集を実施した。 【次年度対応】 中小企業に対する支援検討のため、引き続き情報収集に努めていく。
78-1		県や販路開拓支援機関との連携強化	市	継続	商工観光課	関係機関との連携、情報収集活動											
【基本事業(事業中分類)】① 商業基盤整備事業									27,569	23,750	0	0	0	260	23,490	86.1	
【事業メニュー】79 中心市街地の活性化・空き店舗対策の推進									15,400	12,552	0	0	0	0	12,552	81.5	【検証】 空き店舗等への新規出店助成4件を実施し、まちなかの賑わい創出を図った。まちづくり団体であるまちづくり協議会への支援は新型コロナウイルスの影響による団体活動の実績に合わせて執行した。富山国際大学・黒部商工会議所との産学官包括連携協定による中心市街地活性化事業では、コロナの影響による大学の講義体制の変更等により、直接的な事業実施ができなかったが、商店街が実施する中心市街地活性化事業への支援やインターンシップのPRを実施した。 【次年度対応】 中心市街地の活性化を図る施策を検討・実施し、引き続き、まちなかの賑わい創出に努めていく。
79-1	※	市街地の公共施設整備(駐車場、トイレ他)	市 その他	継続	商工観光課	情報収集活動											
79-2	◆	まちの賑わい創出事業	市 その他	継続	商工観光課	中心市街地活性化支援事業補助、まちづくり協議会補助											
79-3	◆	空き店舗への出店者促進支援	市 その他	継続	商工観光課	特定商業地域等新規出店助成											
79-4		がんばる商店街支援事業	市 その他	継続	商工観光課	県、商店街と事業化に向けた連携											
【事業メニュー】80 商業関連団体への支援									11,438	10,938	0	0	0	0	10,938	95.6	【検証】 新型コロナウイルスの影響で、県外での物産展は中止となったが、くろべフェアはイベントの開催ではなく、オンラインサイトを開設して動画による事業所紹介やデジタルによりスタンプラリーの実施など、コロナ禍の状況に合わせた内容として実施した。 【次年度対応】 市内商業発展のため、引き続き商工会議所と連携しながら事業を実施していく。
80-1		商工会議所、中小企業相談所への活動支援およびくろべフェア開催事業への支援(市内産業に対する理解、販路開拓のためのイベント)	市 その他	継続	商工観光課	会議所運営補助、中小企業相談所事業補助、エリア拡大円滑化補助、黒部フェア開催補助、物産展PR補助											
【事業メニュー】81 起業に対する支援の充実									231	0	0	0	0	0	0	0.0	【検証】 創業支援資金の借入実績がなかったため、保証料の助成もなかった。 【次年度対応】 起業率の向上によるまちなかの商業機能維持のため、引き続き支援を実施していく。
81-1	◆	創業支援事業計画の策定および県創業支援資金保証料助成	市 その他	継続	商工観光課	創業支援資金保証料助成											
【事業メニュー】82 新商品・新技術開発の支援									500	260	0	0	0	260	0	52.0	【検証】 地域の特産品を活用した新商品開発(レトルトカレー)に支援した。 【次年度対応】 市内中小企業の産業技術振興のため、引き続き助成を実施していく。
82-1	◆	産業おこし推進事業補助金	市 その他	継続	商工観光課	産業おこし推進助成											
【事業メニュー】83 就労・雇用機会の拡大									0	0	0	0	0	0	0	—	【検証】 就職定住促進助成22件、地方創生移住支援1件、インターンシップ支援3件、職業能力開発技能訓練奨励25件、創業・事業承継促進助成1件を実施した。新型コロナウイルスの影響で、企業のインターンシップ受入れが少なかったが、合同企業説明会はコロナ対策として対面式の説明会ではなく、オンラインによる説明会に変更して実施した。新たに、学生等の求職者に対し、市内企業の魅力を伝えるとともに就職に伴う移住・定住の情報を発信することで企業理解と市内での就職定住促進を図るため「黒部市UIターン就活ホンネBOOK」を作成し、県内外の大学・高等学校・関係機関等に配布した。 【次年度対応】 引き続き、UIターンによる就職定住やインターンシップ支援等の各種支援策を実施し、企業の人材確保と多様な人材が働きやすい職場環境づくりを推進していく。
83-1		雇用促進機関等との連携による労働情報収集・提供活動	市 その他	継続	商工観光課	ハローワーク等からの情報収集活動(個別事業No.76-1と重複)											
83-2	◆	産業活性化フォーラムの実施(合同企業説明会)	市 その他	継続	商工観光課	合同企業説明会開催(個別事業No.76-2と重複)											
83-3	◆	UIターン就業支援	市 その他	継続	商工観光課	就職定住促進助成、地方創生移住支援金、インターンシップ支援、パンフレット作成(個別事業No.76-3と重複)											
83-4	◆	職業能力の開発支援	市 その他	継続	商工観光課	職業能力開発技能訓練奨励(個別事業No.76-4と重複)											
83-5	◆	若者・女性の起業支援	市 その他	継続	商工観光課	創業・事業承継促進助成(個別事業No.76-5と重複)											
83-6	◆	外国人受入環境整備	市 その他	R2 ~	商工観光課	外国人研修生等日本語研修事業開催(個別事業No.76-6と重複)											
83-7	◆	多様な働き方の支援	市 その他	R3 ~	商工観光課	新たな就業スタイルに取り組む企業に対する支援の検討(個別事業No.76-7と重複)											

まちづくり方針等	No.	戦略	ハ ー ド	個別事業	事業 主 体	実 施 年 度	担 当 課	R2事業の内容	R2 計 画 額 計 【A】	R2 実 績 額 計 【B】						R2 執 行 率 【B/A】 %	R2年度進捗状況に対する成果・検証等	
										R2 国 費	R2 県 費	R2 地 方 債	R2 其 他	R2 一 般 財 源				
【基本事業(施策中分類)】② 経営安定化対策事業									0	0	0	0	0	0	0	0	—	
(事業メニュー) 84 経営基盤の強化と設備の近代化(融資制度の活用等)									0	0	0	0	0	0	0	—	【検証】 中小企業融資保証料助成7件、中小企業退職金共済加入助成17社23人の助成を実施した。県制度資金の借入実績の多くが新型コロナウイルス感染症対応資金であり、助成対象の小口資金等の借入実績が少なかった。 【次年度対応】 中小企業の事業継続、人材確保のため引き続き支援を実施していく。	
84-1	◆	中小企業融資保証料等に対する助成および事業後継者の育成支援	市 その他	継続	商工観光課	中小企業融資保証料助成・利子補給、 中小企業退職金共済制度加入助成 (個別事業No.77-1と重複)												
(事業メニュー) 85 販路開拓の支援									0	0	0	0	0	0	0	—	【検証】 ジェトロ富山や県新世紀産業機構と販路拡大に関する情報交換や情報収集を実施した。 【次年度対応】 中小企業に対する支援検討のため、引き続き情報収集に努めていく。	
85-1		県や販路開拓支援機関との連携強化	市	継続	商工観光課	関係機関との連携、情報収集活動 (個別事業No.78-1と重複)												
≪施策区分≫ 4 観光の振興									191,258	175,178	10,554	3,530	9,300	26,417	125,377	91.6		
【基本事業(施策中分類)】① 観光資源有効活用事業									72,092	64,922	2,340	3,530	0	6,391	52,661	90.1		
(事業メニュー) 86 「黒部峡谷」のキラコンテンツ化									31,955	29,061	0	3,530	0	2,000	23,531	90.9	【検証】 鐘釣・樺平両園地における施設管理に係る各協議会等が実施する事業についての助成、樺平パノラマ新周遊ルート補修工事をはじめとする遊歩道、広場の維持管理を行い良好な環境保全を行った。 【次年度対応】 鐘釣・樺平両園地におけるソフト・ハード事業の推進により、登山道、遊歩道、広場の適正な管理に努め、観光客に喜ばれる事業を推進する。	
86-1	◆	鐘釣・樺平園地等整備事業(ソフト事業)	市 その他	継続	商工観光課	自然解説員配置事業(樺平)、鐘釣・樺平地域の施設管理協議会への助成や運営経費の負担												
86-2	◆	※ 鐘釣・樺平園地等整備事業(ハード事業)	市 その他	継続	商工観光課	樺平パノラマ新周遊ルート補修工事及び鐘釣・樺平地域の遊歩道、広場の維持管理工事												
(事業メニュー) 87 黒部の魅力を活かした観光の推進									11,827	9,319	485	0	0	0	8,834	78.8	【検証】 コンベンション誘致にかかる開催支援補助は、新型コロナウイルス感染症の影響でキャンセル等もあり、実績はなかった。黒部ルートの魅力創出受入検討については、代表者会議・担当者会議を複数回開催し、課題の洗い出し、優先順位付け等を行い、着実に進めている。また、併せて総湯・とちの湯を一体的に指定管理者制度を導入しており、利用券の共通化を図るなどして、利用者の増加を図り、賑わいの創出に結びつけている。なお、にぎわい創出に向けたイベント開催については、コロナ禍のため開催することはできなかった。 【次年度対応】 コンベンションについては、MICEの一部として脚光を浴びており、MICEの条件がほぼ揃っている本市にとって伸ばすべき分野であり、これからも補助制度を周知しながら件数を増やしていく。黒部ルートの魅力創出についても、ガイド団体の立ち上げ、研修、また、空き地・空き家の検討利用など、出来るものから計画通り進めていくこととしている。とちの湯・総湯については、引き続き民間の知恵を借りながらまちなかの賑わいに繋がるような取組を促進していく。	
87-1	◆	まち歩き推進、賑わい創出事業	県・市 その他	継続	商工観光課	コンベンションビューロ負担、湾岸サイクリング負担、湾クラブ負担、コンベンション開催支援、宇奈月ダム湖フェスティバル運営補助、ももクロ春の一大事誘客効果促進事業補助、ももクロ聖地巡礼ウォーキング開催事業補助、新幹線変形ロボ・シンカリオンin黒部開催事業補助、黒部ルート魅力創出受入体制検討												
87-2	◆	とちの湯周辺整備	市	継続	商工観光課	とちの湯の維持管理、利活用												
(事業メニュー) 88 冬季の魅力創出									18,675	18,375	0	0	0	4,391	13,984	98.4	【検証】 スキー場は、積雪に恵まれ営業日数は52日間、入場者数は8,598人(一日平均164.8人)であったが、圧雪車故障により赤字額が増大した。 【次年度対応】 スキー場はR1の積雪不足、R2新型コロナウイルス感染拡大などの特殊事情を踏まえ、R3年度1年、存廃判断を持ち越すこととなった。検討委員会での目標数値を達成できるよう宇奈月大原台と連携して入場者数増に向けた取り組みを進める。	
88-1		宇奈月温泉誘客対策	市 その他	継続	商工観光課	観光局特別事業(誘客対策)(個別事業No.99-1と重複)、宇奈月温泉スキー場事業(3年目/3年目)												
(事業メニュー) 89 体験型観光の推進									852	0	0	0	0	0	0	0.0	【検証】 体験メニューの開発については、黒部ルートの魅力創出の中の課題の洗い出しの中で、今後検討すべき事項として整理された。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、都市と農村の交流事業を中止した。 【次年度対応】 引き続き、黒部ルートの魅力創出の中で検討し、トレッキングなど、早い段階でのメニュー化を目指していく。都市と農村の交流事業は、関係機関と協力し、新型コロナウイルス感染症対策を講じた実施方法を考案する。	
89-1	◆	体験メニューの開発・販売	県・市 その他	継続	商工観光課	黒部ルート魅力創出受入体制検討(個別事業No.87-1と重複) 開発・販売に向けた調査研究												
89-2	◆	都市と農村の交流	市 その他	継続	農業水産課	子ども自然体験村、とやま帰農塾「黒部塾」移動費支援												
(事業メニュー) 90 広域観光推進に向けての連携強化									8,733	8,117	1,855	0	0	0	6,262	92.9	【検証】 2市2町連携の観光圏事業については、新型コロナウイルス感染症の状況下においてオンラインなどの手法を活用し、可能な限り商談・PRなど、広域圏による強みを活かした宣伝を着実に実施しており、広域圏の連帯感も強固なものとなっており、今後の取組も一致団結して進められる雰囲気となっている。新幹線停車駅会議においては、敦賀延伸を睨みながら沿線自治体が一体となってPRを行っている。アルペンライナーについては、令和2年度(4月～10月)はコロナ禍により、運休を余儀なくされたため、利用者数は316人に落ち込んだ。(R元年 1,160人) 【次年度対応】 滞在型観光を推進するにあたっては、広域連携による旅行商品開発、PRが欠かせないことから、引き続き、広域連携の枠組みを維持しつつ、着地型旅行商品の開発、インバウンド対策の推進に取り組む。アルペンライナーについては、コロナ禍が収まるまで、利用者の回復は望めないが、黒部宇奈月温泉駅の利便性向上のため、しっかりと運行事業者を支援し、事業の継続を図る。	
90-1		観光圏整備事業、各観光施設等との連携	県・市 その他	継続	商工観光課	観光圏事業負担、新川地域観光開発負担、富山観光推進機構DMO活動負担、新幹線停車駅会議負担												
90-2		アルペンライナーの運行支援	県・市 その他	継続	都市計画課	宇奈月温泉及び黒部宇奈月温泉駅と室堂を結ぶアルペンライナーの運行支援												
(事業メニュー) 91 黒部ルート一般開放の促進									50	50	0	0	0	0	50	100.0	【検証】 立山黒部地域における国際観光の一層の進展を促進するため、視察研修による情報収集や講演会開催による魅力発信などを行い、協議会設立目的の1つである黒部ルートの一般開放・旅行商品化に向け、機運醸成を図った。 【次年度対応】 今後も関係団体と連携しながら活動を実施する。	
91-1		立山黒部自然環境保全・国際観光促進協議会への支援	市	継続	企画情報課	協議会に対する支援												

まちづくり方針等	No.	戦略	ハート	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2計画額計【A】	R2実績額計【B】	R2					R2執行率【B/A】%	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
											国費	県費	地方債	その他	一般財源		
【基本事業(施策中分類)】② 外国人旅行者対応事業									589	585	0	0	0	0	585	99.3	
【事業メニュー】92 外国人旅行者にやさしい環境づくり									589	585	0	0	0	0	585	99.3	【検証】Wi-Fi設備については、令和元年度に整備した宇奈月温泉街6箇所のアクセスポイントを管理し不具合は発生しなかった。 【次年度対応】
	92-1			外国人受入体制の強化	県・市 その他	継続	商工観光課	国際観光テーマ協議会負担									外国語表記などの多言語化については、引き続き今後の技術進歩を見ながら、今後の振興計画への盛り込みを判断する。Wi-Fi環境の整備については、当面の間、現在のシステムの稼働状況の把握に努めるとともに、更にWi-Fi機器の設置が必要な場所の検討を行う。
	92-2	◆	※	Free Wi-Fi等の受入環境の整備	市 その他	R1~ R3	商工観光課	設置Wi-Fiの維持管理 追加整備場所等の検討									
【事業メニュー】93 外国人旅行者向けの誘客促進									0	0	0	0	0	0	0	—	【検証】インバウンド対策については、コロナ禍のなか観光圏事業でのオンラインを活用した商談会やVR動画作成など、着実な実施及び今後の取組に向けた準備を進めることができた。 【次年度対応】
	93-1	◆		インバウンド対策の実施	市 その他	継続	商工観光課	観光圏事業負担金(個別事業No.90-1と重複)、観光局特別事業(インバウンド対策)(個別事業No.99-1と重複)									引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を睨みながらの対応となるが、インバウンド対策事業は、中長期的には欠かせないものであり、新型コロナウイルス感染症の収束を見据えて、交流・PR事業を継続していく。
【基本事業(施策中分類)】③ 戦略的PR推進事業									4,087	1,899	0	0	0	0	1,899	46.5	
【事業メニュー】94 黒部市のイメージ統一・ブランド化									0	0	0	0	0	0	0	—	【検証】大型イベントを契機として、特徴ある地場産品とのコラボ商品の開発を行い、イベント時の物販販売を盛り上げるとともに、いくつかの商品はイベント後も継続販売されるなど、事業者自らが商品開発を進めるスタイルが確立された。 【次年度対応】
	94-1			観光と一体となった地場産品の商品開発支援	市 その他	継続	商工観光課	開発支援に向けた調査研究									これらの成功事例を紹介しながら、事業者自らが商品開発を行うスタイルの拡大を推進するとともに、物産展等における商品の紹介・販売等を行うなどして支援していく。
【事業メニュー】95 黒部市の魅力的な情報発信									4,087	1,899	0	0	0	0	1,899	46.5	【検証】首都圏等におけるミニアンテナショップについては、既に県のアンテナショップがあるため、開設に向けた条件等の検討は行っていないが、新川観光開発協議会の物産展に共同して出品するなどの対応を行った。出向宣伝物品および観光パンフレットについては、ポリ手提げ袋8,000部、紙製手提げ袋2,000部を作成し、PRに活用した。 【次年度対応】
	95-1	◆		首都圏等でのミニアンテナショップの開設	市 その他	継続	商工観光課	既存アンテナショップの活用等の検討									引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらの出向宣伝等のPRとなるが、販売委託を含む物産PRを行いつつ、必要物品についても在庫数を確認しながら、不足分の補充に努める。
	95-2	◆		観光パンフレット製作、出向宣伝事業	市 その他	継続	商工観光課	観光パンフレット等作成、広告料、出向宣伝物品、PR動画サーバ管理、立山黒部観光宣伝負担									
【基本事業(施策中分類)】④ 観光客受入体制強化事業									114,490	107,772	8,214	0	9,300	20,026	70,232	94.1	
【事業メニュー】96 観光ガイド等の充実									49,908	49,062	5,500	0	9,300	26	34,236	98.3	【検証】セレネについては、再生支援補助金を活用した自主事業を積極的に展開し一部のイベントは定着化し、来館者数の向上、利用料金の売上に反映されつつある。R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で期待される効果は得られなかったが、再生に向けた一定の成果を得られた。また、施設自体は、開館から26年が経過しており、施設の長寿命化計画に基づいてエレベーターや空調機のポンプの一部の改修を行った。 【次年度対応】
	96-1			観光客おもてなし支援事業	市	継続	商工観光課	セレネ運営補助、セレネ再生支援、シャトルバス運行委託									新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き厳しい状況になることが予想されるが、次年度以降も、自主事業補助金を活用し、イベントの定着化を図るとともに、集客実績等を鑑みながらイベント等のビルドアンドスクラップを図り、まちなかの賑わい創出につなげる。セレネについては、宇奈月温泉街における観光拠点として、計画的に長寿命化工事を進める。
	96-2	※		観光施設整備事業	市	継続	商工観光課	セレネ施設整備									
【事業メニュー】97 市民の観光に対する意識醸成									1,500	1,500	750	0	0	0	750	100.0	【検証】観光地活性化モデル事業補助金は、各団体ともに自らが観光地の賑わい創出に向けた企画を行い、実施する一連の流れを定着化させている。特に冬のホットクーポン事業は、利用者、参加事業者双方に好評を得ており、今年度は2,200部を発行した。 【次年度対応】
	97-1			市民の自主的な活動への支援	県・市 その他	継続	商工観光課	観光地活性化モデル									各団体が提案してくる企画を精査し、イベントのマンネリ化を防ぐとともに、好評な事業については、継続化を促していくこととする。その際、補助金ありきの事業ではなく、自立化に向けた取組についても検討を促していく。
【事業メニュー】98 観光案内機能の強化									10,901	10,901	0	0	0	0	10,901	100.0	【検証】県東部の玄関口となる黒部宇奈月温泉駅横の地域観光ギャラリー観光案内所では、コロナ禍において半数以上減っているが年間約12,000人に観光案内を行っており、本市のみならず新川地域全体の役割を担っている。 【次年度対応】
	98-1			観光案内所運営委託事業	市 その他	継続	商工観光課	地域観光ギャラリー等管理運営費、観光案内所運営補助金									今後も継続的に実施しつつ、更なるおもてなし対応を検討する。
【事業メニュー】99 観光客受入推進体制の確立									51,774	45,902	1,964	0	0	20,000	23,938	88.7	【検証】R2年1月にDMOの本登録が完了した観光局は、局自体が観光庁補助金等の事業主体者となり、DMOの本来の趣旨である「地域で稼ぐ」旗頭としての今後の取組が期待されている。そのためにも、運営体制を強化する必要がある。 【次年度対応】
	99-1			観光局への体制支援	市 その他	継続	商工観光課	観光局運営補助金									DMO事業を推進するため、委員会を設置することとしており、地域で稼ぐための企画立案を行うこととしている。また、今後、事業を推進していくため、運営体制を強化していく必要があり、人材育成とともに計画的な人材登用を行うよう指導していく。
【事業メニュー】100 観光データの共有化									407	407	0	0	0	0	407	100.0	【検証】観光客消費実態調査は、2年目を終了し、そのデータはDMO本登録に活用された。 【次年度対応】
	100-1			観光基礎データの収集・分析	市 その他	継続	商工観光課	観光客消費実態調査業務委託費									本調査で得られるデータは今後のDMO継続審査及び観光戦略に活用していくことから、継続して調査を行っていく。

まちづくり方針等 No.	戦略 ハ イ ド	個別事業	事業 主 体	実施 年 度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
							計画額計 【A】	実績額計 【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源	執行率 【B/A】 %	
【まちづくり方針】 3 都市基盤の充実した住みやすいまちづくり							3,438,182	3,265,827	980,141	21,985	1,171,179	569,494	523,028	95.0	
《施策区分》 1 公共交通対策の推進							110,377	103,164	155	4,937	200	24,000	73,872	93.5	
【基本事業(施策中分類)】 ① 駅周辺整備事業							19,303	19,091	0	0	0	4,000	15,091	98.9	
【事業メニュー】 101 駅周辺の土地利用の規制・誘導							4,585	4,373	0	0	0	4,000	373	95.4	【検証】 施設の適切な維持管理のため修繕や改良工事を行い、駅利用者の利便性向上を図った。また、駐車場の有料化に向け、設計を行った。 【次年度対応】 第2駐車場の有料化に伴う改修工事を実施予定。その他、継続して実施予定。
101-1		土地利用の規制・誘導	市	継続	都市計画課	適切な土地利用の誘導									
101-2		※ 黒部宇奈月温泉駅周辺施設の維持管理	市	継続	都市計画課	施設改修等整備工事 駐車場有料化改修工事の設計									
【事業メニュー】 102 あいの風とやま鉄道黒部駅周辺整備							14,718	14,718	0	0	0	0	14,718	100.0	【検証】 東西連絡自由通路の整備を中心とした駅西側での施設整備について、関係機関等との協議を進めながら、自由通路の基本設計を行った。 【次年度対応】 継続して実施予定(駅西側広場等の基本設計を実施予定)。
102-1		※ 黒部駅周辺都市施設の整備	市	継続	都市計画課	東西連絡自由通路の基本設計									
【基本事業(施策中分類)】 ② 公共交通対策事業							91,074	84,073	155	4,937	200	20,000	58,781	92.3	
【事業メニュー】 103 地域交通ネットワークの整備推進							60,591	56,648	155	4,916	200	20,000	31,377	93.5	【検証】 コロナ禍で利用者が落ち込む中、本市の路線バス及び他町からの乗り入れバスに対し、引き続き、運行費支援を行ったほか、黒部市公共交通戦略推進協議会事業を通じ、利用促進に向けた待合環境の改善や利便性向上を図るためのソフト事業を実施した。 【次年度対応】 コロナ禍による利用者数と運賃収入の減少により、運行事業者の経営そのものが圧迫されているため、現行の地域交通ネットワークを維持することは、難しくなると考えられる。乗車率が低い便の運休やバス停の統廃合によるさらなる収支の改善が必要となる。
103-1		◆ 路線バス・コミュニティ交通等の運行支援	市	継続	都市計画課	市内バス路線運行支援 公共交通戦略推進協議会事業支援									
103-2		本市に乗り入れる他町バスの運行支援	市	継続	都市計画課	市内に乗り入れている入善町営バスと朝日町営バスへの運行支援									
103-3		公共交通ネットワークの再編等(交通まちづくり創生事業)	市	H30 ~ R1	都市計画課	-									
103-4		◆ 歩行者空間賑わい創出事業	市	継続	商工観光課	黒部ルート魅力創出受入体制検討(個別事業No.87-1と重複)									
103-5		◆ ※ バス停等環境整備事業	市	R2	都市計画課	バス停等の環境整備									
【事業メニュー】 104 公共交通の基軸となる鉄道の環境整備							23,480	23,479	0	0	0	0	23,479	100.0	【検証】 本市公共交通の根幹をなす鉄道について、「あいの風とやま鉄道」には、経営安定化に向けた基金への拠出金を通じ、支援を行った。「富山地方鉄道」には、施設更新の支援を計画したが、コロナ禍による資金不足のため、レール更新や橋梁補修の事業が中止となり、車両購入のみの支援となった。 【次年度対応】 県内だけ運行を完結する地域の鉄道については、運賃収入のみで運行経費や施設整備費を賄うことは困難であるため、今後も沿線自治体で支援を継続することが必要である。
104-1		あいの風とやま鉄道に対する支援	市	継続	都市計画課	あいの風とやま鉄道経営安定化への拠出金									
104-2		富山地方鉄道に対する支援	市	継続	都市計画課	富山地方鉄道の運行に必要な施設及び設備の更新に対する支援									
104-3		※ 荻生駅の整備	市	H30 ~ R1	都市計画課	(R1で事業終了)									
104-4		※ 地鉄駅周辺公共トイレの整備	市	R2~R4	都市計画課	富山地方鉄道の駅周辺の待合環境改善と利便性の向上									
【事業メニュー】 105 公共交通の利用促進							7,003	3,946	0	21	0	0	3,925	56.3	【検証】 新幹線の利用促進については、本市への移住・定住促進と連携とした通勤通学助成を行い、通勤が9人、通学16人となり、R元年度から通学利用者が3人増加した。しかしながらコロナ禍により、テレワーク等が推進された結果、通勤通学の機会が減少し、補助額は昨年度より減少した。また黒部宇奈月温泉駅利用促進に向けたPRについては、「いかわプロモーションオーガニゼーション」が行う垂れ幕設置等に対し、支援を行った。 さらに新幹線以外の公共交通に対しては、富山市が中心となって実施している「親子でおでかけ事業」への参加や、本市まちづくり協議会主催の黒部ワンコインフリー事業への協力行い、官民協働で利用促進を図った。 【次年度対応】 新幹線通勤通学支援助成については、コロナ禍で新幹線利用の機会が減っているが、制度のさらなる周知を図り、利用者を増加させていくこととする。黒部宇奈月温泉駅利用促進については、事業の継続は図るものの、市民団体への支援のあり方については、見直しに向けた検討を進める。新幹線以外の公共交通利用促進については、現行事業の支援を継続する。
105-1		◆ 新幹線を利用した通勤通学支援	市	継続	都市計画課	市内から県外への新幹線通勤者・通学者(専門学校以上)に対する支援									
105-2		黒部宇奈月温泉駅利用の活性化	市	継続	都市計画課	北陸新幹線開業効果の持続と黒部宇奈月温泉駅活性化のための支援									
105-3		鉄道・路線バス・コミュニティ交通の利用促進	市	継続	都市計画課	鉄道・路線バス等の利用促進(黒部ワンコイン・フリーきっぷ事業など)									

まちづくり方針等	No.	戦略	ハート	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源	執行率【B/A】%	
《施策区分》 2 道路の整備									1,160,690	1,059,662	333,103	1,035	322,806	710	402,008	91.3	
[基本事業(施策中分類)] ① 国道・県道整備事業									725,928	714,793	229,408	0	225,000	0	260,385	98.5	
(事業メニュー) 106 国道8号バイパスの整備促進									209	160	0	0	0	0	160	76.6	【検証】 4車線化の早期実現に向け、要望活動を行った。概ね計画通り実施した。 【次年度対応】 早期の4車線化実現に向けて、要望活動等を継続して実施予定。
106-1	◆	国道8号バイパス整備に係る要望活動	市 その他	継続	道路河川課	朝日滑川間国道バイパス建設促進期成同盟会との連携による要望活動											
(事業メニュー) 107 県道等の整備促進									10,239	8,059	0	0	0	0	8,059	78.7	【検証】 県道や市幹線道路等の整備促進に向け、要望活動、関係機関との連絡調整、各同盟会への支援を行い、概ね計画通り実施できた。 【次年度対応】 県道や市幹線道路等の整備促進を図るため、関係機関と連携し、継続して取り組む。
107-1	◆	(仮称)黒部宇奈月縦貫道路整備(石田、宇奈月温泉地内)に係る要望活動	市 その他	継続	道路河川課	黒部宇奈月縦貫道路建設促進協議会との連携による要望活動											
107-2	◆	宇奈月大沢野線道路改良整備(朝日町～大沢野)に係る要望活動	市 その他	継続	道路河川課	東部山麗道路建設促進期成同盟会との連携による要望活動											
107-3	◆	黒部朝日公園線道路改良整備(若栗地内)に係る要望活動	市 その他	継続	道路河川課	主要地方道黒部朝日公園線改良促進期成同盟会との連携による要望活動											
107-4	◆	湾岸道路整備(魚津市～朝日町)に係る要望活動	市 その他	継続	道路河川課	魚津・朝日湾岸道路建設促進期成同盟会及び片貝川長大橋建設促進協議会との連携による要望活動											
107-5	◆	県道中山田家新線道路改良整備に係る要望活動	市 その他	継続	道路河川課	県道中山田家新線建設促進協議会との連携による要望活動											
107-6	◆	朝日宇奈月線道路改良事業(宇奈月町音澤他)に係る要望活動	市 その他	継続	道路河川課	朝日宇奈月線改良促進期成同盟会との連携による要望活動											
107-7		沓掛魚津線他県道改良整備に係る要望活動	市	継続	道路河川課	要望活動											
107-8	※	県道県単道路改良整備(中山田家新線 他)	県	継続	道路河川課	連絡調整											
(事業メニュー) 108 道の駅の整備促進									715,480	706,574	229,408	0	225,000	0	252,166	98.8	【検証】 休憩施設や周辺道路等整備工事を実施した。 【次年度対応】 令和4年春の開業を目指し、地域振興施設工事や園地等工事を実施予定。
108-1	◆	※ 道の駅整備	市	H30 ～ R3	道路河川課	設計及び工事、工事監理											
[基本事業(施策中分類)] ② 幹線道路整備事業									111,655	103,411	37,601	0	28,000	710	37,100	92.6	
(事業メニュー) 109 都市計画道路の整備推進									111,655	103,411	37,601	0	28,000	710	37,100	92.6	【検証】 新堂中新線の整備については、植木・新堂地区における歩道整備を実施した。また、前沢植木線にかかる2件の用地取得及び1件の物件移転を行い、当該部分の道路整備を実施し、事業を推進した。(整備に必要な用地取得及び物件移転は全て完了) 【次年度対応】 新堂中新線は、植木地区における道路改良工事を実施。また、前沢植木線は、引き続き、未整備部分の道路整備工事を実施し、R3年度に事業完了予定である。
109-1	◆	※ 新堂中新線の整備(県道魚津入善線～8号バイパス)	市	継続	道路河川課	新堂中新線の4車線化整備											
109-2	※	前沢植木線の整備	市	H30 ～ R3	街路公園課	分筆登記等委託費、工事費、用地費、物件補償費											
109-3	※	他の都市計画道路の整備	市	継続	街路公園課	都市計画道路・区画道路付帯工事宅地造成補償等											
(事業メニュー) 110 道路の無電柱化の推進									0	0	0	0	0	0	0	—	【検証】 No.110-1は、No.109-2前沢植木線と重複するためNo.109-2に計上している。
110-1	※	道路の無電柱化整備	市	継続	道路河川課	—											
[基本事業(事業中分類)] ③ 生活道路整備事業									311,650	230,279	66,094	0	69,806	0	94,379	73.9	
(事業メニュー) 111 市道の改良および舗装の推進									229,568	156,921	49,960	0	33,006	0	73,955	68.4	【検証】 【新幹線関連】若栗21号線、22号線道路改良工事等 【補助】 六天飛騨線、沓掛菰生線外7路線 【単独】道路改良工事等81路線 概ね計画通り実施した。 【次年度対応】 計画的に市道の改良、舗装の整備促進を図ることとしており、継続して実施予定。
111-1	◆	※ 新幹線関連道路網整備(公共)	市	継続	道路河川課	市道若栗21、22号線他の道路整備											
111-2	◆	※ 市道改良および舗装の整備(補助)	市	継続	道路河川課	道路の改良や舗装の整備											
111-3	◆	※ 市道改良および舗装の整備(単独)	市	継続	道路河川課	道路維持管理に必要となる道路補修等											

まちづくり方針等	No.	戦略	ハート	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等		
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源	執行率【B/A】%			
				(事業メニュー) 112 安心快適な歩行者空間の確保					0	0	0	0	0	0	0	0	—	【検証】 黒部宇奈月線の歩道整備は、関係機関に対し、要望活動を実施した。 【次年度対応】 引き続き関係機関に対し、要望活動を実施する。	
				112-1 ※ 市道の歩道整備	市	継続	道路河川課	—											
				112-2 黒部宇奈月線歩道の整備(浦山、下立地内)	市	継続	道路河川課	—											
				(事業メニュー) 113 道路ストックの長寿命化					82,082	73,358	16,134	0	36,800	0	20,424	89.4	【検証】 R元年度より2巡目の橋梁点検を実施した。また、音沢橋の修繕代行事業を実施した。 【次年度対応】 橋梁点検を継続して実施予定。また、舗装、橋梁等道路ストックの維持修繕を計画的に実施予定。		
				113-1 ◆ ※ 道路ストックの点検・修繕	市	継続	道路河川課	道路ストック(橋梁、トンネル等)の点検・修繕											
				[基本事業(施策中分類)] ④ 雪害対策事業					11,457	11,179	0	1,035	0	0	10,144	97.6			
				(事業メニュー) 114 除雪車両の更新					0	0	0	0	0	0	0	0	—	【検証】 実施計画期間外により、未実施であった。 【次年度対応】 R3年1~2月の記録的豪雪を受け、道路除雪計画の見直しを行い、ロータリー除雪車の導入を実施予定。	
				114-1 ※ 大型除雪機械更新	市	R1 ~ R3	道路河川課	—											
				(事業メニュー) 115 消融雪施設の整備					7,752	7,730	0	0	0	0	7,730	99.7	【検証】 愛本・内山地区消雪リフレッシュ工事等を実施した。概ね計画通り実施した。 【次年度対応】 消雪リフレッシュ工事を継続して実施予定。		
				115-1 ※ 道路消雪パイプの整備	市	H30 ~ R1	道路河川課	市民病院周辺の消雪施設の整備											
				115-2 ※ 既設消雪施設のリフレッシュ	市	継続	道路河川課	消雪水源、配管等の補修や更新											
				(事業メニュー) 116 地域ぐるみ除排雪活動の推進					3,705	3,449	0	1,035	0	0	2,414	93.1	【検証】 地域による自主的な除雪活動を促すためには、機械の整備は必要であるため、ハンドガイドローダーを3台購入し、3地区に貸与した。 【次年度対応】 年式の古い機械3台を対象に更新予定としており、継続して実施予定		
				116-1 ※ 地域ぐるみ小型除雪機械の整備	市	継続	道路河川課	小型除雪機械の整備											
				〈施策区分〉 3 市街地・住宅の整備					637,326	629,909	313,646	15,779	240,800	27,931	31,753	98.8			
				[基本事業(施策中分類)] ① 市街地整備事業					533,406	528,000	271,098	14,279	200,100	23,000	19,523	99.0			
				(事業メニュー) 117 三日月市保育所周辺土地区画整理事業の推進					533,406	528,000	271,098	14,279	200,100	23,000	19,523	99.0	【検証】 上野橋架け替えを含む都市計画道路大黒新天線等の道路整備工事、3件の物件移転、約3400㎡の仮換地指定を行うなど、着実に事業を推進した。 【次年度対応】 計画に基づき、権利者の理解・協力を得ながら、令和9年度までの事業完了に向けて、引き続き事業の確実な進捗を図る。		
				117-1 ◆ ※ 三日月市保育所周辺土地区画整理事業による中心市街地の整備	市	継続	街路公園課	都市計画道路・区画道路築造工事 物件移転補償等											
				(事業メニュー) 118 景観の美しい街並み形成の推進					0	0	0	0	0	0	0	0	—	【検証】 窓口で確認申請等の相談があった際やHPにて、制度の周知を行った。 【次年度対応】 HPや窓口での相談時の対応等、継続して実施予定。	
				118-1 景観条例・屋外広告物条例の周知啓発	市	継続	都市計画課	周知啓発											
				[基本事業(施策中分類)] ② 住環境整備事業					103,920	101,909	42,548	1,500	40,700	4,931	12,230	98.1			
				(事業メニュー) 119 公営住宅の整備推進					86,358	84,789	39,158	0	40,700	4,931	0	98.2	【検証】 長寿命化計画に基づき、経年劣化した箇所を修繕し、公営住宅の機能維持に努めている。 【次年度対応】 長寿命化計画に基づき計画的な修繕を行い、長寿命化を図る。		
				119-1 ※ 市営住宅・高齢者向け市営住宅の整備	市	継続	都市計画課	先進事例の調査研究											
				119-2 ※ 市営住宅の長寿命化	市	継続	都市計画課	住宅施設設備更新等											
				(事業メニュー) 120 宅地開発の促進					8,608	8,608	0	0	0	0	8,608	100.0	【検証】 補助申請見込1件、補助実績1件(計画額は無く、申請があった都度補正予算対応) 【次年度対応】 広報やHP、チラシ配布等を利用して補助制度を周知し、継続して実施する。		
				120-1 民間宅地開発に対する助成	市	継続	都市計画課	民間宅地開発支援事業補助金											
				(事業メニュー) 121 住宅環境の整備促進					8,654	8,512	3,390	1,500	0	0	3,622	98.4	【検証】 補助申請見込:木造住宅2件、老朽危険空家1件 補助実績:木造住宅3件、老朽危険空家1件 【次年度対応】 広報やHP、チラシ配布等を利用して補助制度を周知し、継続して実施する。		
				121-1 木造住宅耐震改修に対する助成	市	継続	都市計画課	木造住宅耐震改修補助											
				121-2 空家等対策事業(空家調査及び解体支援)	市	継続	都市計画課	老朽危険空き家対策支援事業補助、所有者等特定作業委託、特定空家等認定調査委託、空家実態調査費											

まちづくり方針等	No.	戦略	ハ イ ド	個別事業	事業 主体	実施 年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等	
									計画額計 【A】	実績額計 【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源	執行率 【B/A】 %		
				(事業メニュー) 122 克雷住宅の推進促進					300	0	0	0	0	0	0	0	0.0	【検証】 補助申請見込1件、補助実績0件 【次年度対応】 中山間地における屋根融雪装置設置の事例は少ないものの、未だ補助制度の相談を受けている状況であり、制度を継続して実施する。
	122-1			屋根融雪装置設置に対する助成	市	継続	都市計画課	屋根融雪装置設置費補助										
				〈施策区分〉 4 水道の整備					478,709	450,914	0	0	286,300	164,614	0	94.2		
				[基本事業(事業中分類)] ① 上水道・簡易水道施設整備事業					478,709	450,914	0	0	286,300	164,614	0	94.2		
				(事業メニュー) 123 安定した水源の確保					419,949	392,311	0	0	286,300	106,011	0	93.4	【検証】 水道施設の老朽化対策として、上水道区域1.3km、簡易水道区域1.2kmの老朽管を更新した。 漏水調査を78箇所実施し、19箇所の漏水修繕を実施した結果、上水道年間配水量に対しては2.4%、簡易水道年間配水量に対しては1.8%の漏水量を減少させ、高収率の維持に努めた。 【次年度対応】 高収率の維持のため、老朽管や設備の更新を行うとともに、漏水調査・修繕を実施する予定。	
	123-1		R4	※ 中坪水源地取水・配水施設の増設	市		上下水道工務課	-										
	123-2			◆ ※ 上水道施設の改良・更新	市	継続	上下水道工務課	管路・設備の更新工事										
	123-3			◆ ※ 簡易水道施設の改良・更新	市	継続	上下水道工務課	管路・設備の更新工事										
	123-4			◆ 上水道施設の維持管理	市	継続	上下水道工務課	上水道施設の維持管理										
	123-5			◆ 簡易水道施設の維持管理	市	継続	上下水道工務課	簡易水道施設の維持管理										
	123-6			◆ アセットマネジメント(資産管理)	市	継続	上下水道工務課	水道管路位置情報システム化業務委託										
				(事業メニュー) 124 水道施設の整備推進					58,760	58,603	0	0	0	58,603	0	99.7	【検証】 配水管0.47kmを布設し、未普及地域の解消に努めた。また、簡易水道組合の上水道への統合整備を進める中、配水管0.26kmを布設した。 【次年度対応】 未普及地域解消及び簡易水道組合の上水道への統合に向け、配水管整備を行う予定。	
	124-1			◆ ※ 水道普及促進事業(水道未普及地域配水管布設など)	市	継続	上下水道工務課	管路の新設工事										
				〈施策区分〉 5 下水道の整備					929,520	901,850	282,968	234	268,373	343,773	6,502	97.0		
				[基本事業(事業中分類)] ① 汚水処理施設整備事業					929,520	901,850	282,968	234	268,373	343,773	6,502	97.0		
				(事業メニュー) 125 公共下水道事業の整備推進					565,351	564,112	272,587	0	262,373	29,152	0	99.8	【検証】 水洗便所改造資金融資斡旋及び利子補給については、R2において新規の申請は無い。引き続き制度周知に努めていく。 下水管渠3.4kmを布設し、未整備地区の解消に努めた。黒部浄化センター中央監視設備更新工事を着手した。 【次年度対応】 未整備地区の管渠整備を継続して推進予定。老朽化している黒部浄化センター中央監視設備の更新工事を令和2年度に引き続き実施予定。	
	125-1			下水道の接続促進	市	継続	上下水道経営課	水洗トイレ等改造資金融資斡旋・利子補給										
	125-2			◆ ※ 公共下水道施設の建設	市	継続	上下水道工務課	下水道施設の建設(管路・処理場)										
				(事業メニュー) 126 下水道施設の維持管理					328,607	312,140	0	0	0	312,140	0	95.0	【検証】 安定した下水処理を行うため、施設の適正な維持管理を実施するとともに、老朽機器の修繕を実施した。 【次年度対応】 公共用水域の水質保全のため、適正な施設維持管理を実施し、安定した下水処理を行う。	
	126-1			下水道処理場および施設の維持管理	市	継続	上下水道工務課	下水道施設の維持管理										
				(事業メニュー) 127 農業集落排水施設の整備					24,573	18,481	10,000	0	6,000	2,481	0	75.2	【検証】 汚水樹6箇所を整備した。また、農業集落排水施設5地区の機能診断調査を実施した。 【次年度対応】 農業集落排水施設5地区の最適整備構想の策定を行うほか、公共下水道への統合を進める予定。	
	127-1			◆ ※ 農業集落排水施設の整備による水循環型社会の構築	市	継続	上下水道工務課	汚水樹設置工事 施設機能診断										
				(事業メニュー) 128 合併処理浄化槽の整備					10,989	7,117	381	234	0	0	6,502	64.8	【検証】 概ね計画どおり実施した。 ・区域外国庫補助:5人槽2基、計2基に補助交付 ・市単独補助:5人槽2基、7人槽2基、計4基に補助金交付 ・維持管理補助:5人槽90基、7人槽89基、10人槽23基、計202基に補助金交付 【次年度対応】 生活排水による水質汚濁を防止する観点から、引き続き合併処理浄化槽の整備及び管理の必要性について周知を図っていく。	
	128-1			◆ 下水道計画区域外における合併処理浄化槽の設置促進	市	継続	上下水道経営課	区域外の浄化槽設置者への助成(循環型社会形成推進交付金事業)										
	128-2			◆ 下水道計画区域内における合併処理浄化槽の設置促進	市	継続	上下水道経営課	区域内の浄化槽設置者への助成(市単独事業)										
	128-3			◆ 合併処理浄化槽維持管理の適正化	市	継続	上下水道経営課	合併処理浄化槽維持管理補助										

まちづくり方針等	No.	戦略	ハート	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	R2一般財源	執行率【B/A】%	
《施策区分》 6 公園・緑地の整備									121,560	120,328	50,269	0	52,700	8,466	8,893	99.0	
[基本事業(施策中分類)] ① 公園整備事業									115,475	114,265	50,269	0	52,700	6,000	5,296	99.0	
(事業メニュー) 129 都市公園の整備									114,695	113,529	50,269	0	52,700	6,000	4,560	99.0	【検証】 公園長寿命化計画に基づき、宮野運動公園において老朽化した施設(野球場バックネット、テニスコート4面、相撲場屋根)の更新を実施し、利用環境を向上させた。また、長寿命化計画以外に、宮野運動公園野球場屋内ブルベン等整備や庭球場照明更新など突発的な補修・修繕を実施し、安全性の確保や利用環境の維持に努めた。 【次年度対応】 公園長寿命化計画に基づき、引き続き公園施設の更新を実施し、老朽化に対する安全対策の強化やライフサイクルコストの縮減を図る。その他の公園施設についても、日常的補修や突発的補修を行う。
	129 - 1	◆ ※ 都市公園施設の計画的な改修・整備	市	継続	街路公園課	宮野運動公園野球場バックネット更新、テニスコート4面更新、相撲場屋根葺替											
	129 - 2	※ 都市公園施設の突発的な補修・修繕	市	継続	街路公園課	宮野運動公園野球場屋内ブルベン等整備工事、庭球場照明更新工事、公園施設維持補修・修繕											
(事業メニュー) 130 農村公園の整備									780	736	0	0	0	0	736	94.4	【検証】 公園施設の補修工事や、不良遊具の撤去工事を実施し、適正管理に努めた。 【次年度対応】 継続して適正管理に努めていく。
	130 - 1	※ 農村公園の適正管理	市	継続	農林整備課	農村公園管理委託(20公園)、遊具撤去、公園施設補修											
[基本事業(事業中分類)] ② 緑化推進事業									6,085	6,063	0	0	0	2,466	3,597	99.6	
(事業メニュー) 131 緑化の推進									6,085	6,063	0	0	0	2,466	3,597	99.6	【検証】 新型コロナウイルス感染症対策により、例年どおり実施できないイベントもあったが、代替イベントや事業により、緑化推進することができた。 【次年度対応】 花と緑の銀行本店、地方銀行と連携をとりながら引き続き、実施していく。
	131 - 1	地域の緑化活動支援	市	継続	農林整備課	地域花壇整備、緑化イベント、花木苗木配布											

まちづくり方針等 No.	戦略 ハ ド	個別事業	事業 主体	実施 年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
							計画額計 【A】	実績額計 【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源	執行率 【B/A】 %	
【まちづくり方針】 4 健やかで笑顔あふれる、ぬくもりのあるまちづくり							5,700,408	5,295,518	902,669	585,687	1,003,300	488,035	2,315,827	92.9	
《施策区分》 1 保健・医療の充実							1,510,906	1,440,066	32,038	101,945	1,000,000	52,772	253,311	95.3	
【基本事業(施策中分類)】 ① 保健活動・健康づくり推進事業							431,115	391,058	32,038	94,795	0	12,354	251,871	90.7	
(事業メニュー) 132 健康づくり基盤の充実							1,563	1,307	0	16	0	0	1,291	83.6	【検証】 計画通り実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため研修会等を一部中止。 健康づくり推進協議会 1回 母子保健推進員自主定例会 10回開催 (延)242名 食生活改善推進事業 ・中央研修会参加者(延)72人 ・地区伝達講習会25回 【次年度対応】 感染対策を行いながら、継続して実施予定
132-1		黒部市健康増進計画の策定および計画の推進	市	継続	健康増進課	黒部市健康増進計画の推進									
132-2		健康情報の発信およびPR媒体の作成	市	継続	健康増進課	保健推進計画、保健統計くろべ、保健カレンダーの作成、HP・CATVによる健康情報の発信									
132-3		健康づくり推進協議会の運営	市	継続	健康増進課	健康づくり推進協議会の開催									
132-4		食生活改善推進事業	市	継続	健康増進課	食生活改善推進員の育成									
132-5		地域における母子保健推進員活動への支援	市	継続	健康増進課	母子保健推進員の育成									
(事業メニュー) 133 健康診査等の充実							5,950	2,808	0	798	0	169	1,841	47.2	【検証】 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、計画通り実施。 骨粗鬆症:100人 30歳代健診:155人 循環器病対策健診:17人、歯周病健診:196人 訪問指導:延2人、健康づくりポイント事業補助券申請:84人 【次年度対応】 新型コロナウイルス感染症予防及び発生状況に対応しながら実施予定。
133-1	◆	健康診査および訪問指導	市	継続	健康増進課	健康診査(骨粗鬆症・歯周病健診等)、循環器病対策事業、健康ポイント、訪問指導事業(40歳～65歳)等									
(事業メニュー) 134 がん検診の充実							70,268	54,394	0	1,232	0	1,556	51,606	77.4	【検証】 緊急事態宣言中(4、5月)は集団検診を中止。6月以降は新型コロナウイルス感染症対策のため定数減だが計画通り実施した。 受診数:胃2,034人(17.4%)、大腸2,009人(17.3%)、子宮1,403人(15.4%)、乳1,167人(14.4%)、肺がん4,069人(32.9%)、前立腺157人、がん患者補正具助成:17人 【次年度対応】 新型コロナウイルス感染症予防及び発生状況に対応しながら実施予定。
134-1		がん検診事業	市	継続	健康増進課	肺がん・胃がん・大腸がん・子宮がん・乳がん・前立腺がん検診、がん患者補正具助成事業									
(事業メニュー) 135 健康教育・健康相談等の充実							2,558	2,531	0	250	0	0	2,281	98.9	【検証】 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、計画通り実施。 健康教育 12回 延100人 健康相談 72回 延589人、健やか黒部 減塩&野菜たっぷりプロジェクト2020 【野菜をおいしく食べよう! 2020料理レシピコンテスト 応募総数199点、図書館と連携イベント(延)43名(オンラインセミナー10名 健康チェックブース33名)、市民公開講座 21名】 【次年度対応】 新型コロナウイルス感染症予防及び発生状況に対応しながら実施予定。
135-1		教育・相談事業	市	継続	健康増進課	各種健康教室(栄養教室、ヘルスライフ講座等)、ヘルス相談の開催、減塩&野菜たっぷりプロジェクト									
(事業メニュー) 136 母子保健対策の充実							155,537	143,423	5,841	397	0	0	137,185	92.2	【検証】 計画通り実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため一部中止。 乳幼児健診受診率 99.2%(4月～5月一時中断、他の月に延期実施) 幼児フツ化物塗布(延)757人(4月～8月まで中止、9月再開) 新生児訪問数(延)285人 産婦訪問数(延)313人 不妊治療助成(延)99人 乳幼児教室参加数(延)272人 妊婦一般健康診査(延)3083人 適切な時期に各種予防接種を受けられるよう啓発に努めた。 風しんの追加的対策(R3年度までの実施) 抗体検査1,182人 予防接種255人 抗体検査受検率28.1% ロタウイルス定期化を円滑に実施した。 【次年度対応】 新型コロナウイルス感染症予防及び発生状況に対応しながら実施予定 対象者に対し、適切な時期に予防接種できるよう情報提供等、周知に努める。
136-1		乳幼児健康診査	市	継続	健康増進課	4か月児、9か月児、1歳6か月児、3歳児健診診査実施									
136-2		幼児むし歯予防事業	市	継続	健康増進課	フツ化物塗布の実施									
136-3	◆	新生児訪問事業	市	継続	健康増進課	新生児・産婦訪問の実施									
136-4	◆	乳幼児相談・教室	市	継続	健康増進課	健診事後フォロー教室、離乳食レッスン・ほめほめ教室、パパママ教室									
136-5	◆	妊産婦支援事業	市	継続	健康増進課	妊婦健康診査費・妊婦歯科健診診査費助成、産婦健康診査費助成									
136-6	◆	不妊治療費・不育症治療費助成事業	市	継続	健康増進課	不妊治療費、不育症治療費助成									
136-7		予防接種事業	市	継続	健康増進課	定期予防接種事業の実施									
(事業メニュー) 137 精神保健対策の充実							353	105	0	66	0	0	39	29.7	【検証】 人材養成事業(研修会年5回84人)、普及啓発事業(企画展1回、成人式450人)、若年層対策事業(小学生対象出前講座1回41人) 【次年度対応】 自殺対策計画に基づき、事業内容を精査しつつ継続して実施。
137-1		心の健康づくり・自殺対策事業	市	継続	健康増進課	精神保健事業、地域自殺対策強化事業									

まちづくり方針等	No.	戦略	ハ イ ド	個別事業	事業 主体	実施 年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等	
									計画額計 【A】	実績額計 【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源	執行率 【B/A】 %		
(事業メニュー) 138 国民健康保険事業の充実									194,886	186,490	26,197	92,036	0	10,629	57,628	95.7	【検証】 ・国保事業の運営については法律に基づいて国保会計への繰出を実施した。 ・特定健康診査は新型コロナウイルスの感染状況に留意し例年どおり実施した。健診期間中に感染状況次第で日程変更となる可能性があったため受診勧奨の実施は控えた。受診率：R元 50.0%(法定報告) R2 44.1%(速報値) 【次年度対応】 ・国保事業の運営については適正な財政運営のため法律に基づいて国保会計への繰出を継続して実施予定。 ・特定健康診査は新型コロナウイルス感染状況により受診環境に留意し実施予定。	
	138 - 1			国民健康保険事業の適正な運営	市	継続	保険年金課	国民健康保険事業の適正な財政運営										
	138 - 2			特定健康診査の実施	市	継続	保険年金課	生活習慣病の早期発見・重症化予防のため40歳以上の国保被保険者に健診を実施										
	138 - 3			特定保健指導の実施	市	継続	保険年金課	特定健診実施後、保健指導・医療機関受診が必要な者に対する指導・受診勧奨										
[基本事業(施策中分類)] ② 地域医療推進事業									6,426	6,355	0	0	0	4,915	1,440	98.9		
(事業メニュー) 139 在宅医療の充実									1,511	1,440	0	0	0	0	1,440	95.3	【検証】 ・在宅当番医運営事業は計画通りに実施した。 診察日数72日、患者数880人 ・研修会は年5回実施。 【次年度対応】 ・休日の急病等に対応するため継続して実施する。 ・新型コロナウイルス感染症予防の対策をしながら推進会議や研修会を実施する。	
	139 - 1			在宅当番医運営事業	市	継続	健康増進課	在宅当番医の運営委託										
	139 - 2			在宅医療・介護連携推進事業	市 その他	継続	福祉課	在宅医療・介護連携推進会議、研修会の開催等										
(事業メニュー) 140 地域医療連携体制の充実									4,915	4,915	0	0	0	4,915	0	100.0	【検証】 医療に関わる相談窓口や患者会への支援を実施した。 扇状地ネット利用登録施設件数33件(昨年同様) 【次年度対応】 相談窓口の人員体制の維持、患者会への支援を継続して実施。 扇状地ネット利用の促進	
	140 - 1			相談窓口事業の推進	市	継続	市民病院	総合相談室を中心とした医療に関わる相談窓口の運営とがんサロンや患者会の支援										
	140 - 2	◆		電子カルテによる医療連携ネットワークの拡充	市	継続	市民病院	扇状地ネットのシステムを活用した医療圏内での情報共有										
[基本事業(施策中分類)] ③ 市民病院整備事業									1,073,365	1,042,653	0	7,150	1,000,000	35,503	0	97.1		
(事業メニュー) 141 病院施設・設備の整備推進									1,048,425	1,030,546	0	7,150	1,000,000	23,396	0	98.3	【検証】 補助金を利用しながら、計画通り高額医療器械及び総合医療情報システムを更新した。 【次年度対応】 計画的な医療器械の更新。	
	141 - 1	◆	※	高度医療器械の更新	市	継続	市民病院	生化学自動分析システム他の更新										
	141 - 2	◆	※	総合医療情報システム(電子カルテ等)更新	市	R1 ~ R3	市民病院	総合医療情報システム(電子カルテ等)更新										
(事業メニュー) 142 救急、急性期および高度医療体制の充実									0	0	0	0	0	0	0	—	【検証】 看護師確保に努め、7:1看護体制を維持した。 ICU-Bを新型コロナウイルス感染症受入病床とした。 【次年度対応】 看護体制の維持とコロナ対応病床機能を確保する。	
	142 - 1			急性期一般入院科1(旧7対1看護体制)の維持	市	継続	市民病院	医療看護必要度の基準確保と退院支援の強化										
	142 - 2			病床機能の検討	市	継続	市民病院	ICU-Bを新型コロナウイルス感染症受入病床とする。										
(事業メニュー) 143 医療スタッフの確保・充実									24,940	12,107	0	0	0	12,107	0	48.9	【検証】 コロナ禍により、例年実施していた初期臨床研修医の合同説明会は中止となったが、県主催の説明会に出席し、研修医確保に努め、初期臨床研修医 8名枠に対し7名確保した。 また、看護師用官舎を借上げ、就業補助金や奨学金制度の創設により、看護師確保に努め、年度内で29名の看護師を採用し、年度末看護師数は328名となった。 【次年度対応】 リクルート動画を作成し、研修医や看護師等の確保に努める。	
	143 - 1	◆		初期研修医・専攻医の確保	市	継続	市民病院	研修内容のPRや見学・実習の積極的な受け入れのためホームページの充実と合同説明会への参加										
	143 - 2	◆		看護師等の確保	市	継続	市民病院	看護師官舎の提供強化、奨学金・就業補助金の継続、PR活動の充実、外国人特定技能人材の活用										
≪施策区分≫ 2 地域福祉の充実									29,271	28,388	6,011	8,490	0	10,228	3,659	97.0		
[基本事業(施策中分類)] ① 地域福祉体制整備事業									29,271	28,388	6,011	8,490	0	10,228	3,659	97.0		
(事業メニュー) 144 地域福祉環境の充実									13,220	12,611	0	8,490	0	2,715	1,406	95.4	【検証】 市社会福祉協議会へ2,014千円助成した。民生委員児童委員の相談・支援件数は新型コロナウイルス感染症の影響で、令和元年度の2,427件から2,104件に減少した。 【次年度対応】 地域福祉の啓発のため、引き続き市社会福祉協議会への助成を行う。民生委員児童委員については、担い手不足にならないよう業務の負担軽減に努める。	
	144 - 1			地域福祉の啓発事業	市	継続	福祉課	戦傷病者遺族会補助、市社協(法人運営費)補助										
	144 - 2			地域福祉を担う人材の育成・確保	市	継続	福祉課	民生委員活動補助、市社協(福祉団体補助)補助										

まちづくり方針等	No.	戦略	ハート	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2	R2	R2	R2	R2	R2	R2執行率【B/A】%	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源		
(事業メニュー) 145 地域福祉推進体制の強化								15,038	14,764	6,011	0	0	6,500	2,253	98.2	【検証】 社会福祉協議会のくろベネット事業で、高齢者への見守りや声掛けを延べ43,974回実施。生活困窮者自立支援事業では、社会福祉協議会による生活福祉資金等の貸付に合わせて、巡回相談12回、延べ相談件数771件を実施。総合相談センター運営事業として延べ3,347件の相談を実施。 【次年度対応】 市社会福祉協議会では、くろベネット事業を中心的な事業として位置付けており、担い手の育成や活動の体制、様々な地域資源の活用などを多角的に検討し包括的な見守り体制を整備していく必要があるとしている。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、生活困窮となった人への支援や一人暮らし高齢者の増加に伴う見守り体制を強化していく必要があり、引き続き事業を継続し、社会福祉協議会と連携しながら地域福祉推進体制の強化に取り組む。	
145 - 1	地域共生社会の推進	市	継続	福祉課	市社協(地域総合福祉推進事業)補助												
145 - 2	生活困窮者自立・相談支援	市	継続	福祉課	生活自立相談窓口運営委託、生活保護就労支援員の配置												
145 - 3	社会福祉協議会の活動支援	市	継続	福祉課	市社協(地域福祉活動推進事業・総合相談運営事業、地区社協活動費補助)補助												
(事業メニュー) 146 ボランティア活動の推進								1,013	1,013	0	0	0	1,013	0	100.0	【検証】 ボランティア参加者数は、令和2年度末個人2,960人、団体90、ボランティア活動保険加入者は1,813名であった。新型コロナウイルス感染症の影響から、児童生徒へのボランティア活動普及、福祉教育推進については縮小した。(福祉教育用具貸出3件(前年度23件)、ボランティア講師派遣5件(前年度8件)) 【次年度対応】 ボランティア活動の推進を図るほか、災害時でも対応できるよう社会福祉協議会と連携を進める。	
146 - 1	ボランティア活動推進事業	市	継続	福祉課	市社協(ボランティア活動推進事業)補助												
(事業メニュー) 147 地域福祉推進の新たな拠点整備								0	0	0	0	0	0	0	—	【検証】 市社会福祉協議会と建設の場所や補助金などについて協議をしたが、具体的な方向性を見出すことはできなかった。 【次年度対応】 市社会福祉協議会とスケジュールについて確認し、令和4年度から令和5年度にかけて、建設主体、場所、施設の機能、費用などについて協議を進める。	
147 - 1	※ 新総合福祉会館建設事業	市	継続	福祉課	部内の検討委員会を立ち上げ、具体的な施設及びその有用性について協議												
≪施策区分≫ 3 高齢者福祉の充実								1,421,657	1,381,888	0	101,433	3,300	129,533	1,147,622	97.2		
[基本事業(施策中分類)] ① 高齢者生きがいづくり事業								43,330	37,747	0	3,884	3,300	0	30,563	87.1		
(事業メニュー) 148 高齢者の社会参加と交流の促進								39,865	34,282	0	3,884	0	0	30,398	86.0	【検証】 新型コロナウイルス感染症の影響により敬老会については中止となり、記念品配布することとなった。老人クラブについては93団体に活動助成した。また富山地方鉄道の定期券購入助成事業であるゴールドパス補助事業については85件助成を行った。ふれあい福祉券については、新型コロナウイルス感染症の影響により施設等での利用が少なかったものの理美容院等の利用が多く、利用率は前年度49.8%とほぼ横ばいの50.0%であった。 【次年度対応】 ふれあい福祉券については市役所食堂や生涯学習文化スクエア「ぶらっと」でも利用できるよう拡充する。敬老会は新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、場合によっては令和2年度同様、中止や代替措置の検討が必要と思われる。しかしながら、こうした中でも、高齢者の社会参加と生きがいづくりを推進していくため、老人クラブやシルバー人材センターの助成を継続していくほか、生きがいづくり事業についても、より多くの高齢者が利用できるよう取り組む。	
148 - 1	老人クラブの育成・活動支援	市	継続	福祉課	単位老人クラブ・市老連合活動補助												
148 - 2	◆ 高齢者の生きがいづくり事業	県・市	継続	福祉課	敬老祝事業、敬老会開催補助、ふれあい福祉事業、高齢者向けゴールドパス補助事業等												
148 - 3	◆ シルバー人材センター運営支援	市	継続	福祉課	市シルバー人材センター運営費補助、全国シルバー人材センター協会会費												
148 - 4	※ 公共施設再編に向けたシルバー人材センターの施設の整備	市	継続	福祉課	公共施設再編に向けた検討												
(事業メニュー) 149 生きがいづくり支援施設の充実								3,465	3,465	0	0	3,300	0	165	100.0	【検証】 老朽化に伴い、冷房機器の取替工事を実施した。 【次年度対応】 危険物の規制に関する規則により、地下貯蔵タンクの更新工事を行う。	
149 - 1	※ 老人福祉センターの施設の充実	市 その他	継続	福祉課	冷房機器取り換え工事												
[基本事業(施策中分類)] ② 高齢者生活支援事業								721,152	715,615	0	97,549	0	33,371	584,695	99.2		
(事業メニュー) 150 高齢者福祉サービスの充実								714,140	709,522	0	97,037	0	30,714	581,771	99.4	【検証】 寝具洗濯乾燥サービスについては、従来、民生委員児童委員を通じて申請であったが、新型コロナウイルス感染症のため、一部について、民生委員児童委員を介さず、郵送でのやり取りで実施した。(382件) このほか、配食サービス204人利用、養護老人ホーム入所措置費4人対象 老人医療費助成及び後期高齢者医療の運営については概ね計画どおり実施した。＜老人医療費助成実績＞65-69歳軽度障害：733件、助成額 1,241千円 65歳以上重・中度障害：14,031件、助成額 61,678千円 【次年度対応】 寝具洗濯乾燥サービスについては、敷布団を2枚洗濯したいとの要望があり、要綱改正を行う。このほか、必要な高齢者が利用しやすいよう取組を進める。 老人医療費助成及び後期高齢者医療の運営については継続実施予定。ますます進む高齢化・長寿命化への対応(予算増)が必要。	
150 - 1	要援護高齢者在宅福祉サービスの提供	市	継続	福祉課	食の自立支援事業、寝具洗濯乾燥消毒サービス事業等												
150 - 2	要援護高齢者保護施設入所支援	市	継続	福祉課	養護老人ホーム入所措置費												
150 - 3	老人医療費助成事業	市	継続	保険年金課	65歳以上の重度心身障がい者等の医療費助成												
150 - 4	後期高齢者医療の適正な運営	市	継続	保険年金課	後期高齢者医療事業の適正な財政運営												
(事業メニュー) 151 高齢者の住環境の充実								7,012	6,093	0	512	0	2,657	2,924	86.9	【検証】 大雪のため、昨年度該当がなかった除雪支援について44人の申請があった。このほか、緊急通報装置設置事業の利用が80人、日常生活用具のうち電磁調理器設置事業の申請が2件、在宅高齢者住宅改善支援事業の申請が2件であった。 【次年度対応】 日常生活用具の支援については申請が低調な部分もあるため、利用者負担の軽減を図り、必要な高齢者に提供しやすいよう努める。	
151 - 1	要援護高齢者生活支援事業	市	継続	福祉課	緊急通報装置設置事業、日常生活用具の支援、除雪支援事業等												
151 - 2	在宅高齢者の住宅整備支援	県・市	継続	福祉課	在宅高齢者住宅改善支援事業												

まちづくり方針等	No.	戦略	ハ イ ド	個別事業	事業 主体	実施 年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
									計画額計 【A】	実績額計 【B】	国費	県費	地方債	その他	R2 一般財 源	執行率 【B/A】 %	
【基本事業(施策中分類)】 ③ 介護保険事業									657,175	628,526	0	0	0	96,162	532,364	95.6	
(事業メニュー) 152 介護保険サービスの充実									567,916	559,585	0	0	0	38,344	521,241	98.9	【検証】 介護サービスの給付実績は対前年増減率で2%増加している。 【次年度対応】 新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合と連携し、円滑な事業実施に努める。
	152 - 1			新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合による介護保険サービスの推進	市	継続	福祉課	新川地域介護保険組合分担金等									
(事業メニュー) 153 介護基盤の整備推進									11,120	11,120	0	0	0	0	11,120	100.0	【検証】 市有施設の譲渡後の運営等に要する経費の助成として社会福祉法人宇奈月福祉会及び笑福学園に対し助成を行った。10年間均等助成の2年目。 【次年度対応】 黒部市譲渡施設の運営等助成金交付要綱により引き続き助成を行う。
	153 - 1			介護施設の整備推進	県・市 その他	継続	福祉課	H30事業完了									
	153 - 2	※		公共施設再編に向けた宇奈月デイサービスセンター・認知症高齢者グループホーム・宇奈月健康福祉センターの施設の整備	市 その他	継続	福祉課	譲渡施設の運営費等補助金									
	153 - 3	※		公共施設再編に向けた黒部市デイサービスセンターつばき苑の施設の整備	市 その他	継続	福祉課	譲渡施設の運営費等補助金									
(事業メニュー) 154 総合的な介護予防の推進									53,446	39,325	0	0	0	39,322	3	73.6	【検証】 地域支え合い推進事業としての通いの場643回実施、参加数428人(実)、14,123人(延)介護支援サポーターポイント事業利用者数435人(実) 地域支え合い推進員養成講座の内容を見直し、修了者(40人)が増加した。訪問型サービスC利用者43人(延)、生き生き倶楽部133回開催、参加数1,331人(延) の影響により、通所・訪問型サービスの参加者数等は減少した。 介護予防普及啓発事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止や縮小しながら実施。 介護予防普及啓発事業55教室等 612回、参加数8,121人(延) 地域型クラブ事業225回、参加数2,907人(延) 地域リハビリテーション活動支援事業22回、参加数421人(延) 健康チェック継続は力なり事業補助券利用者3人(R2年度より健康ポイント事業に移行) 【次年度対応】 住民主体の支え合い活動の推進に向け、引き続き事業の普及啓発を図る。また、新型コロナウイルス感染症の感染対策を図りながら、安全に通いの場の運営ができるよう支援していく。 新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、事業を実施していく。
	154 - 1			介護予防サービス事業	市 その他	継続	福祉課	訪問型サービス、通所型サービス(地域支え合い推進事業を除く)									
	154 - 2			事業対象者把握事業	市 その他	継続	福祉課	介護予防把握事業									
	154 - 3			介護予防普及啓発事業	市 その他	継続	福祉課	介護予防事業(みまもり、老人クラブ関係を除く)									
	154 - 4			介護予防普及啓発事業	市 その他	継続	健康増進課	一般介護予防事業等(地域介護予防活動関係を除く)									
	154 - 5	◆		地域活動支援事業	市 その他	継続	福祉課	煌2025プロジェクト等									
	154 - 6			地域介護予防活動支援事業	市 その他	継続	健康増進課	地域型クラブ、地域リハビリテーション活動支援事業									
	154 - 7			疾病・介護予防推進事業	市 その他	R1 ~	健康増進課	健康チェック継続は力なり事業									
(事業メニュー) 155 包括的支援事業の推進									22,220	18,025	0	0	0	18,025	0	81.1	【検証】 介護予防支援マネジメント(予防給付・総合事業)の委託については、居宅支援事業所数の減少、また要介護認定者の増加により、委託件数が減少した。 専門職を対象とした成年後見制度利用促進事業研修会を開催。 【次年度対応】 高齢者虐待予防について、住民に対し普及啓発を強化する。 成年後見制度の利用が促進されるよう、制度について住民に周知する。また、中核機関設置に向け、職員の相談技術向上を図る。
	155 - 1			地域包括支援センターの運営	市 その他	継続	福祉課	地域包括支援センターの管理・運営									
	155 - 2			高齢者権利擁護事業	市 その他	継続	福祉課	成年後見制度利用事業、高齢者虐待防止事業									
	155 - 3			介護予防支援マネジメント事業	市 その他	継続	福祉課	介護予防支援マネジメント(予防給付・総合事業)の委託									
(事業メニュー) 156 認知症施策の推進									2,473	471	0	0	0	471	0	19.0	【検証】 新型コロナウイルス感染症の影響により、認知症講演会は中止、認知症カフェの委託継続が困難となった。認知症サポーター養成講座は16回開催し、224人受講した。 【次年度対応】 認知症カフェは、認知症の普及啓発や情報交換の場として市直営で実施する。また、継続して認知症サポーターの養成を図っていく。
	156 - 1			認知症総合支援事業	市 その他	継続	福祉課	認知症初期集中支援推進事業、認知症地域支援・ケア向上事業									
	156 - 2	◆		認知症高齢者等サポート事業	市 その他	継続	福祉課	認知症サポーター養成講座、徘徊高齢者等家族支援サービス事業、徘徊高齢者SOSネットワーク、講演会等									

まちづくり方針等	No.	戦略	ハード	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源	執行率【B/A】%	
〈施策区分〉 4 障がい者福祉の充実									958,970	904,151	404,685	177,559	0	44,793	277,114	94.3	
[基本事業(施策中分類)] ① 障がい者自立支援事業									958,970	904,151	404,685	177,559	0	44,793	277,114	94.3	
(事業メニュー) 157 障がい者在宅サービスの充実									939,203	885,529	404,115	177,275	0	44,793	259,346	94.3	【検証】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部の日中活動系サービスの利用が制限されたが、障害福祉サービス全体では、対前年度比3%増となる6,558件の利用があり、第5期障がい福祉計画の目標値を概ね達成することができた。 重度心身障害者医療費助成については概ね計画どおり実施した。<実績>5,192件、助成額 42,895千円 【次年度対応】 障害福祉サービスに従事する介護職員の確保に努め、障がい者がより充実した在宅生活を送れるよう必要なサービス量を確保する。 重度心身障害者医療費助成については継続実施予定。
157-1	訪問系サービス等の提供	市	継続	福祉課	訪問系サービスや相談支援、更生・育成医療、補装具、日常生活用具等の支給等												
157-2	◆ 日中活動への支援	市	継続	福祉課	日中活動系サービス、日中一時支援事業等												
157-3	居住生活支援	市	継続	福祉課	居住系サービス等の支援												
157-4	重度心身障害者医療費助成事業	市	継続	保険年金課	65歳未満の重度心身障がい者の医療費助成												
(事業メニュー) 158 障がい者支援施設の整備支援									4,134	4,134	0	0	0	0	4,134	100.0	【検証】 法人に対し、施設整備に伴う借入金の元金保証金の一部を助成し、安定した施設経営を支援した。 【次年度対応】 引き続き、安定した施設経営を支援する。
158-1	障がい福祉施設整備支援	市	継続	福祉課	障がい者支援施設等の整備に係る助成												
(事業メニュー) 159 障がい者の社会参加と交流の促進									15,633	14,488	570	284	0	0	13,634	92.7	【検証】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により手話奉仕員養成講座を中止した。感染防止に配慮した事業内容の見直しや規模の縮小等を行い、障がいに対する理解促進を図った。 【次年度対応】 新型コロナウイルス感染症の感染防止に配慮しながら、障がいに対する理解の促進や障がい者の社会参加と交流事業を継続して実施する。
159-1	理解促進・普及啓発事業	市	継続	福祉課	理解促進研修会事業、普及啓発事業等												
159-2	社会参加と交流への支援	市	継続	福祉課	自発的活動支援、手話奉仕員の養成等、地域活動支援センター運営費												
159-3	社会参加のための外出支援	市	継続	福祉課	タクシー・ガンソリン共通券給付、通学通園通所費助成等												
〈施策区分〉 5 子育て支援の充実									1,779,604	1,541,025	459,935	196,260	0	250,709	634,121	86.6	
[基本事業(施策中分類)] ① 子育て環境整備事業									1,779,604	1,541,025	459,935	196,260	0	250,709	634,121	86.6	
(事業メニュー) 160 子育てに関する支援・相談の充実									123,118	114,000	24,466	27,807	0	10,162	51,565	92.6	【検証】計画通りに実施し、充実した支援体制をとることができた。産後ケア事業では通所型を新規に実施、宿泊型を再編し支援体制を整備した。 助産師相談24回 86人(延) 臨床心理士相談10回 15人(延) 専任職員による相談支援 194人(延) 妊娠届出時面談 257人 産後ケア事業(訪問型・通所型) 4人(延) 産前産後サポート事業 29人(延) 子育て世代への多様な事業の実施により、子育て支援の充実を図ることができた。新型コロナウイルス感染症対策のため、子育て支援センターの臨時閉所や密集対策による予約制導入による運営としたため、利用者数は大幅減となった。 ・放課後児童健全育成事業 登録児童数 :613人(R3.3現在) 11カ所13クラス ・子育て支援拠点利用実績(延べ人数) 黒部:3,004人 宇奈月:1,098人 三日市:1,036人 田家:142人 【次年度対応】 産後うつ対策として、専任職員による専門相談の充実を図る。産後ケア事業、産前産後サポート事業等、対象者のニーズを見極め支援していく。 子育て世代のニーズを把握しながら、事業を継続する。
160-1	◆ 子育て世代包括支援センター事業	市	継続	健康増進課	専任職員による相談支援、助産師相談・臨床心理士相談会の実施、妊娠届出時面談の実施												
160-2	◆ 産後ケア事業	市	継続	健康増進課	産後ケア事業(宿泊型・訪問型・通所型)の実施												
160-3	地域での相談支援体制の構築	市	継続	健康増進課	こんにちは赤ちゃん訪問・養育支援訪問の実施												
160-4	◆ 赤ちゃんの駅設置事業	市	継続	健康増進課	赤ちゃんの駅の周知、利用促進												
160-13	◆ 産前産後サポート事業	市	R1	健康増進課	産前産後サポート事業(ディサービス型)の実施												
160-5	◆ 子育てに関する相談、情報提供等の支援	市	継続	こども支援課	子育て支援センター及び子育て支援室での子育て相談、情報提供等、ひとり親家庭への就労支援、経済的支援												
160-6	◆ 地域子育て援助活動事業	県・市	継続	こども支援課	ファミリーサポートセンター事業、とやまっ子子育て応援券事業、地域の宝誕生祝訪問事業、孫とおでかけ支援事業												
160-7	◆ 放課後児童健全育成事業(ソフト事業)	市	継続	こども支援課	放課後児童クラブ、さんさん広場による小学生の放課後の遊びや生活の場の提供、ちびっ広場の管理、児童センターの管理運営、児童クラブ活動支援												
160-8	◆ ※ 放課後児童健全育成事業(ハード事業)	市	継続	こども支援課	放課後児童クラブ、児童センター施設整備												
160-9	◆ ※ 三日市・前沢放課後児童クラブ統合整備事業	市	継続	こども支援課	三日市・前沢放課後児童クラブのあり方検討												

まちづくり方針等	No.	戦略	ハ イ ド	個別事業	事業 主体	実施 年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等	
									計画額計 【A】	実績額計 【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財 源	執行率 【B/A】 %		
	160 - 10			家庭児童相談員設置事業	市	継続	こども支援課	家庭児童相談員による専門的相談対応										
	160 - 11 ◆			誕生祝金等による育成支援	市	継続	こども支援課	誕生祝金の支給、命名紙の贈呈										
	160 - 12 ◆			三世代同居の促進	市	継続	こども支援課	三世代同居・近居サポート補助、リフォーム補助、孫守り支援										
(事業メニュー) 161 乳幼児の養護と教育の充実									1,176,899	1,056,703	307,318	154,233	0	147,494	447,658	89.8	<p>【検証】 病児・病後児保育室利用者は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅な利用減となった。 保育所入所児童数 公立:724人、私立:701人 幼稚園入園児童数 49人 一時預かり利用者数 公立:81人、私立:136人 病児・病後児保育室利用者数 くるみ:125人(うち市内121人)</p> <p>【次年度以降】 引き続き、職員の適正配置、私立保育所の運営支援により、保育所等の円滑な運営に努めるとともに、延長保育、休日保育、病児保育等の特別保育を実施し、多様なニーズに応える。</p>	
	161 - 1			市立保育所運営事業、特別保育事業の充実	市	継続	こども支援課	市立保育所の運営、延長保育・一時預かり等特別保育の実施										
	161 - 2 ◆			私立保育所運営事業、特別保育事業の充実	市	継続	こども支援課	私立保育所の運営支援、延長保育、休日保育、一時預かり等特別保育の実施										
	161 - 3			幼稚園運営事業	市	継続	こども支援課	幼稚園の運営、幼稚園教育の推進										
	161 - 4			幼・保連携の強化	市	継続	こども支援課	幼稚園・保育所の連携行事の実施										
	161 - 5			病児・病後児保育の充実	市	継続	こども支援課	病児・病後児保育室の運営							-1,035			
(事業メニュー) 162 保育所・幼稚園環境の充実									329,314	248,093	127,108	0	0	93,000	27,985	75.3	<p>【検証】 保育所等施設整備については、避難スロープ安全柵修繕、エアコンの整備を行い、安全で快適な保育環境の確保に努めた。また、民間保育所3園の大規模修繕・改築等についても施設整備補助により、支援を行った。石田こども園の民営化及び移転新築に向けた準備については、用地取得等により、建物整備前段階の準備を確実に進めることができた。</p> <p>【次年度以降】 施設整備に関しては、安心・安全な保育環境を確保するため、継続して取り組む。また、石田こども園の民営化及び移転新築に向けた準備については、法人と連絡調整を密に行い、造成工事及び建設に向け、継続して取り組む。</p>	
	162 - 1 ◆ ※			保育所等施設整備事業	市	継続	こども支援課	保育所等施設整備										
	162 - 2 ◆ ※			幼稚園運営事業	市	継続	こども支援課	幼稚園施設整備										
	162 - 3 ◆ ※			公共施設再編に向けた保育所等の施設整備	市	継続	こども支援課	保育所等の施設譲渡に伴う大規模改修及び改築並びに石田こども園の移転新築										
(事業メニュー) 163 乳幼児・児童の医療費助成の推進									150,273	122,229	1,043	14,220	0	53	106,913	81.3	<p>【検証】 乳幼児医療費助成 <実績>乳幼児:24,509件、助成額52,172千円 児童医療費助成 <実績>児童医療(高校生まで):28,784件、助成額66,600千円</p> <p>【次年度対応】 継続実施予定。県全域での現物給付化について県と協議を進めている。</p>	
	163 - 1 ◆			乳幼児医療費助成の実施	市	継続	保険年金課	妊産婦特有の疾病及び乳幼児の医療費助成										
	163 - 2 ◆			児童医療費助成の実施	市	継続	保険年金課	小学生から高校生等までの医療費助成										

まちづくり方針等	No.	戦略	ハート	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等	
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源	執行率【B/A】%		
									1,539,392	1,330,807	259,030	3,699	383,700	113,045	571,333	86.5		
									100	100	0	0	0	0	100	100.0		
									100	100	0	0	0	0	100	100.0		
									100	100	0	0	0	0	100	100.0	【検証】 コロナ禍の影響により参加人数が減少した。 ・H30 612人 R1 1,529人 R2 606人 【次年度対応】 今後も感染症対策をとりながら親学び実践事業への支援を通して、親同士のつながりや子育てに悩みを持つ親への支援する機会を設けていく。	
									0	0	0	0	0	0	0	—	【検証】 県主催事業につき、活動実績について十分に把握していない。 【次年度以降の対応】 年間の活動実績について把握する。	
									0	0	0	0	0	0	0	—	【検証】 郷土愛醸成や郷土芸能の継承、3世代交流、自然体験活動等で、新たな試みやふるさとの学びを推進する事業を実施。コロナ禍で様々な活動が制約を受ける中、かえて地元を見つめ直す機会となり、地域コミュニティの良さが実感された。 (地域振興型…地域課題の解決に取り組む事業)田家、(体験交流型…ふるさとの学びや自然体験活動)中央、浦山、下立、若栗、三田市、東布施 【次年度の対応】 地域の方々と交流しながら、学校や家庭ではできない活動を通して自然や地域について学ぶことができていると考えており、今後も同様の事業継続を支援したい。	
									773,461	590,686	78,039	1,805	90,100	37,016	383,726	76.4		
									346,739	236,427	73,839	0	90,100	14,000	58,488	68.2		
									247,830	146,305	50,022	0	50,100	11,000	35,183	59.0	【検証】 施設の適切な維持管理のため、学校と連携を図りながら小規模修繕を実施した。また、一定程度の規模の工事について、緊急度や優先度の観点等をもちながら実施した。GIGAスクール構想事業を推進するため、情報通信ネットワーク環境の整備に努めた。 ・工事件数:小学校43件 中学校12件 【次年度対応】 施設の小規模修繕を適宜実施し、施設の適切な管理に努めるとともに、一定規模以上の工事については、緊急度や優先度等を常に考慮し実施する。	
									167-1	市	継続	学校教育課	施設の維持管理に要する修繕料(小規模修繕)					
									167-2	市	継続	学校教育課	施設等の改修にかかる工事請負費、GIGAスクール構想事業					
									167-3	市	継続	学校教育課	施設の維持管理に要する修繕料(小規模修繕)					
									167-4	市	継続	学校教育課	施設等の改修にかかる工事請負費、GIGAスクール構想事業					
									85,875	77,638	23,817	0	40,000	0	13,821	90.4	【検証】 中央小学校プール耐震補強工事について、防災面での活用を視野に財源確保に努めるとともに、工期等にも留意しながら適切に実施した。 【次年度対応】 財源確保に努めながら計画性をもって大規模改造事業に取り組んでいく。	
									168-1	市	H30~R1	学校教育課	—					
									168-2	市	H30~R1	学校教育課	—					
									168-3	市	R2~R3	学校教育課	中央小学校プール改修					
									13,034	12,484	0	0	0	3,000	9,484	95.8	【検証】 将来的な小学校再編を検討するにあたっての資料とするため、内部事務として基礎調査を実施した。また、統合中学校の円滑な運営や生徒間の一体感の醸成のため、部活動活性化支援事業として、新ユニフォーム購入補助を行った。 旧学校施設4校について対話型市場調査を行ったほか、適切な維持管理に努めた。 【次年度対応】 小学校再編について議論を深め、将来的な方向性を取りまとめる。 旧学校施設の適切な維持管理に努めながら跡地の利活用に向け鋭意取り組む。	
									169-1	市	継続	学校教育課	学校教育基本計画及び小学校再編計画の基礎調査、部活動活性化支援事業費					
									169-2	市	H30~R4	学校教育課	旧東布施小、旧前沢小、旧鷹施中、旧宇奈月中の施設維持管理					

まちづくり方針等	No.	戦略	ハード	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等			
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源	執行率【B/A】%				
【基本事業(施策中分類)】② 学校教育環境整備事業									360,112	305,108	4,200	360	0	20,734	279,814	84.7				
(事業メニュー) 170 心と体を育む教育の推進									200,961	186,514	466	360	0	14	185,674	92.8	【検証】 コロナ禍の中、人員体制や必要物品等の確保や、心と体を育む教育の推進に努めた。小学校連合体育大会や小学校音楽会は中止となったものの、単に事業の実施の可否を検討するのではなく、どのようにすれば実施できるのかという観点を大切にし、学校と連携を図りながら事業に取り組んだ。 ・教育用コンピューターリース台数:小学校471台 中学校146台 ・AED台数:小学校12台 中学校5台			
	170-1			児童生徒用教材備品整備事業	市	継続	学校教育課	準教科書、副読本、理科教材、プラスバンド楽器の購入												
	170-2			教師用教科書及び指導書整備事業	市	継続	学校教育課	教師用教科書及び指導書の購入											学校給食センターの衛生管理、給食調理、給食配送業務委託を実施した。また、定期的に厨房機器や施設機器の点検・整備としてシステム食器洗浄機保守点検を実施した。	
	170-3			PC等情報教育機器整備事業	市	継続	学校教育課	パソコン(児童・生徒、教師、事務員)の修繕料、保守管理委託料、リース料(校務支援ソフト分含む)											R02から中学校統合のために食数やクラス等が増加したが、適切に給食を提供することに努めた。 新型コロナウイルス感染症対策として、補正(国庫補助金)で強度の強い食器トレーを購入する等ランチルームでの密を避け、各教室で給食を食べることができるように対策し実施できるよう努めた。	
	170-4	◆		不登校児童生徒支援事業	市	継続	学校教育課	適応指導教室「ほっとスペース」運営費及びスタッフ3人の配置											【次年度対応】 コロナ禍の収束が見通せない状況である中、子どもたちの健やかな成長のために何が必要であるかを常に考えながら、人員体制やソフト面の維持、充実に努める。一方、経費が固定化している面があり、全体的に増加する傾向にあることから、事業内容を常に精査する。	
	170-5			教育振興行事開催事業(小学校連合体育大会・小学校音楽会)	市	継続	学校教育課	市内小学校合同による体育大会と音楽会の開催 → 令和2年度中止											学校給食センターは、営業が開始されて11年となり、施設・整備に不具合が生じてきている。そのため、定期的に厨房機器や施設機器の点検・整備を行う必要があり、R3は食器消毒保管の保守点検を行う予定。 また、5年委託の給食調理・洗浄等業務委託が終了するため、翌年から5年間委託をするためのプロポーザルを行う予定。	
	170-6			豊かな体験活動促進事業	市	継続	学校教育課	豊かな感受性を育み、地域の一員であることを学ぶための田植体験や地域活動の実施												
	170-7			児童生徒、教職員の健康管理と衛生環境保全事業	市	継続	学校教育課	児童・生徒・教師の健康診断、学校医の配置、プール水質検査などの実施												
	170-8			臨時養護教諭配置事業	市	継続	学校教育課	修学旅行などの養護教諭不在時にケガや病院搬送など適切な対応に備えるための臨時教諭の配置												
	170-9			AED設置事業	市	継続	学校教育課	緊急時の救命に資するため、全学校にAEDを設置(リース料、点検費)												
	170-10			児童生徒の学習意欲向上並びに教員の資質向上を図る教育研究事業	市	継続	学校教育課	教員の資質向上にかかる研修会参加補助金、教育研究会活動補助金、県学力向上プラン研究事業												
	170-11			安全・安心な学校給食の提供と食育の推進	市	継続	学校教育課	自校式による給食の提供(宇奈月小学校)												
	170-12			安全・安心な学校給食の提供と食育の推進	市	継続	学校給食センター	センターの衛生管理、給食調理業務委託、給食配送業務委託												
(事業メニュー) 171 安心して学べる環境の充実									159,151	118,594	3,734	0	0	20,720	94,140	74.9	【検証】 奨学金制度における貸付を見直し、利便性の高い内容となるよう努めた。また、就学支援等についても教育機会の確保につなげるため、着実な実施に努めた。 遠距離通学対策について、安全安心な運行となるよう努めるとともに、特に清明中学校のスクールバス運行や明峰中学校の電車通学について、統合初年度の運用となることから、関係機関と連携し適切な実施に努めた。 【奨学金制度関連】 高校生等奨学金給付金 新規14人 継続18人 大学生等奨学金貸付金(貸付金額選択制導入) 新規9人 継続25人 高校等入学支援金 14人 奨学金返済支援事業費定住促進補助金 4人 【学校給食費助成】 児童(小学校のみ) 186人 【要保護・準要保護児童生徒就学奨助費】 児童 1学期97人、2学期97人、3学期95人、入学前12人 生徒 1学期63人、2学期65人、3学期65人、入学前24人 【特別支援教育就学奨助費】 児童 1学期50人、2学期50人、3学期49人 生徒 1学期16人、2学期13人、3学期15人 【遠距離通学対策】 ①スクールバス利用者 たかせ小48人、桜井小34人、宇奈月小21人、清明中151人、明峰中5人 ②電車利用者 宇奈月小45人、明峰中122人			
	171-1	◆		奨学金給付事業	市	継続	学校教育課	学資等の支弁が困難な高校生等に対する奨学金の給付(継続18人/新規14人)												
	171-12	◆		高校等入学支援金	市	R1	学校教育課	高校等入学・生活を円滑に迎えることができるよう、高校等入学支援金を支給												
	171-2	◆		奨学金貸付事業	市	継続	学校教育課	学資等の支弁が困難な大学生等に対する奨学金の貸付(継続25人/新規9人)												
	171-13	◆		奨学金返済支援事業費(定住促進補助金)	市	R1	学校教育課	奨学金の貸与を受けた者が、卒業後1年以内に黒部市内に居住した場合に返済金の一部を補助												
	171-14	◆		奨学金返済支援事業費(医療介護人材育成補助金)	市	R1	学校教育課	制度創設(R3年度から予算措置)												
	171-3			要保護・準要保護の児童生徒への就学支援事業	市	継続	学校教育課	経済的理由により就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対する支援												
	171-4			特別支援学級の児童生徒への就学奨励事業	市	継続	学校教育課	小中学校の特別支援学級へ就学する児童・生徒の保護者に対する支援												
	171-5			多子世帯への学校給食費の支援	市	継続	学校教育課	子育て支援の観点から、多子世帯に対する第3子以降の給食費の助成												
	171-6			小学校通学対策費(遠距離通学対策)(ソフト)	市	継続	学校教育課	小学校の遠距離通学対策として、スクールバスの運行及び電車定期券購入に対する補助												
	171-15	※		小学校通学対策費(遠距離通学対策)(ハード)	市	R1	学校教育課	-												
	171-7			中学校通学対策費(遠距離通学対策)(ソフト)	市	継続	学校教育課	中学校の遠距離通学対策として、スクールバスの運行及び電車定期券購入に対する補助												

まちづくり方針等	No.	戦略	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2 計画額計 【A】	R2 実績額計 【B】	R2 国費	R2 県費	R2 地方債	R2 その他	R2 一般財源	R2 執行率 【B/A】 %	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
	171-8	※	中学校通学対策費(遠距離通学対策)(ハード)	市	R1	学校教育課	-									
	171-9	◆	スタディ・メイト設置事業	市	継続	学校教育課	支援が必要な子どもの学習補助や見守りにより、円滑な学校運営に資するための指導員の配置(29人)									
	171-10	◆	スクールソーシャルワーカー設置事業	市	継続	学校教育課	児童・生徒の置かれた環境に働きかけ、指導上の課題に対応する専門員の配置(2人)									
	171-11		学校司書設置事業	市	継続	学校教育課	学校図書環境の充実と読書意欲の向上を図るための学校司書の配置(7人)									
【基本事業(施策中分類)】 ③ 国際化教育推進事業								60,997	45,605	0	0	0	1,102	44,503	74.8	
(事業メニュー) 172 特色ある英語教育の推進								58,498	43,112	0	0	0	96	43,016	73.7	【検証】 コロナ禍において、新規ALTが来日できない状況が続き、英会話科の授業等の実施にあたり支障が生じた。また、姉妹都市交流研修事業であるメーコン・ビブ郡への中学生派遣や英語サマーキャンプも中止せざるを得ず、特色ある英語教育の推進が阻害されるといふ厳しい年度となった。 ・外国語指導助手(ALT):7人 ・小中学校英会話講師:小学校(JAT)6人 中学校(JET)3人
	172-1	◆	外国語指導助手(ALT)配置事業	市	継続	学校教育課	教育課程特例校の指定に基づき小中学校で実施している英会話科授業の充実を図るためのALTの配置									
	172-2	◆	英会話講師配置事業	市	継続	学校教育課	日本人英会話講師の配置による英会話授業の充実									
	172-3	◆	中学生姉妹都市交流研修事業	市	継続	学校教育課	メーコン・ビブ郡への生徒派遣(16名) ⇒ 令和2年度中止									
	172-4	◆	英語サマーキャンプ開催事業	市	継続	学校教育課	小学5・6年生、中学1年生を対象とした、英会話に慣れ親しむキャンプの開催 ⇒ 令和2年度中止									
	172-5	◆	英語検定料補助事業	市	継続	学校教育課	英語検定3級以上を受験する中学3年生に検定料の半額を補助									
	172-6	◆	英会話科授業の充実	市	継続	学校教育課	英会話科年間指導計画、指導用ピクチャーカードなどの独自教材の作成									
	172-7	◆	黒部国際化教育推進協議会の運営	市	継続	学校教育課	国際化教育の事業方針等について諮問する黒部国際化教育推進協議会の開催									
(事業メニュー) 173 帰国児童生徒教育の推進								2,499	2,493	0	0	0	1,006	1,487	99.8	【検証】 教育センターに講師を配置し、帰国児童生徒への適切な指導、支援に努めた。 【次年度対応】 児童生徒一人ひとりの状況に応じた指導、支援に努める。
	173-1		帰国児童生徒教育支援事業	市	継続	学校教育課	帰国児童生徒、外国人児童生徒への指導等のための講師の配置、帰国児童生徒教育研究会への支援									
【基本事業(施策中分類)】 ④ 学校運営地域連携事業								5,613	3,546	0	1,445	0	1,180	921	63.2	
(事業メニュー) 174 地域人材・資源を活用した学校運営の推進								5,613	3,546	0	1,445	0	1,180	921	63.2	【検証】 コロナ禍により『14歳の挑戦』事業は中止せざるを得ず、中学生にとって貴重な体験となる機会を提供できなかった。スポーツエキスパートは23人、部活動指導員は6人を配置し、競技力の向上や部活動の活性化に努めた。 【次年度対応】 『14歳の挑戦』事業について、コロナ禍の状況が続いており、受入事業所の協力が不可欠であるが、実施に向けて鋭意取り組む。外部指導者配置事業及び部活動指導員配置促進事業については、教員の多忙化解消にもつながることから、人材確保に努め継続して実施する。
	174-1		社会に学ぶ『14歳の挑戦』事業	市	継続	学校教育課	規範意識や社会性を高め、たくましく生きる力を身につけさせるため、中学校2年生を対象に職場体験を実施 ⇒ 令和2年度中止									
	174-2		中学校運動部への外部指導者配置事業	市	継続	学校教育課	競技力の向上や部活動の活性化を図るため、中学校運動部に外部指導員(スポーツエキスパート)を配置									
	174-3		部活動指導員配置促進事業	市	継続	学校教育課	教員の部活動に携わる時間の軽減(多忙化解消)を図るため、指導員を配置									
	174-4		学校評議員の設置	市	継続	学校教育課	地域住民の意見の把握・反映や学校運営の状況を周知説明責任を果たすため、各学校に学校評議員を設置									
≪施策区分≫ 3 青少年の健全育成								3,429	2,137	0	740	0	765	632	62.3	
【基本事業(事業中分類)】 ① 青少年健全育成事業								3,429	2,137	0	740	0	765	632	62.3	
(事業メニュー) 175 健全育成活動の推進および指導体制の充実								3,371	2,137	0	740	0	765	632	63.4	【検証】 コロナ禍の影響により一部事業の延期があったが、2部制での成人式の開催、参加人数を制限して教室の開催など、工夫を凝らしながら地域行事への青少年の参加促進を図り、概ね計画どおり実施できた。 ・成人式 成人者数 423人 参加者数 316人 ・放課後子ども教室 参加児童数1,596人、実施回数108回 ・高校生海外派遣事業 R3へ延期 【次年度対応】 今後も感染症対策をとりながら青少年育成団体への支援を通して、若者が地域に根差した活動への参画を促進する。また、延期された事業についての支援を実施する。
	175-1		青少年育成団体等運営費補助	市	継続	生涯学習文化課	青少年育成市民会議、青少年女発明クラブ活動補助金									
	175-2		成人式の開催	市	継続	生涯学習文化課	成人式開催費									
	175-3		高校生海外派遣事業補助	市	継続	生涯学習文化課	高校生海外派遣事業補助金(開催中止)									

まちづくり方針等	No.	戦略	ハワード	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等	
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	R2一般財源	執行率【B/A】%		
	175-4	◆		放課後子ども教室推進事業	市	継続	生涯学習文化課	放課後子ども教室開催委託										
(事業メニュー) 176 社会参加活動の促進									58	0	0	0	0	0	0	0.0	【検証】 本事業のニーズは今後減少するものと見込まれ、中期的には中断する。 【次年度対応】 休止中。	
	176-1			青年団体等運営補助	市	継続	生涯学習文化課	青年団協議会運営補助金										
＜施策区分＞ 4 生涯学習の推進									290,384	287,270	146,747	0	78,000	1,886	60,637	98.9		
[基本事業(施策中分類)] ① 生涯学習拠点整備事業									245,220	243,360	146,747	0	78,000	445	18,168	99.2		
(事業メニュー) 177 生涯学習施設の整備推進									245,220	243,360	146,747	0	78,000	445	18,168	99.2	【検証】 ・R2.4月賑わい空間用地を取得。6月までに旧庁舎解体実施設計を完了し、8月から解体工事に着手しR3.5までに完了予定としている。(仮称)くろべ市民交流センター建設の設計はR3.3に完了した。(仮称)東布施地区防災コミュニティセンターは、実施設計を完了し、R3.4月から工事着手の予定としている。 ・国費等、財源を確保しながら計画的な修繕を行った。主な内容は下記のとおり。 (中央公民館)→防災設備用発電機更新工事(12,100千円) (地区公民館)→養生 外壁補修工事(3,168千円)、内山 渡り廊下修繕(942千円)及び体育館床修繕(836千円)、生地 エレベーター機械室屋根修繕(847千円) (ふれあい交流館)→非常用発電機バッテリー交換(757千円)、脱衣場床張替工事(314千円) 高圧気中開閉器更新工事(525千円) 【次年度対応】 ・旧庁舎解体完了後、交流センター建設工事に着手し、R5.夏に開館を予定している。賑わい空間の整備は、R4年度に予定。東布施防災コミセンは、R4.3月に竣工予定。竣工にあわせ備品整備を行い、引き続き外構整備に着手する予定としている。 ・長期修繕計画を立てながら、適時執行することで生涯学習活動の環境確保に努める。	
	177-1	◆	※	(仮称)くろべ市民交流センターの建設	市	継続	生涯学習文化課	旧庁舎解体費(実施設計業務委託、事前調査(建物、土質)、石綿定性分析調査)、交流センター整備事業(建設実施設計業務委託、敷地内道路測量、敷地内道路土質・土壌調査、消雷用水源井戸フレッシュ工事等)、賑わい空間整備事業用地取得										
	177-2	◆	※	生涯学習拠点施設の整備	市	R2~R4	生涯学習文化課	(仮称)東布施地区防災コミュニティセンター整備事業(実施設計業務委託、駐車場・訓練・避難広場等測量、実施設計業務委託、地質試掘調査、確認申請手数料等)										
	177-3	◆	※	既存生涯学習施設の維持・改修	市	継続	生涯学習文化課	生涯学習施設の施設維持工事費(中央公民館、地区公民館、ふれあい交流館)										
[基本事業(施策中分類)] ② 生涯学習推進事業									23,035	22,289	0	0	0	1,109	21,180	96.8		
(事業メニュー) 178 読書普及活動の充実									13,655	13,647	0	0	0	1,000	12,647	99.9	【検証】 新型コロナによる緊急事態宣言時(4~5月)においても県内公共図書館唯一開館を続け利用促進を図ったほか、R3.1月の豪雪時にも貸出業務を続けたが、外出自粛等による影響をうけ、一人当たりの貸出冊数5.1冊(昨年比0.4冊減)であった。また、図書5,736冊購入し図書資料の充実を図り、図書の除籍基準に基づき16,359冊を除籍作業を実施した。なお、子ども読書活動推進事業については、新型コロナ感染防止のため、縮小して実施した。子ども一人当たりの貸出冊数は14.8冊(昨年比1.5冊減)となった。 【次年度対応】 新館への移転に向け図書資料の充実を図る。図書資料の除籍も計画的に実施する。	
	178-1			図書資料の充実および活用	市	継続	図書館	資料・サービスの充実、利用促進										
	178-2			子ども読書活動推進事業	市	継続	図書館	子ども読書活動推進計画の進捗管理										
	178-3			(仮称)くろべ市民交流センターの建設に向けた図書資料の整理	市	継続	図書館	図書資料の整理のため除籍担当司書の配置										
(事業メニュー) 179 公民館活動の推進									7,400	7,400	0	0	0	0	7,400	100.0	【検証】 コロナ禍であったが、通常分は、利用回数8,315回(対前年比78.8%)、利用者数109,729人(対前年比70.1%)と前年度比約7割超を維持できた。重点分は、「ふるさとを見つめ直す事業」「民間との共催事業」等の新規事業を推進した。 【次年度対応】 R2年度実施した各館の感染対策のノウハウや工夫を市内全館で共有し、より一層全世代型の生涯学習活動を進め、高い効果を求めていく。	
	179-1	◆		コミュニティづくり推進事業	市	継続	生涯学習文化課	コミュニティづくり推進事業費:通常分(16館)、重点分(4館)										
(事業メニュー) 180 生涯学習活動(各種教室・講座等)の推進									1,980	1,242	0	0	0	109	1,133	62.7	【検証】 コロナ禍ではあったが、工夫や対策で事業を継続し、来場者 対前年比約7割を維持できた。 ▼来場者(対前年比) ・生涯学習フェスティバル 538人(67.9%) ・ふるさと黒部 つむぐプロジェクト 応募総数467件、入賞15人 ・市民カレッジ1,007人(97.7%) ・社会教育活動 市内視察(市美術館、YKKセンターパーク)、会議開催(2回)、東海北陸大会(中止) 【次年度対応】 これらの生涯学習活動で培った叡智を地域活動へ還元し、地域活動の活性化や地域教育の推進に繋げるため、今後も黒部市公民館連絡協議会と連携を図りながら継続していく。	
	180-1	◆		生涯学習フェスティバル開催事業	市	継続	生涯学習文化課	生涯学習フェスティバル、ふるさと黒部 つむぐプロジェクト										
	180-2	◆		市民カレッジ等開催事業	市	継続	生涯学習文化課	市民カレッジ開催費、市民大学講座開催費等										
	180-3			社会教育委員等の活動推進	市	継続	生涯学習文化課	社会教育委員及び社会教育委員会開催費										
	180-4			県民カレッジとの連携による生涯学習機会の拡充	市	継続	生涯学習文化課	中央公民館にて2回、共催事業を開催										
[基本事業(施策中分類)] ③ 生涯学習人材育成事業									22,129	21,621	0	0	0	332	21,289	97.7		
(事業メニュー) 181 生涯学習団体リーダーの養成									22,129	21,621	0	0	0	332	21,289	97.7	【検証】 会計年度職員制度初年度であり混乱も予想されたが、事前準備が功を奏し、効率よくかつ滞りなく事務を遂行し、働く職員が能力を個々に発揮し、市民へ還元が進む環境を作れた。 【次年度対応】 継続(コスト維持)し、職員が意欲的に働ける支援を行い、事業の成果を求めていく。	
	181-1			公民館長の配置	市	継続	生涯学習文化課	公民館長報償費(17公民館)										
	181-2			社会教育指導員の配置	市	継続	生涯学習文化課	社会教育指導員共済費、賞金7名(中央公民館、三日市公民館、歴史民俗資料館)										

まちづくり方針等	No.	戦略	ハ ー ド	個別事業	事業 主体	実施 年度	担当課	R2事業の内容	R2 計画額計 【A】	R2 実績額計 【B】	R2					R2 執行率 【B/A】 %	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
											R2 国費	R2 県費	R2 地方債	R2 その他	R2 一般財 源		
《施策区分》 5 芸術文化の振興									304,847	297,265	642	1,154	173,900	25,500	96,069	97.5	
[基本事業(施策中分類)] ① 芸術・文化・科学施設整備事業									204,275	199,668	0	0	173,900	5,000	20,768	97.7	
(事業メニュー) 182 芸術・文化・科学活動施設・設備の整備推進									204,275	199,668	0	0	173,900	5,000	20,768	97.7	【検証】 ・美術館は、空調設備更新工事を実施し、設備の計画的更新を図った。 ・コラーレは、平成30年度からの施設長寿命化計画に基づき、3期目として屋上防水工事(学習棟)及び大ホール周りの外壁改修工 事を実施した。そのほか、高圧ケーブル更新工事、LPガス供給設備機器更新工事を行い、施設の機能維持を行ったほか、大ホール 投下手摺取付を行うなどバリアフリーへの対応を進めた。 【次年度対応】 ・美術館は、設備の計画を見直し、引き続き芸術文化の核となる施設の充実を図っていく。科学館は施設修繕計画を整理し、必要な 事業を実施しながら成果を求めていく。 ・コラーレは、次年度は4期目となる外壁改修を行い、北面の残り及び学習棟の外壁改修を実行。そのほか、機能維持として空調 冷水器修繕を実施する。
182-1	◆ ※	国際文化センター・コラーレの施設・設備の整備	市	継続	企画情報課	施設改修、備品購入											
182-2	◆ ※	美術館の施設修繕・改修、機器類更新	市	継続	生涯学習文化課	施設修繕(空調機器更新工事費)											
182-3		収蔵美術作品の充実	市	継続	生涯学習文化課	次回購入作品選定に向けた調査											
182-4	◆ ※	吉田科学館の施設修繕・改修、機器類更新	市	継続	生涯学習文化課	プラネタリウム機器修繕											
[基本事業(施策中分類)] ② 芸術・文化・科学活動促進事業									91,778	90,463	0	833	0	20,190	69,440	98.6	
(事業メニュー) 183 芸術・文化・科学に親しむ機会の拡充および情報提供の充実									89,863	88,695	0	833	0	20,000	67,862	98.7	【検証】 市芸術祭市美術展を10/23～10/27開催。85点展示。詩の道句集事業は5月～12月に市内12カ所で募集し182人195句応募。黒部シ アター2020を10/30～10/31開催。演劇公演2回上演した他トークイベント1回開催。併せて市民鑑賞奨励事業実施。アーティストinく ろべ青少年交流事業を3/5～3/7開催。東京藝術大学の演奏家を招聘し中高生への指導会及び演奏会を実施し、芸術文化事業の 充実を図った。美術館は、新型コロナの影響により1つの企画展を翌年に延期し2回の企画展示と出前授業38回を開催した。コロナ 禍の対応としてアーティストトークをWEB配信の工夫をするなど、市内外へPRし美術の啓蒙に努めた。科学館は新型コロナの影響 により休館後から定員減等の対策を行った。7月からのオリジナル番組および特別展は水循環をテーマに連携した事業を実施したほ か、コロナ禍に対応させ、オンラインの動画配信や16日間に変更した科学館ウィークを取り組んだ。 【次年度対応】 芸術文化事業は、引き続き芸術祭及び芸術体験としての各事業を継続し、芸術文化振興につながるよう充実を図っていく。美術館・ 科学館は、継続(コスト維持)して予定どおりの成果を求めていく。
183-1	◆	国際文化センター・コラーレでの芸術・文化事業の実施	市	継続	企画情報課	コラーレ開館25周年事業等自主事業の実施											
183-2	◆	黒部市芸術祭の開催及び芸術体験の充実	市 その他	継続	生涯学習文化課	美術展開催費、劇団フロンティア公演補助金、 2020年とやま世界こども演劇祭プレ公演開 催費、アーティストinくろべ青少年交流事業 費、黒部シアター2020											
183-3	◆	詩の道事業	市	継続	生涯学習文化課	詩の道句集事業の実施											
183-4		美術館自主事業	市	継続	生涯学習文化課	運営補助金											
183-5	◆	吉田科学館自主事業	市	継続	生涯学習文化課	運営補助金、プラネタリウムに係るオリジ ナル番組作成費、新作ソフト使用料											
(事業メニュー) 184 芸術・文化活動への支援									1,915	1,768	0	0	0	190	1,578	92.3	【検証】 全国大会出場への激励費・派遣費はなし。各種芸術文化団体の取り組みに対し、団体が継続的に創作活動ができるよう支援・育成に 努めた。 【次年度対応】 継続(コスト維持)して予定通りの成果を求めていく。
184-1	◆	各種文化団体補助(黒部市芸術文化協会補 助金、日本黒部学会)	市	継続	生涯学習文化課	市芸術文化協会補助金、日本黒部学会補助金、「湯の 街ふれあい音楽祭モーツァルト@宇奈月」開催補助 金、「第14回名水の里ドライブインコンサート」開催補助金											
184-2		芸術文化大会出場支援	市	継続	生涯学習文化課	芸術文化全国大会出場激励費・派遣 費											
[基本事業(施策中分類)] ③ 文化財保護事業									8,794	7,134	642	321	0	310	5,861	81.1	
(事業メニュー) 185 伝統芸能の保存・継承の推進									760	310	0	0	0	310	0	40.8	【検証】 県指定2団体、獅子舞団体7団体への活動を支援した。 【次年度対応】 今後も、文化財等芸能・伝統行事の保存・伝承活動が継続されるよう活動に対し支援する。
185-1	◆	指定文化財保存会への支援	市	継続	生涯学習文化課	指定無形民俗文化財保存会補助金(7 団体/国指定1団体、県指定2団体、市 指定4団体)											
185-2	◆	伝承芸能獅子舞保存会への支援	市	継続	生涯学習文化課	獅子舞保存会補助金(12団体)											
(事業メニュー) 186 文化遺産の発掘・公開の推進									4,646	4,646	0	0	0	0	4,646	100.0	【検証】 目標を概ね達成し、期待された効果を予定通り上げた。松桜閣は、新型コロナの影響により休館を余儀なくされた時期もあったが、4 月～11月まで週6日開館し、管理・運営に対する支援等を実施した。歴史民俗資料館は、新型コロナの影響により臨時休館後からは 予約・定員制を導入するなどの対策を行った。特別展として「新川の鉱山物語」を実施したほか、歴史講座などを取り組んだ。 【次年度対応】 継続(コスト維持)して予定通りの成果を求めていく。
186-1	◆	松桜閣の保存支援	市	継続	生涯学習文化課	運営補助金、トイレ管理委託											
186-2	※	埋蔵文化財関連資料(遺物等)の保管場所の確保	市	継続	生涯学習文化課	保管場所の検討・調査											
186-3	◆	歴史民俗資料館自主事業	市	継続	生涯学習文化課	特別展・企画展開催費											
186-4		郷土文化保存伝習館の企画展示	市	継続	生涯学習文化課	展示替え(年1回)											

まちづくり方針等	No.	戦略	ハイト	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源	執行率【B/A】%	
	(事業メニュー) 187 文化財の調査・研究および啓発								3,388	2,178	642	321	0	0	1,215	64.3	【検証】 指定史跡等の維持管理を予定通り行った他、東布施地区の2つの無形民俗文化財の調査を行い、文化財が後世に継承されるよう保護に努めた。 【次年度対応】 引き続き、文化財を後世に継承していくため、指定文化財の保護・調査・研究に取り組む。
	187-1			文化財解説冊子、マップ作成	市	継続	生涯学習文化課	冊子改定に向けた原稿案の作成									
	187-2			愛本刎橋、生地台場等指定文化財の保護	市	継続	生涯学習文化課	指定史跡等維持管理費、国選択無形民俗文化財調査事業費									
	＜施策区分＞ 6 スポーツの振興								159,306	147,154	33,602	0	41,700	47,866	23,986	92.4	
	[基本事業(施策中分類)] ① スポーツ・レクリエーション環境整備事業								83,315	81,318	33,602	0	41,700	0	6,016	97.6	
	(事業メニュー) 188 スポーツ・レクリエーション施設の整備推進								83,315	81,318	33,602	0	41,700	0	6,016	97.6	【検証】 パークゴルフ場は、しらかさ5、6ホールの暗渠工事(全長52m)を行った。総合体育館等のスポーツ施設の整備については、長寿命化及び維持補修ともに計画通り実施できた。 【次年度対応】 パークゴルフ場は、指定管理者と協議し、優先度の高い箇所から実施予定。スポーツ施設の老朽化が課題となっており、適切な維持補修を行う必要がある。 総合体育センターについては、個別長寿命化計画の策定し計画的に整備を進めていく必要がある。他施設についても適切に使用できるよう、適宜整備を進めていく。
	188-1			※ パークゴルフ場施設整備事業	市	継続	農業水産課	コース管理補修工事									
	188-2			◆ ※ 総合体育センターの施設の整備	市	継続	スポーツ課	長寿命化へ向けた施設整備、快適な運営のための維持補修									
	188-3			◆ ※ 錬成館の施設の整備	市	継続	スポーツ課	施設の維持補修									
	188-4			◆ ※ 健康スポーツプラザの施設の整備	市	継続	スポーツ課	施設の維持補修									
	188-5			◆ ※ 公共施設再編に向けた宇奈月体育センターの施設の整備	市	継続	スポーツ課	施設の維持補修									
	188-6			◆ ※ グラウンド照明(学校開放)の整備	市	継続	スポーツ課	施設の維持補修									
	188-7			◆ 学校施設による身近な活動拠点の提供	市	継続	スポーツ課	放課後開放事業の運営									
	[基本事業(施策中分類)] ② スポーツ・レクリエーション活動推進事業								75,991	65,836	0	0	0	47,866	17,970	86.6	
	(事業メニュー) 189 スポーツ教室の充実								1,145	1,145	0	0	0	355	790	100.0	【検証】 新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、総合型スポーツクラブで各種スポーツ教室を状況に応じて開催するなど、概ね計画どおりに実施できた。 【次年度対応】 引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、市民のニーズを捉えた各種教室等の開催に努め、継続して実施予定。
	189-1			総合型地域スポーツクラブの推進	市 その他	継続	スポーツ課	総合型地域スポーツクラブの推進									
	189-2			各種スポーツ教室の開催	市 その他	継続	スポーツ課	ちびっこ・わんぱくスポーツ教室、幼児期の体力づくり事業開催委託									
	(事業メニュー) 190 スポーツイベントの充実								23,433	18,933	0	0	0	15,500	3,433	80.8	【検証】 新型コロナウイルス感染症の収束が見込めないことから、計画していた多くのイベント・大会が中止となり、名水マラソンにおいても初の中止を決定した。名水マラソンにおいては、中止による収支を精査し、準備等に要した経費を除き、参加者へ参加料の返還を行った。この対応は他の大会に先駆けてのものであり、ランナーから一定の好評価を得た。 また、インドホストタウン事業については、オリンピック開催1年延期を市民への周知・機運醸成期間増の機会と捉え、引き続きインド政府と友好な関係を維持した。 【次年度対応】 各種イベント・大会については、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じながら、継続して事業を実施していく。名水マラソンでは通常の暑さ対策に加え、新型コロナウイルス感染症対策についても十分な対策を講じていく必要がある。 ホストタウン事業については、ホストタウンとして、事前キャンプの受け入れ準備とインド代表応援事業を継続して実施していく。大会終了後、新型コロナウイルスの収束状況を鑑みながら、事後交流についてインド側と調整をしていく。
	190-1			◆ カーター記念黒部名水マラソンの開催	市 その他	継続	スポーツ課	カーター記念名水マラソンの開催									
	190-2			◆ エブリパティ市民体育大会等、市民参加のイベントの開催	市 その他	継続	スポーツ課	市民が参加・出場するスポーツイベントの開催委託及び補助									
	190-3			◆ 全国・ブロック大会等の開催	市	継続	スポーツ課	各種全国・ブロック大会等への開催補助									
	190-4			◆ 東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプの誘致	市	継続	スポーツ課	オリンピックアーチェリー競技インド代表のキャンプ受入									
	(事業メニュー) 191 スポーツ団体の育成強化および指導者の養成								49,844	44,189	0	0	0	32,011	12,178	88.7	【検証】 新型コロナウイルス感染症の収束が見込めないことから、各種大会が中止となり、激励費対象大会が大幅に減となった。 アクアエアリースやスポーツ推進委員については、新型コロナウイルス感染症対策を十分講じながら計画の見直しを行いつつ事業を実施した。 【次年度対応】 トップアスリートへの支援や市民ひとり1スポーツの実現のため、継続して事業を実施していく。
	191-1			◆ 優秀スポーツクラブ育成補助	市	継続	スポーツ課	優秀スポーツクラブへの活動補助									
	191-2			◆ スポーツ選手、各種スポーツ団体への支援	市	継続	スポーツ課	全国・ブロック大会、県民体育大会出場選手への激励費の支給、中学生を含む選手の強化補助									
	191-3			◆ 指導者の養成	市	継続	スポーツ課	スポーツ推進委員の育成									

まちづくり方針等	No.	戦略	ハワード	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源	執行率【B/A】%	
(事業メニュー) 192 各種スポーツに関する情報提供の充実									1,569	1,569	0	0	0	0	1,569	100.0	【検証】黒部スポーツ情報ステーションを通して、各種施設の予約状況並びに競技情報の提供を図った。 【次年度対応】各スポーツ施設の有効利用を図るため、継続して実施していく。
	192-1			施設利用の状況提供等のネットワーク化、スポーツ事業の情報提供	市	継続	スポーツ課	施設利用状況ネットワークの維持管理									
	192-2	◆		スポーツ大会等の情報発信	市	継続	スポーツ課	スポーツ事業の情報提供									
＜施策区分＞ 7 国際化への対応									7,865	6,195	0	0	0	12	6,183	78.8	
[基本事業(施策中分類)] ① 国際交流活動推進事業									7,865	6,195	0	0	0	12	6,183	78.8	
(事業メニュー) 193 海外姉妹都市・国際友好都市との交流推進									1,575	805	0	0	0	0	805	51.1	【検証】新型コロナウイルス感染症の収束が見込めないことから、三陟ファン・ヨンジョ国際マラソン大会が中止となり派遣も中止となった。根室市スポーツ交流では、感染症対策を十分に講じ、根室市から17人の選手団を受け入れ、スポーツ研修(ニュースポーツ)を実施した。 【次年度対応】新型コロナウイルス感染症の影響により黒部名水マラソン自体が中止となったため、三陟市から選手団を招聘はできなかった。しかしながら、三陟市との職員相互派遣事業に備え、韓国語講座を実施(年35回初級者8名、中級者8名)した。また、このような状況のなか、直接的な人流を伴わない活動あるメーコン・ビブ郡桜まつりへの提灯100個の贈呈は予定通りできた。 【次年度対応】姉妹都市とのスポーツを通じた交流を図るため、継続した事業を実施していく。新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、アフターコロナの交流がスムーズに進められるよう連絡調整、語学研修などを着実に進めていく。
	193-1	◆		国際友好都市三陟市とのスポーツ選手相互派遣	市 その他	継続	企画情報課	黒部名水マラソンに三陟市選手団を招聘									
	193-2	◆		国際友好都市三陟市とのスポーツ選手相互派遣	市 その他	継続	スポーツ課	三陟ファンヨンジョ国際マラソン大会への選手派遣事業									
	193-3	◆		国際友好都市三陟市との交流	市	継続	企画情報課	職員相互派遣交流に向けた語学講座、連絡調整									
	193-4	◆		姉妹都市スドウエスト・フリースラン市との交流	市 その他	継続	企画情報課	連絡調整									
	193-5	◆		姉妹都市メーコン・ビブ郡との交流	市 その他	継続	企画情報課	桜まつりへの装飾品の送付、連絡調整									
(事業メニュー) 194 国際交流活動の充実									6,290	5,390	0	0	0	12	5,378	85.7	【検証】国際交流員による保育所、幼稚園への訪問教室が定着し、幼児期から異文化に触れることができる良い機会となっている。コロナウイルス感染症対策を取り、訪問時期を調整するなどして、当初予定どおり幼稚園・各保育所を訪問し、異文化体験を進めた。(14施設×4回) 【次年度対応】感染症対策を取りながら、訪問回数を維持し、吸収の早い幼児期の異文化体験を進めるとともに、今後も現在の国際交流員の業務を継続維持し、市民が参加しやすい国際交流の推進に努めていく。
	194-1	◆		国際交流員(CIR)の配置	市	継続	企画情報課	国際交流員の配置(1人)									
	194-2	◆		国際交流団体の活動支援	市	継続	企画情報課	各種協議会等負担金									
	194-3	◆		国際交流イベントの開催	市	継続	企画情報課	外国からの来訪者受入									
	194-4	◆		ホームページの多言語化	市	継続	企画情報課	多言語化に係る翻訳システムの導入									
	194-5	◆		在住外国人を対象とした日本語教室の開催支援	市	継続	企画情報課	日本語教室in黒部開催支援									
	194-6	◆		保育所・幼稚園等への多文化交流支援	市	継続	企画情報課	国際交流員による保育所等訪問事業									

まちづくり方針等	No.	戦略	ハート	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源	執行率【B/A】%	
【まちづくり方針】 6 市民と行政がともに支えるまちづくり									919,315	872,713	732	74,642	0	90,743	706,596	94.9	
《施策区分》 1 市内外との連携・交流の促進									418,151	401,824	600	0	0	8,942	392,282	96.1	
【基本事業(施策中分類)】 ① 地域間交流推進事業									418,151	401,824	600	0	0	8,942	392,282	96.1	
(事業メニュー) 195 都市間・地域内の交流・連携の推進									384,576	377,039	0	0	0	1,000	376,039	98.0	【検証】 国・県が中心となり、市が協力して北海道以外では初となる富山県北方領土史料室が令和2年9月に開館し、令和3年3月までに入館者数が4,500人を超え、北方領土返還要求運動の周知・PRに大きな役割を果たした。 新川広域圏業務の運営については、衛生関連業務を中心に全般を通じ、計画どおり実施した。 【次年度対応】 富山県北方領土史料室開館1周年を目的に展示物の入替えや1周年記念イベント等を実施し、引き続き、県と連携しながら返還要求運動の気運の醸成を図っていく。 新川広域圏業務の運営について、引き続き2市2町の連携のもと、着実に実施していく。
195-1				北海道根室市との姉妹都市交流	市	継続	企画情報課	根室市との連絡調整									
195-2	◆			北海道根室市との姉妹都市交流	市 その他	継続	スポーツ課	スポーツによる相互交流事業									
195-3				県民会議や千島連盟等関係団体と連携した北方領土早期返還要求運動の推進	市 その他	継続	企画情報課	北方領土返還要求運動の普及啓発と推進、関係団体への支援									
195-4				北方領土に関する史料室の建設に向けた連携活動	県・市 その他	継続	企画情報課	(仮称)富山県北方領土史料室整備									
195-5				新川広域圏事務組合による広域行政の推進	市	継続	企画情報課	新川広域圏事務組合分担金									
195-6	◆			ふるさと黒部サポート寄附事業の推進	市	継続	企画情報課	ふるさと黒部サポート寄附事業の推進・拡大									
(事業メニュー) 196 交流人口、定住・半定住人口の拡大									33,575	24,785	600	0	0	7,942	16,243	73.8	【検証】 補助実績:空家活用促進18件 空家リフォーム8件 空家報奨6件 住宅取得25件(転入21件、転居4件) 賃貸住宅58件(転入55件、転居3件) 移住検討者に対し、一度来訪していただくという基本的な方向性が、コロナ感染拡大の影響により、変更せざるを得ず、移住相談はすべてオンライン対応となった。コロナ禍でできる取組として、民間移住情報サイトや移住情報雑誌、動画など多様な媒体による情報発信の強化に努めた。 結婚支援事業は、町内会回覧板等での事業周知に努めるとともに、親御さん向けの婚活セミナーを開催するなど機運醸成に努めた。結婚支援希望者登録者は、R2.3月末 37名から61名まで増加した。コロナ禍により、少人数で交流する婚活イベントを複数回開催し、13組のカップルが誕生したが、交際を継続させ成婚まで導くことはできていない。 【次年度対応】 移住定住事業や結婚支援事業は、ウィズコロナを念頭にいれながら、できる取組を進めていく。 移住定住事業は、引き続き多様な媒体による情報発信を実施し、関係人口から移住検討者への誘引を図っていく。 結婚支援事業は、企業を巻き込んだ社会全体での結婚応援の機運醸成を図るとともに、独身者のレベルアップを図るセミナー等を開催し成婚まで導く。
196-1	◆			官民連携による移住定住施策の推進	市	継続	企画情報課	くろべで住もう移住定住サポート協議会への支援									
196-2	◆			広域連携による移住プロモーション活動の推進	市	継続	企画情報課	くらしたい国富山主催定住セミナー参加等									
196-3	◆			移住・定住体験施設の拡充と有効活用	市	継続	企画情報課	住定夢の館運営委託									
196-4	◆			独身男女の出会い創出事業	市 その他	継続	企画情報課	出会いサポート事業実施補助金(イベント開催団体)									
196-5	◆			結婚支援相談窓口の開設	市 その他	継続	企画情報課	相談窓口開設(個別事業No.196-6と重複)									
196-6	◆			結婚支援事業の推進	市 その他	継続	企画情報課	結婚支援プロジェクト運営委託・結婚支援プロジェクトに関する報償費									
196-7	◆			空き家情報の提供・支援	市	継続	都市計画課	空家情報バンク推進事業									
196-8	◆			住宅取得支援事業の実施	市	継続	都市計画課	住宅取得支援事業									
196-9	◆			賃貸住宅支援事業の実施	市	R1 ~	都市計画課	移住促進賃貸住宅居住支援補助金									
《施策区分》 2 市民活動支援への取組									128,910	119,591	0	0	0	35,725	83,866	92.8	
【基本事業(事業中分類)】 ① 市民参画・活動支援事業									128,910	119,591	0	0	0	35,725	83,866	92.8	
(事業メニュー) 197 市民の参画と協働の推進									2,604	1,810	0	0	0	0	1,810	69.5	【検証】 コロナの影響により、事業計画立案のための協議が難しいとの声を受け、募集期間を延長した。公募提案型協働事業活用推進のため、応募し際し事前相談を充実させ、市民提案型5件、チャレンジ提案型3件事業採択となった。 自治功労及び一般功労者の表彰は、コロナの影響もあり招待者を縮小し感染症対策を講じて実施した(24個人、1団体を表彰) 【次年度対応】 公募提案型協働事業の推進のため、これまで実施している事前相談を充実させるとともに、活用事例をCATV等で紹介する。 特殊事情として市制施行15周年記念式典の中で市表彰を執り行う。被表彰者の内申や決定等のスケジュール管理や出席者への周知を適切に実施する。
197-1				協働のまちづくりの理念や意識の醸成	市	継続	企画情報課	協働のまちづくりの推進									
197-2	◆			公募提案型協働事業の推進	市	継続	企画情報課	公募提案型協働事業の実施									
197-3				NPO等地域団体の活動支援	市	継続	企画情報課	NPO等への情報提供等									
197-4				審議会等の委員の公募の推進	市	継続	企画情報課	ガイドラインに基づく委員の公募の運用・管理									

まちづくり方針等	No.	戦略	ハワード	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2	R2	R2	R2	R2	R2	R2執行率【B/A】%	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源		
	197-5			功労表彰の実施	市	継続	企画情報課	自治功労及び一般功労者の表彰									
(事業メニュー) 198 コミュニティ活動施設の整備推進									0	0	0	0	0	0	0		【検証】 令和2年度は要望がなかったため、事業実施なし。 【次年度対応】 毎年要望の確認を行い、適切に対応する。
	198-1	◆		コミュニティセンター助成事業	市 その他	継続	総務課	-									
	198-2	※		自治公民館建築等事業補助金	市	継続	生涯学習文化課	自治公民館建築等事業補助金 (※R元年申請なし ⇒ R2支出無)									
(事業メニュー) 199 地域コミュニティの活性化									126,306	117,781	0	0	0	35,725	82,056	93.3	【検証】 一般コミュニティ助成事業(田家、若栗)及び地域防災組織育成助成事業(下立)として、活動備品の購入に対する補助を実施し、地域コミュニティ基盤の強化に努めた。 地区内の意見や課題を幅広く収集し、地域のまちづくりの中心を担う振興会および連絡協議会への活動支援を継続して実施した。各地区振興会の多岐にわたる業務に従事するため、まちづくり推進員(16人)、まちづくり推進補助員(17人)を配置し、継続して人的支援を行った。 令和2年9月より地域おこし協力隊3名体制となり、情報発信、イベント企画運営、定住に向けた地域活動などそれぞれが役割を持って活動に取り組んだ。各隊員の活動を把握するため月1ミーティングを開催し、情報共有を図った。 【次年度対応】 今後も地域の要望及び地域のまちづくりの推進のため活動支援を継続する。 今後も振興会及び連絡協議会との連携を密にし、活動支援を継続する。 市内様々な団体から地域おこし協力隊へオファーがあるため、やみくもに活動するのではなく効果的に活動するため情報共有を徹底する。
	199-1	◆		一般コミュニティ助成事業	市 その他	継続	総務課	コミュニティ助成を活用したコミュニティ活動備品の整備									
	199-2	◆		まちづくり推進員・まちづくり推進補助員の配置	市	継続	総務課	まちづくり推進員・補助員の配置									
	199-3	◆		自治振興会および連絡協議会への活動支援	市	継続	総務課	振興会長報償費、振興会運営補助、振興連絡協議会運営補助等									
	199-4	◆		地域おこし協力隊の配置	市	継続	企画情報課	地域おこし協力隊の配置(3人)									
≪施策区分≫ 3 人権尊重と男女共同参画の推進									1,073	1,031	0	187	0	0	844	96.1	
[基本事業(施策中分類)] ① 人権啓発事業									187	187	0	187	0	0	0	100.0	
(事業メニュー) 200 人権教育と啓発活動の推進									187	187	0	187	0	0	0	100.0	【検証】 人権擁護委員会が中心となって実施している「人権教室」等において啓発物品を配布し、「子どもの人権110番」等のPRを行った。また、人権パンフレットを作成し全戸配布することで、人権擁護委員の活動や相談会の活用を周知をはかった。さらに、福祉施設において、人権相談活動等の説明や意見交換を行い、人権尊重意識の高揚に努めた。 【次年度対応】 人権教育と啓発活動を推進するため、継続して実施予定。
	200-1			人権教育	市 その他	継続	市民環境課	人権出前教室(2小学校)									
	200-2			人権啓発事業	市 その他	継続	市民環境課	福祉施設特設 人権パンフレット作成									
(事業メニュー) 201 人権擁護体制の整備									0	0	0	0	0	0	0		【検証】 月1回の相談日開設を予定していたところ、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため9回の実施となった。 【次年度対応】 相談体制を維持し、新型コロナウイルス感染症予防及び発生状況に対応しながら実施予定。
	201-1			人権相談体制の整備	市 その他	継続	市民環境課	人権なやみごと相談(9回)									
[基本事業(施策中分類)] ② 男女共同参画推進事業									886	844	0	0	0	0	844	95.3	
(事業メニュー) 202 男女共同参画意識の啓発・普及活動の推進									496	454	0	0	0	0	454	91.5	【検証】 男女共同参画地区推進員による地域活動を通して、男女共同参画の啓発を行った。活動報告チラシ「にじのかけはし」を発行し、全戸配布した。 【次年度対応】 男女共同参画を推進するため、地区推進員とともに意識醸成、実践を進める。
	202-1	◆		男女共同参画の啓発	市	継続	企画情報課	啓発を行うための地域活動の開催・セミナーの開催									
	202-2			男女共同参画の広報活動	市	継続	企画情報課	活動報告チラシ印刷									
(事業メニュー) 203 男女共同参画推進体制の充実									390	390	0	0	0	0	390	100.0	【検証】 DV相談「女性のための専門相談会」を開催した。(回数12回、延べ相談者数16人)女性団体の育成・活動支援を行った。 【次年度対応】 引き続き、男女平等な社会参画のため、ワーク・ライフ・バランスを推進し、地域全体の連携を図っていく。
	203-1			配偶者等暴力被害者相談窓口の充実	市	継続	生涯学習文化課	民間相談員による相談窓口の開設(月1回)、窓口対応職員研修開催									
	203-2			男女共同参画活動支援	市	継続	生涯学習文化課	くろべ女性団体連絡協議会補助金									

まちづくり方針等	No.	戦略	ハワード	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	R2一般財源	執行率【B/A】%	
「施策区分」 4 開かれた行政への取組									39,736	38,873	0	0	0	916	37,957	97.8	
【基本事業(施策中分類)】 ① 広報・公聴・情報公開事業									39,736	38,873	0	0	0	916	37,957	97.8	
(事業メニュー) 204 広報活動の充実									36,493	35,726	0	0	0	916	34,810	97.9	【検証】 ・広報誌の内容や記事のレイアウトを工夫しながら市民にわかりやすい情報提供に心がけ、広報くろべを発行した。(広報発行部数:16,900部/月) ・市民に分かりやすい議会報の編集に努め、年4回議会だよりを発行し、議会の情報発信を定期的に行っている。また、本会議のライブ配信をYouTubeを活用し継続して行っている。 ・職員出前講座について、新型コロナウイルス感染症の影響のため、開催数は11回であった。また、開催された講座は「防災と減災」などの特定のテーマに大きく偏りが見られた。 【次年度対応】 ・今後も市民にわかりやすい情報提供するとともに、新型コロナ対策など住民ニーズの高い情報等も発信しながら広報誌を通して市民への情報提供を行っていく。 ・今後も簡潔で簡易な表現に努め、議会活動及び市政に対する市民の関心を高めるよう編集・発行を行う。議会改革特別委員会などの議論を通じて、さらなる検証を行ってきたい。 ・市民ニーズに対応できるよう職員出前講座メニューを整理し、実施する。
204-1	◆	職員出前講座事業の展開	市	継続	企画情報課	職員出前講座の実施											
204-2		広報誌・市勢要覧の編集、発行	市	継続	企画情報課	広報くろべの発行等											
204-3		市議会だよりの編集、発行	市	継続	議事調査課	市議会だよりの編集・発行(年4回)											
204-4		コミュニティラジオ行政番組の放送	市	継続	企画情報課	FMラジオを通じた行政情報の提供											
204-5		CATV行政番組の放送	市	継続	企画情報課	CATVを活用した行政情報の提供											
204-6		CATV行政番組の放送	市	継続	議事調査課	CATV行政番組の放送(本会議の生中継)											
(事業メニュー) 205 公聴活動の充実									28	0	0	0	0	0	0	0.0	【検証】 各地区要望会は感染対策を講じながら実施し、地域課題の吸い上げに努めた。タウンミーティングはコロナの影響により中止となったが、人数を制限した市長と語る会により市民の意見を徴収した。 【次年度対応】 コロナの状況をみながら、やり方を工夫しながら公聴活動を進める。
205-1		地区要望会の実施	市	継続	企画情報課	市内16地区からの要望聴取											
205-2	◆	タウンミーティング、市長と語る会の実施	市	継続	企画情報課	タウンミーティング・市長と語る会の開催											
205-3		パブリックコメントの実施	市	継続	企画情報課	パブリックコメント制度の運用・管理											
(事業メニュー) 206 行政情報の発信									3,180	3,147	0	0	0	0	3,147	99.0	【検証】 市議会ホームページにて本会議及び予算特別委員会の録画映像配信を継続して行っており、行政情報の発信に努めている。暮らしのガイドは発行していない。 【次年度対応】 今後も議会の透明性を確保し、開かれた議会づくりに努める。暮らしのガイドは、必要性も含め作成について検討する。
206-1		ホームページによる行政情報等の発信	市	継続	企画情報課	ホームページ管理システム運用及び管理手数料											
206-2		ホームページによる行政情報等の発信	市	継続	議事調査課	ホームページによる行政情報等の発信(本会議及び予算特別委員会の録画配信)											
206-3		「統計くろべ」の発行	市	継続	企画情報課	市統計データの公表、統計くろべの情報提供											
206-4		暮らしのガイドの発行	市	継続	総務課	暮らしのガイドあり方の検討											
(事業メニュー) 207 情報公開の推進									35	0	0	0	0	0	0	0.0	【検証】 審査会の開催なし。 【次年度対応】 事案発生時に迅速な審査会開催を行う。適正な管理方法を周知する。
207-1		情報公開・個人情報保護制度の適正な運用	市	継続	総務課	情報公開審査会及び個人情報保護審査会の開催											
207-2		審議会等の会議の周知・公開、会議結果の公表	市	継続	企画情報課	審議会公開性の向上を目指した運用・管理											
「施策区分」 5 情報・通信の整備									151,897	150,099	0	0	0	0	150,099	98.8	
【基本事業(施策中分類)】 ① 地域・行政情報化推進事業									151,897	150,099	0	0	0	0	150,099	98.8	
(事業メニュー) 208 地域情報ネットワーク活用の推進									1,194	1,148	0	0	0	0	1,148	96.1	【検証】 市役所や地域観光ギャラリーにフリーWi-Fiを提供することで、利用者に観光情報等の提供を行い、地域情報ネットワークの推進を図った。機器については計画的な更新を行った。 【次年度対応】 継続してフリーWi-Fi環境を提供することで、観光情報の提供を行う。
208-1		サイネージや映像ライブラリーなどの活用	市	継続	企画情報課	映像配信システム維持管理											
208-2	◆	観光情報提供システムおよびWi-Fi整備	市	継続	企画情報課	システム保守・通信料等											
208-3		情報通信ネットワーク協議会の運営	市	継続	企画情報課	-											

まちづくり方針等	No.	戦略	ハワード	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源	執行率【B/A】%	
(事業メニュー) 209 電子自治体の推進									150,703	148,951	0	0	0	0	148,951	98.8	<p>【検証】</p> <p>文書管理システム内登録ファイルと各課の執務室内文書ファイルとの突合・修正作業を実施し、不適切な管理状態にあるファイルの是正に努めた。</p> <p>自治体基幹系クラウドサービスの県内参加団体が2件増えて11件となった。</p> <p>基幹系業務RPA(ロボティック プロセス オートメーション)を4業務において導入し、事務の効率化を図った。</p> <p>【次年度対応】</p> <p>各課の実態等を確認し、引き続き適正文書管理となるよう努める。</p> <p>ネットワーク強靱性向上モデル更新の検討や基幹系クラウドの標準化など、県や市町村と連携して仕様やスケジュールを検討する。</p>
209-1	総合行政情報システムの運用	市	継続	企画情報課	運用支援業務委託、ネットワーク保守等												
209-2	セキュリティクラウドサービスの活用	市	継続	企画情報課	セキュリティクラウド、無害化メール利用料												
209-3	自治体基幹系クラウドサービスの活用	市	継続	企画情報課	基幹系クラウド導入、利用料等 残存システムリース・保守料												
209-4	庁内内部事務システムの効率化の推進	市	継続	企画情報課	PC等端末リース料等庁内LAN維持管理費及び番号制度対応費												
209-5	庁内ネットワークのセキュリティ確保対策の推進	市	継続	企画情報課	ウイルス対策サーバー保守及びソフト利用料												
209-6	情報化推進委員会の開催	市	継続	企画情報課	情報化推進委員会の開催、情報化研修会の開催												
209-7	文書管理システムの構築・運用	市	継続	総務課	新庁舎における適切な文書管理の検討												
〈施策区分〉 6 計画的行政運営の推進									65,397	51,399	0	0	0	3,082	48,317	78.6	
[基本事業(施策中分類)] ① 効率的行政運営推進事業									65,397	51,399	0	0	0	3,082	48,317	78.6	
(事業メニュー) 210 行政サービスの向上、事務事業の改善									1,364	1,245	0	0	0	0	1,245	91.3	<p>【検証】</p> <p>国、県への要望活動については、コロナ対策を徹底し人数を厳選した形で実施した。</p> <p>全庁各課と調整の上、総合振興計画令和元年度実績及び第1期総合戦略令和元年度実績及び5か年総括をとりまとめ、9月議会で報告した。第2次総合振興計画、第2期戦略の進行管理を計画どおり実施した。</p> <p>【次年度対応】</p> <p>国県への要望活動をコロナの状況に合わせて効果的に実施する。</p> <p>第2次総計後期基本計画策定準備に取り組み、年度末まで骨子案をまとめる。</p>
210-1	窓口サービスの向上と接遇の改善	市	継続	総務課	個別事業No.211-3と重複												
210-2	総合振興計画・戦略Kの進行管理	市	継続	企画情報課	第2次総合振興計画・第2期戦略Kの実績取りまとめ												
210-3	国・県に対する重要施策の要望活動	市	継続	企画情報課	国・県への要望活動												
(事業メニュー) 211 行政組織機構・人事管理の適正化									53,489	40,226	0	0	0	50	40,176	75.2	<p>【検証】</p> <p>勤怠管理システムを導入し、各所属における時間外勤務の管理を徹底した。</p> <p>会計年度任用職員を任用及び配置し、定員管理の適正化を図った。</p> <p>職員の資質向上と意識改革に向けて、「黒部市職員人材育成基本方針」に基づき、職員研修を実施した。</p> <p>(実施した職員研修)市町村アカデミー等専門機関における研修の受講や公務員倫理・コンプライアンス研修等の庁内研修の実施</p> <p>【次年度対応】</p> <p>勤怠管理システムの活用を定着させ、適正な時間外勤務及び休暇取得促進につなげる。</p> <p>定員管理の適正化に向けて、職場の実態等に応じた会計年度任用職員の任用と配置に努める。</p> <p>効果的な職員研修の実施に努める。</p>
211-1	人事給与事務の効率化	市	継続	総務課	人事給与システムの保守・改修、勤怠管理システムのリース料 等												
211-2	定員管理の適正化	市	継続	総務課	育休等代替え職員人件費、障がい者雇用、職員採用試験 等												
211-3	職員の資質向上と意識改革	市	継続	総務課	階層別基本研修、テーマ別専門研修、課題別職場研修												
(事業メニュー) 212 職員の心身の健康管理									4,146	3,720	0	0	0	0	3,720	89.7	<p>【検証】</p> <p>労働安全衛生法に基づき、職場の健康診断及びストレスチェックを実施した。</p> <p>ストレスチェックにおける高ストレス者に対し、庁内でのカウンセリング等の支援を実施した。</p> <p>【次年度対応】</p> <p>心身ともに職員の健康管理を適正に実施する。</p>
212-1	定期健康診断の実施と人間ドックに係る費用助成	市	継続	総務課	定期健診、人間ドック助成 等												
212-2	メンタルヘルス対策	市	継続	総務課	メンタルヘルスチェック、集団分析、カウンセリング 等												
(事業メニュー) 213 公共施設の適正配置と管理運営の見直し									3,032	3,032	0	0	0	3,032	0	100.0	<p>【検証】</p> <p>・公共施設再編計画に基づき、建物譲渡に係る建物保存登記及び所有権移転登記を行った。</p> <p>(3件: 田家保育所、大布施保育所、旧石田公民館)</p> <p>・公共施設再編計画に基づき、建物及び土地の譲渡に向け、建物保存登記を進めた。</p> <p>(2件: 旧田家保育所、旧生地幼稚園)</p> <p>・公共施設再編計画に基づき、不動産鑑定を行った。</p> <p>(1件: 旧前沢小学校)</p> <p>黒部宇奈月温泉駅周辺施設を令和3年4月から新たに指定管理に移行すべく、指定管理者の選定を行った。</p> <p>【次年度対応】</p> <p>建物保存登記を行い、未譲渡(旧田家保育所、旧生地幼稚園)の案件は、公共施設再編計画に基づき進める。</p> <p>指定管理を行っていない施設、新たに設置される施設については、指定管理導入の可否について調査研究を行っていく。</p>
213-1	公共施設の再編	市	継続	財政課	公共施設の有効活用、再配置、譲渡												
213-2	指定管理者制度の推進	市	継続	企画情報課	指定管理施設の運営状況等の把握、制度の有効活用に向けた調査研究												

まちづくり方針等	No.	戦略	ハイト	個別事業	事業主体	実施年度	担当課	R2事業の内容	R2	R2						R2	R2年度進捗状況に対する成果・検証等	
									計画額計【A】	実績額計【B】	国費	県費	地方債	その他	一般財源	執行率【B/A】%		
	(事業メニュー) 214 行政改革の推進								100	0	0	0	0	0	0	0	0.0	【検証】 行政改革推進本部会議(R2.7開催)、アドバイザー会議(新型コロナウイルスのため、開催せず。) R元目標達成16件→R2目標達成14件 【次年度対応】 適切な指標設定や新規計画の追加に努める。
	214-1			行政改革大綱の推進および実行計画の実施	市	継続	総務課	行政改革推進本部会議等による実行計画の進行管理										
	(事業メニュー) 215 庁舎環境の整備								3,266	3,176	0	0	0	0	3,176	97.2	【検証】 電話交換機のバッテリー更新や熱源機の修繕を行うなど施設の適正管理に努めた。 【次年度対応】 計画的な設備更新など適切な対応に努める。	
	215-1			※ 庁舎施設の環境整備	市	継続	総務課	庁舎施設の整備・修繕費										
	215-2			※ 庁舎施設の環境整備(宇奈月市民サービスセンター)	市	継続	市民サービス課	庁舎設備の修繕工事等										
	＜施策区分＞ 7 健全財政の推進								114,151	109,896	132	74,455	0	42,078	-6,769	96.3		
	[基本事業(事業中分類)] ① 効率的財政運営推進事業								114,151	109,896	132	74,455	0	42,078	-6,769	96.3		
	(事業メニュー) 216 計画的で健全な財政運営の推進								0	0	0	0	0	0	0	—	【検証】 評価対象とする補助事業の抽出に基準を設けて、287事業中158事業の評価を行い、うち18件の補助事業について、令和3年度予算編成に併せ見直しを実施した。 【次年度対応】 健全な財政運営を目指し適切に見直しを加えていく。	
	216-1			補助金、交付金等の見直し	市	継続	財政課	補助金評価の実施										
	216-2			他会計繰出金等の抑制	市	継続	財政課	他会計の運営の健全化による繰出金の抑制										
	216-3			市ホームページを活用した市財政情報の開示	市	継続	財政課	各財政資料の掲載										
	(事業メニュー) 217 財源の確保								35,027	34,950	0	0	0	34,950	0	99.8	【検証】 広告事業等により収入の確保に努めたが目標額に届いていない。 (公用車への広告掲載 72千円) R2実績 1件 36千円(1年間) 未利用地で売却予定地において、売却を行うための土地の測量、分筆及び不動産鑑定を行なった。(旧田家保育所、旧生地幼稚園) 未利用地の売却を進めることができなかった。 上下水道事業の経営の改善・安定化のため、R1年度より適正な料金についての検討を進めていたが、コロナ禍の影響を考慮し、R4年7月から料金改定を行うこととなった。 【次年度対応】 広告収入を確保できるよう、現状分析(コンプライアンスや市場動向)の必要性を検討する。 R2年度で準備を進めた案件については譲渡に向け進めていく。ほかの売却可能物件の精査を行い、譲渡の準備を進めていく。 R2年度時点での未利用地の売却可能性とその条件の精査を行い、処分の準備を進める。	
	217-1			受益と負担のバランスに留意した使用料等の見直し	市	継続	財政課	公会計を活用した情報整備										
	217-2			広告事業等による収入の確保	市	継続	財政課	封筒・広報などへの広告の掲載										
	217-3	◆		公有財産未利用地の売却処分促進	市	継続	財政課	未利用地の売却、売却に向けた環境整備										
	217-4			上下水道使用料および下水道負(分)担金の賦課徴収と経営健全化	市	継続	上下水道経営課	上下水道料金賦課徴収業務、検針開閉栓業務、上下水道料金の検討等										
	(事業メニュー) 218 適正な賦課徴収の推進								79,124	74,946	132	74,455	0	7,128	-6,769	94.7	【検証】 償却資産申告の周知強化を図った(新規申告50件)。 小学校に講師を派遣し租税教育を開催(6校)。また税の授業に活用してもらう副読本を中学3年生(330人)に配布した。 スマートフォン決済対応に向けたシステム改修や納税者への周知(市広報、HP、同封チラシの準備)を実施した。 【次年度対応】 引き続き、現地確認を強化していくなど、適正課税に向けた調査を進める。 より多くの小中学校で租税教室を開催し、税の役割と必要性を認識してもらう。また引き続き副読本を配布し、税について学んでもらう。 R3年4月1日に開始したスマートフォン決済を含む各納税手段の実績を評価しながら、納税環境のさらなる整備について検討をすすめる。	
	218-1			市税賦課徴収事業	市	継続	税務課	市税の賦課と徴収										
	218-2			租税教育の推進	市	継続	税務課	租税教室等の実施										
	218-3			コンビニ収納等納税環境整備	市	継続	税務課	口座振替納付の推進やコンビニ収納の実施										
									13,875,768	12,678,235	2,210,760	872,488	2,718,879	1,754,042	5,122,066	91.4		

まちづくり方針等	No.	戦略	ハロド	個別事業	担当課	R2事業の内容	R2 計画額計	R2 実績額計 【B】	R2 国費	R2 県費	R2 地方債	R2 その他	R2 一般財源	R2 執行率 【B/A】 %	R2年度の成果・検証等
新型コロナウイルス感染症対策事業															
				社会教育施設等感染症対策事業	企画情報課	国際文化センターコーラレの換気機能強化及び入館者検温体制整備	5,312,934	4,976,532	4,831,774	8,902	0	112,365	23,491	93.7	空調設備等の改修を行い、換気機能の改善を行った。入館者の検温を実施するため入口に赤外線サーモグラフィ(1台)を設置
				指定管理施設支援事業	企画情報課	指定管理施設支援事業費									市からの自費要請及び休館指示を受けて利用料金収入に影響のあった指定管理施設12施設に対して支援した。年間を通じて利用者数が激減するなか、自らの経費削減と本補助金の支援により、管理を維持できた。
				感染症対策総務費	総務課	市庁舎衛生消耗品購入費(マスク、窓口用アクリルパネル等)、市民向け周知啓発パンフレット作成費、妊婦用マスク送付料、避難所用備品購入費(テント型パーテーション、ダンボールベッド、非接触型体温計、ブランケット、フェイスシールド等衛生消耗品)									市庁舎をはじめ公共施設における来庁者及び職員の感染防止対策として、マスクやアルコール消毒液、アクリルパネル等を速やかに配備するとともに、適切な在庫数の確保に努めた。感染防止対策を示した市民向け啓発パンフレットを作成及び全戸配布し、感染拡大防止の機運醸成に努めた。妊婦用マスクの送付など、新型コロナウイルス感染症関連事業の郵送料として執行した。避難所開設時の感染防止対策として必要不可欠なテント型パーテーションやダンボールベッドなどの必要物品を配備し、有事の際に備える体制を整備した。
				社会教育施設等感染症対策事業	総務課	赤外線温度計測器購入費(その他(指定管理施設等))									公共施設における感染防止対策として、赤外線温度計測器を配備し検温体制を整備した。
				病院事業感染症対策補助金	財政課	病院事業会計への繰出金(宿泊施設確保、施設整備、特殊勤務手当分)									黒部市民病棟の宿泊施設借上げ、施設整備、特殊勤務手当に対する支援を行った。
				キャッシュレス決済推進事業	税務課	税込納システム改修費(スマートフォン納税対応)									スマートフォン決済を導入し、接触を減らした収納システムを構築した。
				環境衛生対策事業	市民環境課	市内ごみ収集業務事業者に対する衛生物資等の整備									市内ごみ収集業務における感染症対策の強化を図った。マスク、ゴーグル等の防護具の補助
				緊急包括支援事業	福祉課	介護サービス事業所・施設等が感染症対策に資する衛生用品や備品の購入、研修の実施等に要する経費への支援を行う。									パーテーション15組、非接触型体温計1個
				特別定額給付金事業	福祉課	特別定額給付金給付事業									定額給付金を15,696世帯、40,978人に支給した。一律 一人当たり10万円
				住居対策等支援事業	福祉課	住宅確保給付金、一時生活支援事業									3世帯に対して、延べ10カ月分の給付金を支給、2世帯3人に対して、延べ86日間の支援事業を実施
				放課後等デイサービス支援事業	福祉課	特別支援学校等の休校に伴う放課後等デイサービス支援事業									12人に対して、延べ35件の利用者負担額の負担軽減を実施
				衛生物資備蓄支援事業	福祉課	社会福祉施設等における衛生物資の備蓄支援事業									マスクやビニール手袋等の衛生物資を購入し、福祉センターに備蓄したほか、市内の福祉施設92か所に配布し感染対策を講じた上で社会福祉活動を継続した。(マスク 72,480枚、ビニール手袋 72,480組)
				子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	こども支援課	子育て世帯への臨時特別給付金									子育て世帯に対する経済的支援を行った。支給世帯数:3,077世帯
				ひとり親家庭等に対する臨時給付金	こども支援課	児童扶養手当受給世帯への臨時給付金 ひとり親家庭等に県と共同でお米券1万円分を配布する事業(お米購入券、事務費) ひとり親世帯臨時特別給付金 ひとり親世帯生活支援給付金									児童扶養手当受給世帯への臨時給付金 @30,000円×171世帯 ひとり親家庭等にお米券1万円分を配布した(県と共同) 支給世帯数:171世帯 ひとり親世帯臨時特別給付金 支給世帯数:204世帯 〔基本給付〕第1子:50,000円・第2子以降30,000円、【追加給付】家計急変者50,000円)
				児童福祉施設等感染症対策事業	こども支援課	市内保育所・児童センター等におけるマスク・消毒液・空気清浄機等購入費、放課後児童クラブ委託料、児童手当等給付事業事務費の追加、保育環境整備費、公立保育所空調設備整備事業、私立保育所保育委託費、認可外保育施設運営補助金(※一部臨時交付金対象外)									市内保育施設、放課後児童クラブ等に衛生消耗品を整備し感染症対策の強化を図った。(マスク、消毒液、空気清浄機等) 小学校休業に伴う学童の開所時間延長による全クラブへの運営を支援した。 16施設にワイヤレスポータブル拡声器、紙芝居、DVDを配置しコロナ禍での保育の充実を図った。 私立保育所(290人)、認可外保育(41人)施設の副食費等の日割減額を行い、協力世帯の負担軽減を図った。 現況届の提出のための来庁者を抑制することができた。 公立保育所5台分のエアコンを更新した。
				家庭保育支援金	こども支援課	保育所等入所児童の家庭保育協力に係る支援金									期間中の家庭保育に協力いただいた家庭に対し、支援金を支給した。支給世帯数:867世帯
				特別定額給付金事業	こども支援課	新生児特別定額給付金給付事業費(給付金、事務費)									コロナ禍でお子さんが出生した世帯に対する経済的支援を実施した。対象者 239人(対象児童 244人)
				新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	健康増進課	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止、患者の重症化予防を図るため予防接種法の臨時接種により実施(努力義務)し、市民への円滑な接種の実施を目的として必要な体制の確保に取組む。									新型コロナウイルスワクチン接種本部発足 職員6人 会計年度任用職員2人、集団接種会場設置訓練(市内公共施設5会場) 予防接種台帳システム改修、接種券等印刷、集団接種に係る医療用物品、会場物品等準備 医療従事者の確保(地区医師会等と連携調整)、コールセンター開設(接種予約、相談体制整備)
				子どもインフルエンザ予防接種費助成事業	健康増進課	中学生へのインフルエンザ予防接種(市単独分)									中学1年生～3年生を対象(1人1回まで) 620件(接種率 58.7%)
				高齢者PCR検査助成事業	健康増進課	高齢者PCR検査助成事業費 対象者:65歳以上の高齢者等(20,000円×200名、事務費)									高齢者のPCR検査費用を助成した。 PCR検査委託料1件(65歳以上)
				新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	商工観光課	県負担金 1/3 市独自上乗せ分(時間短縮要請施設の個人事業主10万円) 市独自上乗せ分(休業要請対象施設の個人事業主10万円)									休業要請/中小企業27社 個人事業主46人 時間短縮要請/中小企業24社 個人事業主66人 時間短縮要請/個人事業主65人 休業要請/個人事業主31人
				商店街メイクヤマスタイル支援事業	商工観光課	商店街メイクヤマスタイル支援事業費									コロナ禍で落ち込んでいる商店街への客足を戻すため、集客イベントの実施に向け、イベント備品(発電機、送風機、統一フラッグ等)を購入した。イベント自体は感染症の拡大により実施できなかった。

各事業メニュー(個別事業)の事業内容、事業費、成果・検証等

まちづくり方針等	No.	戦略 ハ ー ド	個別事業	担当課	R2事業の内容	R2 計画額計	R2 実績額計 【B】						R2 執行率 【B/A】 %	R2年度の成果・検証等
							R2 国費	R2 県費	R2 地方債	R2 その他	R2 一般財 源			
			中小企業融資保証料助成金	商工観光課	新型コロナウイルス感染症対応資金保証料助成									4件
			がんばる黒部応援商品券事業	商工観光課	プレミアム付商品券事業									市内店舗で使用できるプレミアム付商品券を販売し、黒部市内の消費喚起を促し、事業者の売り上げ増を支援した。 販売冊数/16,239冊 取扱い店舗/289店 使用金額/112,985千円
			がんばる黒部プレミアム観光クーポン事業	商工観光課	がんばる黒部プレミアム観光クーポン(宿泊割引、トロッコ・タクシー割引、商品券)									使用金額/宿泊券27,387千円(9,129泊) 交通券10,720千円 商品券12,093千円
			社会教育施設等感染症対策事業	商工観光課	宇奈月国際会館感染症防止対策事業費									マスク、消毒液、フェイスマスク、非接触体温計を購入するとともに、館内及び施設周辺の清掃・消毒を行うことで、感染症拡大防止対策を徹底しイベントの再開に繋げた。
			流通改善支援事業	農業水産課	くろべ漁協流通改善支援補助金、漁業者出荷調整支援補助金									くろべ漁協に対し、流通改善支援として漁協が漁業者から徴しなかったセリ手数料と同額を補助した。(942千円×2か月) コロナ禍による需要の減少により漁獲量や出荷時期を調整した漁業者に対し、費用の一部を補助した。(100千円×9個人、200千円×1法人)
			衛生確保事業	農業水産課	黒部市水産物地方卸売市場感染症対策にかかる消毒等									水産物地方卸売市場に設置する衛生物資を整備し、感染症対策を強化した。 消毒用アルコール28缶(20ℓ/缶) 195千円
			感染症対策短期貸付金	農業水産課	宇奈月麦酒館運転資金貸付金(※臨時交付金対象外事業)									コロナ禍の影響によるインバウンド需要の消滅や休業・時短営業で、売り上げが大幅に減少したため、運転資金の貸し付けを行い雇用を維持した。
			地元産材活用支援事業	農業水産課	「黒部の魚」活用拡大補助金									漁業者支援の一環として「学校給食の食材に地場産のヒラメを使用し、費用の一部を補助した。
			観光施設等感染症対策事業	農業水産課	宇奈月麦酒館空調改修工事費(実施設計費、工事費)									感染症対策のための換気・空調設備設置工事に係る実施設計
			観光施設等感染症対策事業	くろべ牧場まきばの風	特産物流通施設換気扇等更新工事費(牧場事業特別会計への繰出金)									老朽化の著しいMOOガーデンの換気扇等を更新し、換気機能向上を図り、感染対策を講じた上で事業が継続できた。
			キャッシュレス決済推進事業	上下水道経営課	上下水道料金収納システム改修費、開栓手数料管理機能の追加(スマートフォン納付対応)									スマートフォン決済による非接触型収納サービスを導入した。
			宿泊施設等経営安定化支援事業	上下水道経営課	宇奈月温泉宿泊施設下水道使用料減免に対する企業会計への一般会計からの補助金									コロナ禍の影響を鑑み、使用実態に即した下水道使用料となるよう宇奈月温泉宿泊施設(11施設)に対し減免を実施した。
			小中学校感染症対策事業	学校教育課	小中学校電話回線増設工事 学校臨時休業対策費補助金(給食発注分、納品分) GIGAスクール構想事業費(タブレット型パソコン購入費、モバイルルーター購入費) 学校給食費無償化補助金(小中学校分) 小学校ランテールーム空調整備費 スタディ・メイト勤務時間延長(27人×1h×7月～3月分) 感染症対策・学習保障に係る支援事業費 GIGAスクールサポーター配置事業費 中学校の修学旅行の行程変更に伴う支援金									新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年度当初において市内小中学校を臨時休業とした。 学校再開後、感染拡大防止のための対応やGIGAスクール構想の推進により一層努めた。 小中学校電話回線増設 学校休業に伴う給食食材買取ロスへの補填 GIGAスクール構想対応(タブレット型パソコン購入費、モバイルルーター購入費) 端末3,147台、モバイルルーター180台 学校給食費無償化補助金(小中学校分)・・・7月から12月までの給食費を補助 小学校ランテールーム空調整備実施設計(桜井小、中央小、宇奈月小)、小学校ランテールーム空調整備(たかせ小 ほか) スタディ・メイト勤務時間延長による給食業務対応等 小中学校における感染症対策用消耗品・備品の購入 GIGAスクールサポーターを配置し、マニュアル作成及び教員向け研修を11回開催 修学旅行企画変更に伴う手数料補助
			市出身学生等応援給付金	学校教育課	市出身学生等応援給付金(県外学生20万円、県内学生10万円) ※国の支援緊急給付金対象者									県内外大学生に対する経済支援 県内大学等14人(100千円)、県外大学等64人(200千円)
			地域公共交通感染症対策事業	都市計画課	公共交通感染防止運行協力支援事業(鉄軌道、路線バスの運営経費の1/4を補助)、地域公共交通における感染拡大防止対策支援事業(消毒液の購入及び飛散防止シート設置等に一定額を補助)									鉄道(1路線)、路線バス及びコミュニティ交通(7路線) 路線バス及びコミュニティ交通(8路線)
			社会教育施設等感染症対策事業	生涯学習文化課	吉田科学館感染対策設備設置 成人式感染症対策事業費(会場使用料)、 文化施設利用料支援事業補助金、 松枝閣管理運営協力金									科学館では、プラネタリウムドームで扉を閉めて事業を行うため、来館者が安心して参加できるよう、施設入口にサーモグラフィ装置1台を設置し、感染拡大防止策をとった上での事業継続が可能となった。 小規模な居室が多い市内17公民館、及び図書館で3密回避のため、空気清浄機を設置し、事業を継続した。(空気清浄機18台) 成人式会場の3密回避のため記念撮影場所の増設や、会場全体の感染症対策にかかる経費として執行した。「新しい生活様式」に対応した形式で再開・継続される芸術文化団体2団体に対し、稽古等で使用される施設利用料金の一部を補助したことにより、芸文文化活動の取組を支援した。 コロナの影響により休館を余儀なくされた、市文化財を公開、管理している法人に対して運営を支援した。
			社会教育施設等感染症対策事業	スポーツ課	総合体育センター入館者の検温体制整備									総合体育センター入館者の検温体制を整備し、感染対策を図った。 赤外線サーモグラフィ4台、赤外線温度計測器4台
			小中学校感染症対策事業	学校給食セン	食用トレイ購入費(3,000枚)									給食用トレイ購入費(3,000枚)
						5,312,934	4,976,532	4,831,774	8,902	0	112,365	23,491	93.7	

	事業数	R2 計画額計 【A】	R2 実績額計 【B】	R2					R2 執行率 【B/A】 %
				2 国費	2 県費	2 地方債	2 その他	2 一般財 源	
《全体》									
特別会計・企業会計	27	2,985,728	2,848,916	282,587	21,190	1,554,673	862,788	127,678	95.4
事業主体(国・県)	14	37,000	28,532	3,000	0	13,900	660	10,972	77.1
事業主体(市・その他)	563	16,165,974	14,777,319	6,756,947	860,200	1,150,306	1,002,959	5,006,907	91.4
合 計	604	19,188,702	17,654,767	7,042,534	881,390	2,718,879	1,866,407	5,145,557	92.0
(うち重点事業)	(205)	(4,564,494)	(4,153,846)	(1,065,557)	(220,981)	(1,001,473)	(621,018)	(1,244,817)	(91.0)
一般会計ベース	577	16,202,974	14,805,851	6,759,947	860,200	1,164,206	1,003,619	5,017,879	91.4

	事業数	R2 計画額計 【A】	R2 実績額計 【B】	R2					R2 執行率 【B/A】 %
				2 国費	2 県費	2 地方債	2 その他	2 一般財 源	
《ハード事業》									
特別会計・企業会計	10	1,993,726	1,961,278	282,587	7,150	1,554,673	116,868	0	98.4%
事業主体(国・県)	8	34,000	25,532	0	0	13,900	660	10,972	75.1%
事業主体(市・その他)	102	3,730,763	3,220,331	1,096,867	61,398	1,150,306	231,263	680,497	86.3%
合 計	120	5,758,489	5,207,141	1,379,454	68,548	2,718,879	348,791	691,469	90.4%
(うち重点事業)	(59)	(2,991,546)	(2,738,432)	(1,019,335)	(54,963)	(1,001,473)	(190,050)	(472,611)	91.5%
一般会計ベース	110	3,764,763	3,245,863	1,096,867	61,398	1,164,206	231,923	691,469	86.2%

	事業数	R2 計画額計 【A】	R2 実績額計 【B】	R2					R2 執行率 【B/A】 %
				2 国費	2 県費	2 地方債	2 その他	2 一般財 源	
《ソフト事業》									
特別会計・企業会計	17	992,002	887,638	0	14,040	0	745,920	127,678	89.5%
事業主体(国・県)	6	3,000	3,000	3,000	0	0	0	0	100.0%
事業主体(市・その他)	461	12,435,211	11,556,988	5,660,080	798,802	0	771,696	4,326,410	92.9%
合 計	484	13,430,213	12,447,626	5,663,080	812,842	0	1,517,616	4,454,088	92.7%
(うち重点事業)	(146)	(1,572,948)	(1,415,414)	(46,222)	(166,018)	(0)	(430,968)	(772,206)	90.0%
一般会計ベース	467	12,438,211	11,559,988	5,663,080	798,802	0	771,696	4,326,410	92.9%

目標とする指標一覧表(令和2年度実績)

進捗状況の凡例および該当数		<R2年度進捗状況> ◎:目標値を達成しているもの ○:進展しているもの △:横ばい状況のもの ×:進展していないもの											
---------------	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

施策区分	No.	指標名	担当課	現況値 H29	目標値									目標の考え方	R2進捗状況	R2進捗状況の 分析・評価・理由等
					実績											
					H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8			
1-1	1	黒部峡谷への入山者数(人/年)	産業経済部 商工観光課	338,692	375,000				400,000					黒部峡谷の自然保護と環境保全をなお一層、推進することが黒部峡谷の知名度をさらに引き上げ、自然に親しむ入山者が増加する。	×	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、営業運転開始日が6月1日からとなり、その後も入山は回復せず、入山者数が前年度61.2%減となった。目標を達成するために自然保護の一層の推進と黒部ルート的一般開放を前に黒部峡谷の知名度を引き上げる必要がある。
				335,816	328,422	127,558										
1-1	2	地球温暖化やエコライフの意識が高まったと感じた人の割合(%)	市民生活部 市民環境課	85	87				89					環境教室受講後に行う児童・保護者アンケートで、受講前より地球温暖化やエコライフに対する意識が高まったと回答した割合。	◎	コロナ状況下での対象教室は1件のみであったが、意識が高まったと回答した割合は目標値を上回った。
				89	89	90										
1-1	3	公害苦情処理件数(件)	市民生活部 市民環境課	9	8				7					油漏れや野焼き防止などの啓発強化により公害処理件数を減らす。	◎	公害苦情件数は前年度より3件減少し目標値をクリアしている。油漏れや野焼き防止の周知により市民意識の向上が表れている。
				7	8	5										
1-2	4	高橋川を愛する会参加者数(人)	都市建設部 道路河川課	120	500				1,000					高橋川を愛する会の活動への参加者数を増やすことで、河川愛護に携わる者の増加を図る。	—	(新型コロナウイルス感染症拡大の影響から事業を中止)
				150	150	-										
1-3	5	保安林面積(ha)	産業経済部 農林整備課	5,877	5,882				5,887					現況値(H29)までの数値の推移から、治山工事による保安林の増に取り組む。	◎	目標値を達成しており、引き続き面積拡大に取り組んでいく。
				5,883	5,883	5,884										
1-3	6	里山再生整備事業整備面積(ha)	産業経済部 農林整備課	65	68				71					新規取組団体の掘り起こしを行い、市民参加の森づくり活動を推進する。	◎	県からの要望で既存地区の面積を拡充して整備を行うなど、森づくり活動を推進した。
				65	67.6	72.5										
1-4	7	市内二級河川・準用河川などのBOD値(mg/l)	市民生活部 市民環境課	1.0	0.9				0.8					排水対策や地域美化活動を推進し、河川のBODの値の低減を目指す。	△	前年度より数値は高くなっているが、この数値変化では悪化しているとは言いえない。今後も地域美化活動等を推進していく。
				1.6	0.9	1.1										
1-4	8	水資源の活用に取り組む企業数(企業)	産業経済部 商工観光課	5	7				10					豊富な水資源のPRを市外企業等へ行い、企業誘致等により多様な雇用環境を実現する。	△	水資源の活用に取り組む企業数は横ばいであった。引き続き、市内の豊富な水資源のPRを実施し、企業誘致等を推進していく。
				5	6	6										
1-5	9	水力発電施設の整備箇所数(箇所)	産業経済部 農林整備課	4	6				8					既設の小水力発電所に加え、マイクロ水力発電設備を整備し、水力による再生可能エネルギーの普及啓発に努める。	△	マイクロ水力発電設備の整備は、R1年度に補助事業不採択となったため、実施を見送っており、R2年度においては、今後の実施に向け情報収集・研究に努めた。
				5	5	5										
1-5	10	バイオマスエネルギーに変換するための汚泥量(t/日)	都市建設部 上下水道工務課	60	63				66					バイオマスエネルギー利活用に必要な下水道汚泥等の有効利用を図る。	△	前年度値より微減の汚泥量となった。対前年比より処理水量の減少によるものと推定している。目標値達成に向け下水道加入世帯の増加を図り下水道汚泥等の有効利用を図る。
				59	59	58										
1-5	11	廃食用油回収量(ℓ/年)	市民生活部 市民環境課	774	800				830					再生エネルギー(BDF化)利活用として現在7箇所まで回収している廃食用油の回収量を増やす。	◎	広報で特集や市民出前講座を行うなど、市民へ周知したことで、目標値を大きく超える回収を行った。
				738	1,020	1,788										
1-5	12	一世帯当たり資源物年間排出量(kg/年)	市民生活部 市民環境課	100	110				115					3Rを推進し、ごみの減量化を図る。	○	新型コロナウイルスの影響による巣ごもりでごみの排出量が増えているが、広報での特集や市民出前講座などで、資源物回収を周知したことから前年度より排出量は増加した。引き続き事業を推進する。
				98	91	95										

目標とする指標一覧表(令和2年度実績)

進捗状況の凡例および該当数		<R2年度進捗状況> ◎:目標値を達成しているもの ○:進展しているもの △:横ばい状況のもの ×:進展していないもの															
施策区分	No.	指標名	担当課	現況値 H29	目標値									目標の考え方	R2進捗状況	R2進捗状況の 分析・評価・理由等	
					実績												
					H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8				R9
1-5	13	市民団体による年間ボランティア清掃実施回数(回/年)	市民生活部 市民環境課	82	85									88	清掃活動を支援することにより、地域住民の自発的な環境美化意識の定着化を図る。	○	目標値は達成しているが、コロナウイルス感染症の影響により前年比較では減少。恒例の清掃活動を支援することで生活環境の維持に努める。
					110	101	99										
1-6	14	消防水利(消火栓、貯水槽)の充足率(%)	総務企画部 総務課	86	88									90	消防水利などが不足している地区への消火栓・貯水槽整備を推進し、消防水利の充足率の向上を目指す。	○	令和2年度に消火栓3箇所を設置、計画的に設置を進めている。
					86	87	87										
1-6	15	「消防団応援の店」登録事業所数(事業所)	総務企画部 総務課	33	40									50	消防団員の確保ならびに活動支援に資するため、「消防団応援の店」登録事業所数の増加を図る。	◎	順調に推進しており、引き続き市内事業所に登録を呼びかけていく。
					37	41	42										
1-6	16	防災士資格取得支援者数(人)	総務企画部 総務課	84	98									123	災害時発生時における各地域の防災リーダーとして、防災士の資格取得支援を行う	◎	目標値に向け資格取得者は順調に増加しており、引き続き資格取得に向けた支援を行う。
					93	100	105										
1-6	17	避難カードの作成(町内)	都市建設部 道路河川課	0	8									13	町内単位での避難手法・避難場所等を検討し集約したカードの普及により、地域に適した実践的な避難方法の普及につながる。	×	町内単位での避難手法・避難場所等を集約した避難カードは作成しておらず、その代わりとして、改訂版ハザードマップを市内全戸配布を行い、普及活動を行った。
					0	0	0										
1-7	18	高齢者運転免許証自主返納支援者数(人/年)	市民生活部 市民環境課	157	300									500	市広報誌、ケーブルTV、ラジオ等を活用し、当市が進める高齢者運転免許証自主返納支援事業を広報し、同返納者数を増加させ、高齢者による交通事故の抑止を図る。	○	R1年度よりも減少したが、毎月コンスタントに申請を受理しており、申請件数は増加傾向にある。また、自主返納高齢者数と本事業の申請件数に大きな差はなく、事業の浸透が見られた(R2返納者数:208人/申請者数:178人)。
					146	272	178										
1-7	19	刑法犯認知件数(件/年)	市民生活部 市民環境課	146	120									110	カギかけキャンペーン等の防犯キャンペーンを通じ、犯罪抑止や未然防止への意識を高め、刑法犯認知件数の抑止を図る。	◎	警察、防犯関係団体と緊密に連携し、官民一体型の各種啓発活動等に取組んだ結果、刑法犯認知件数は過去減少を記録し、目標を達成した。引き続き、治安情勢を捉え、市民の防犯意識の向上に努めていく。
					129	125	105										
1-7	20	消費者生活相談出前講座等の参加人数(人/年)	市民生活部 市民環境課	110	500									650	市広報誌、ケーブルTV、ラジオ等の広報媒体を活用し、特殊詐欺手口と未然防止策を紹介するなど広報啓発を行い、被害の減少を図る。	○	コロナ禍により出前講座参加者数は減少したが、啓発文書の回覧や広報誌を活用した広報活動を継続的に行った結果、高齢者に係る特殊詐欺被害ゼロを達成した。
					138	180	65										
2-1	21	担い手の農地利用集積率(%)	産業経済部 農業水産課	64	75									90	耕地面積に占める担い手(認定農業者、集落営農組織など)の利用集積面積の割合を拡大させる。	○	基盤整備事業を契機に、出島集落(村椿地区)において、経営体による集積が行われており、着実に集積率の向上につなっている。引き続き農地利用集積率の向上に努める。
					65	64	70										
2-1	22	有害鳥獣被害面積(a/年)	産業経済部 農林整備課	199	115									57	有害鳥獣による農地等の被害防止を推進し、農業基盤の充実を図る。	◎	有害鳥獣の捕獲強化等により、前年度に比べ被害面積が減少し、R4目標値を下回った。引き続き、捕獲強化及び侵入防止柵の整備に取り組んでいく。
					320	196	107										
2-1	23	住宅用材の地元産材利用補助の件数(件/年)	産業経済部 農林整備課	2	3									5	地元産の住宅用材利用を推進し、林業基盤の充実を図る。	◎	令和2年度は目標値と同じ補助件数を達成したが、さらなる市産材活用促進のため、今後も地域材利用補助の周知を図っていく。
					3	2	3										

目標とする指標一覧表(令和2年度実績)

進捗状況の凡例および該当数 <<R2年度進捗状況>> ◎:目標値を達成しているもの ○:進展しているもの △:横ばい状況のもの ×:進展していないもの

施策区分	No.	指標名	担当課	現況値 H29	目標値									目標の考え方	R2進捗状況	R2進捗状況の 分析・評価・理由等
					実績											
					H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8			
2-1	24	漁獲量(t/年)	産業経済部 農業水産課	467	500				500					高齢化により担い手や漁船が減少していく中、漁場環境を整え安定的な漁獲量を確保する。	△	令和2年度も例年並みの漁獲量にとどまっており、さらなる拡大に向けて種苗放流や海底耕運など漁場環境を計画的に整えて、安定的な漁獲量の確保を図っていく。
					348	345	341									
2-1	25	食料自給率(%)	産業経済部 農業水産課	83	84				85					水稻の生産調整で主食用米の生産量が減少傾向にあり、園芸作物等の生産拡大と自給率の維持を図る。	◎	園芸作物の生産量は前年より減少したものの、水稻の成育が良く、前年に比べて米の収穫量が増えたことから食料自給率が向上した。
					82	81	84									
2-1	26	くろべ牧場まきばの風MOOガーデン来場者数(人/年)	産業経済部 <small>くろべ牧場まきばの風</small>	95,625	130,000				150,000					交流拠点施設として来場者数の増加を図り、交流人口の増大を目指す。	×	コロナウイルスの影響によるファームフェア等のイベントの中止や、緊急事態宣言の発令に伴うMOOガーデンの休店(約1か月間)などに伴い、来場者数が減となった。
					83,296	85,323	63,742									
2-2	27	市外から市内へ移転した企業数(本社機能の移転を含む)(件)	産業経済部 商工観光課	3	5				7					企業の本社機能の本市への移転により、本市での継続的な企業活動を推進し、多様な雇用環境を拡大を図る。	△	市内へ移転した企業数は横ばいであった。引き続き、新石田企業団地の残り区画の誘致を推進していく。
					4	4	4									
2-2	28	UIJターン就業支援数(件/年)	産業経済部 商工観光課	18	40				60					UIJターンによる市内企業への就業者を増加させ、市内企業の労働力不足の解消に努める。	○	昨年度と比べUIJターン就業支援件数が減少した。新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業収益に影響を受けている市内企業の雇用の減少などが要因として考えられる。
					22	35	22									
2-3	29	空き店舗への出店者促進支援累計数(件)	産業経済部 商工観光課	26	35				40					指定地域における空き店舗等を活用した新規出店を支援し、雇用と賑わいを創出する。	○	今年度の空き店舗新規出店者への支援件数は3件であった。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、先行きが不透明な状況ではあるが、引き続き、雇用と賑わい創出を推進していく。
					30	31	34									
2-3	30	若者・女性の創業支援累計数(件)	産業経済部 商工観光課	11	25				40					若者世代や女性の創業を支援し、重点エリアの賑わいを創出する。	○	若者・女性の創業支援件数は昨年度と比べ減少した。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、先行きが不透明な状況ではあるが、引き続き、中心市街地の賑わい創出を推進していく。
					15	21	22									
2-4	31	宇奈月温泉宿泊者数(人/年)	産業経済部 商工観光課	317,950	350,000				400,000					地域資源を活用した魅力創出により、宿泊者数を増加させる。	×	新型コロナウイルス感染症の影響によりインパウンドの減少や外出や移動自粛から大幅に減少した。
					285,630	319,154	180,737.0									
2-4	32	宇奈月温泉外国人観光客数(人/年)	産業経済部 商工観光課	16,824	50,000				70,000					オリンピック等による外国人観光客の増加が見込めるので、受入環境を整備して宿泊者数の増を目指す。	×	新型コロナウイルス感染症の影響により出入国自体が困難となっており、外国人観光客は激減している。
					14,152	14,551	1,032									
2-4	33	観光局ホームページアクセス数(件/年)	産業経済部 商工観光課	197,877	350,000				500,000					利用しやすいホームページを作成し、アクセス数の増を目指す。	○	新型コロナウイルス感染症の影響で、観光、旅行自体が減っているが、現地の情報等を求めたことからアクセス数が増加している。今後もサイトの機能を向上させアクセス数の増加を目指す。
					211,148	285,266	309,460									
2-4	34	観光客入込数(主要4施設)(人/年)	産業経済部 商工観光課	983,847	1,130,000				1,250,000					地域資源を活用した魅力創出により、観光客数の増加を目指す。	×	新型コロナウイルス感染症の影響によりインパウンドの減少や外出や移動自粛から大幅に減少した。
					887,311	913,012	474,845									
3-1	35	路線バス、コミュニティ交通の利用者数(人/年)	都市建設部 都市計画課	172,000	192,000				214,000					企業の通勤需要を段階的に取り込むとともに、一般市民の利用を年間1%増加させる。	×	新型コロナウイルス感染拡大により、公共交通の利用自粛がなされたことにより、R2バス事業年(R1.10~R2.9)の利用者数は、R1バス事業年(H30.10~R1.9)と比較すると20%減少し、目標値を大きく下回る結果となった。
					186,970	189,886	151,953									

目標とする指標一覧表(令和2年度実績)

進捗状況の凡例および該当数		◁R2年度進捗状況＞ ◎:目標値を達成しているもの ○:進展しているもの △:横ばい状況のもの ×:進展していないもの														
施策区分	No.	指標名	担当課	現況値 H29	目標値									目標の考え方	R2進捗状況	R2進捗状況の分析・評価・理由等
					実績											
					H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8			
3-2	36	都市計画道路の整備済延長(km)	都市建設部	18.8	21.0				22.0					都市計画道路網の形成に向け、計画的な整備推進を図る。	◎	事業費の見直し(縮減)等を行いながら、計画的に整備を進めている。引き続き、目標達成に向け道路整備を進めていく。
			街路公園課		20.5	20.6	21.6									
3-2	37	市道の整備済延長(km)	都市建設部	333	337				342					改良工事等を実施し、道路改良済延長を増加させる。	◎	目標達成後も計画的に整備を行っており、ライフラインの整備に向けて順調な推移を見込む。
			道路河川課		334	344	345									
3-2	38	市道の整備率(%)	都市建設部	79.9	81.0				82.0					改良工事等を実施し、整備率を増加させる。	○	計画的に整備を行っており、目標達成に向けて順調な推移を見込む。
			道路河川課		80.1	80.7	80.9									
3-3	39	三日市保育所周辺土地区画整理事業仮換地指定率(%)	都市建設部	71	85				100					街区の再編や低未利用地の集約により住居促進の宅地整備をすすめ、中心市街地の活性化を図る。	○	宅地の仮換地を主に進めており、今後は宅地以外の仮換地指定が多く指定率の向上が見込まれる。次年度においても、引き続き権利者との交渉を進めていく。
			街路公園課		72	73	74									
3-3	40	市営住宅の長寿命化による改修済戸数(戸)	都市建設部	64	144				192					市営住宅の長寿命化に向け、計画的に施設の改修を進める。	○	長寿命化計画に基づき、令和2年度は堀切住宅の1棟(24戸)の改修を行った。今後も計画に基づいて施設の改修を進めていく。
			都市計画課		64	64	88									
3-4	41	水道普及率(%)	都市建設部	72.4	73.5				76.0					水道未普及地域の解消や簡易水道組合の上水道への統合を図ることにより、水道普及率を向上させる。	◎	前期目標を達成しているが今後も水道未普及地域の解消や簡易水道組合の統合を図り、水道普及率の向上に努める。
			上下水道工務課		73.5	73.5	73.6									
3-5	42	公共下水道整備面積(ha)	都市建設部	795	830				860					公共用水域の水質保全や公衆衛生の向上を図るため、公共下水道未整備地区(黒部処理区)への整備を推進する。	◎	前期目標を達成しているが今後も引き続き公共下水道未整備地区への整備を推進する。
			上下水道工務課		839	854	866									
3-5	43	汚水処理人口普及率(%)	都市建設部	94.1	96.5				98.5					公共用水域の水質保全や公衆衛生の向上を図るため、公共下水道未整備地区(黒部処理区)への整備を推進する。	△	前年度値より微減の普及率となった。行政人口及び処理人口の自然減によるものであるが、今後も引き続き下水道普及率の向上に努める。
			上下水道工務課		95.1	95.8	95.7									
3-6	44	花と緑の銀行黒部支店のグリーンキーパー数(人)	産業経済部	107	124				134					これまでの人数の推移を基に算出。緑化推進のためにグリーンキーパーの人数増を図る。	○	H30年度、R1年度とグリーンキーパーの人数減が続いていたが、R2年度においては公募や広報活動などを積極的に行った結果、人数増となった。
			農林整備課		104	101	109									
4-1	45	母子健康相談数延べ件数(件/年)	市民生活部	672	700				750					母子健康相談を通じて、育児不安や発達の問題について対応することにより、母子の健康の保持・増進を図る。	△	新型コロナウイルス感染防止のため一定期間中止とした教室などもあり、参加者が減少した。また、事業継続したのも、感染対策を行うため定員を見直したのもあった。例年とは違う条件であったが、参加者数は確保されており、必要な方への支援は行えた。
			健康増進課		841	895	645									

目標とする指標一覧表(令和2年度実績)

進捗状況の凡例および該当数		<R2年度進捗状況> ◎:目標値を達成しているもの ○:進展しているもの △:横ばい状況のもの ×:進展していないもの																	
施策区分	No.	指標名	担当課	現況値 H29	目標値									目標の考え方	R2進捗状況	R2進捗状況の 分析・評価・理由等			
					実績														
					H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8				R9		
4-1	46	国民健康保険の特定健康診査受診率(%)	市民生活部	48.8					58.0					60.0				×	新型コロナウイルス感染症の拡大により、集団健診の受診者が減少。また受診動員を控えたため目標が達成できなかった。(R2実績は速報値)
			保険年金課		49.9	50.0	44.1 (速報値)												
4-1	47	国民健康保険の特定保健指導実施率(%)	市民生活部	16.5					41.0					45.0				○	新型コロナウイルス感染症の拡大により、対面や訪問での実施が制限され、当初目標としていた推計値よりは鈍化しているものの進展している。(R2実績は速報値)
			保険年金課		19.4	28.1	30.3 (速報値)												
4-1	48	訪問看護の実利用者数(人/年)	市民生活部	270					320					380				△	訪問看護を利用しやすい体制づくりを目的とした多職種連携研修を実施することにより、介護保険による訪問看護実利用者数は横ばいであるが、延べ利用数は増加している。(実績は介護保険での利用者数)。また医療保険による訪問看護は、実利用者数、延べ利用者数とも増加している。
			福祉課		381	95	96												
4-1	49	看護師数(人/年)	市民病院	322					345					345				△	急性期一般入院科1(旧7対1看護体制)の維持を目標とした看護師を確保する。
					328	320	328												
4-2	50	見守りに携わる実人数(人/年)	市民生活部	1,000					1,200					1,500				×	支援を必要とする高齢者を地域住民で見守りし、互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会の構築を目指す。
			福祉課		823	808	731												
4-3	51	ふれあい福祉券の利用割合(%)	市民生活部	31.0					33.0					36.0				◎	新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の利用が伸び悩んだものの、理美容院等での利用が伸びた。
			福祉課		36.6	49.8	50.0												
4-3	52	要介護高齢者在宅福祉サービスの利用延べ件数(件/年)	市民生活部	3,700					3,800					3,900				△	要介護高齢者在宅福祉サービスの充実により、高齢者の心身の安全と介護者の負担軽減を図る。
			福祉課		3,608	3,574	3,551												
4-3	53	地域住民主体の通いの場の参加者数(人/年)	市民生活部	300					700					1,200				△	地域における住民主体の通いの場の開設を支援し、高齢者が生きがいや役割を持ちながら介護予防を推進する。
			福祉課		459	447	502												
4-3	54	認知症サポーター数(人)	市民生活部	2,500					4,600					6,100				○	認知症に関する正しい知識と理解をもつサポーターを養成し、サポーター数を増やすことで認知症高齢者にやさしい地域づくりを推進する。
			福祉課		3,251	3,718	3,942												
4-4	55	地域交流事業の実施回数(回/年)	市民生活部	2					6					12				○	障がい者と地域住民との地域での交流の機会を増やすことで、お互いの理解を深める。
			福祉課		4	4	5												
4-5	56	子育て支援センターおよび子育て支援室の利用児童延べ人数(人/年)	市民生活部	12,545					13,800					14,000				×	多様化する保育ニーズに対応するため、施設での子育て支援、相談等の充実を図ることにより、一定の利用児童数を維持する。
			こども支援課		11,269	11,614	5,280												
5-1	57	親学び講座参加者数(人/年)	教育委員会	815					850					900				×	子育てに不安や悩みをもつ親の学習機会を市内全小中学校で設けることにより、家庭教育を支援する。
			生涯学習文化課		612	1,529	606												

目標とする指標一覧表(令和2年度実績)

進捗状況の凡例および該当数		<R2年度進捗状況> ◎:目標値を達成しているもの ○:進展しているもの △:横ばい状況のもの ×:進展していないもの												
---------------	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

施策区分	No.	指標名	担当課	現況値 H29	目標値									目標の考え方	R2進捗状況	R2進捗状況の 分析・評価・理由等
					実績											
					H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8			
5-2	58	「学校へ行くのが楽しい」と感じている児童・生徒の割合(%)	教育委員会 学校教育課	96.5	100.0				100.0					すべての児童・生徒が「学校へ行くのが楽しい」と感じるよう学校や家庭、地域と連携を図る。	△	新型コロナウイルス感染症の影響により、学校運営にも支障が生じる中、児童生徒に対してできる限りの対応を行った。引き続き100%を目指して取り組んでいく。
					96.3	96.0	95.7									
5-2	59	学校司書配置充足率(%)	教育委員会 学校教育課	53.8	82.0				100.0					学校図書館活動充実のため、1校専任の学校司書配置を進める。	△	中学校統合により学校数が減となり充足率は上昇したが、人数の増はなかった。今後も、人材配置に努めていく。
					53.8	53.8	63.6									
5-2	60	中学3年生の英検3級以上の取得率(%)	教育委員会 学校教育課	42.6	45.0				50.0					英語検定を受験しやすい環境を整え、英語に対する学習意欲の向上を図る。	△	取得率の低下について、新型コロナウイルス感染症の影響により受験日が再三変更になり、生徒の意欲低下につながったことと要因の一つと考えられる。今後も、学校を通して制度を周知し、受験を促していく。
					33.8	39.6	37.9									
5-2	61	「社会に学ぶ『14歳の挑戦』事業が「自分の生き方を考える機会になった」と回答した生徒の割合(%)	教育委員会 学校教育課	95.2	96.0				97.0					14歳の挑戦事業が、自分の将来を考える上での良い機会となるよう推進する。	—	(新型コロナウイルス感染拡大の影響から事業を中止)
					95.0	95.7	-									
5-3	62	放課後子ども教室参加者数(人/年)	教育委員会 生涯学習文化課	3,032	3,050				3,100					子どもたちが地域社会の中で心身ともに健やかに育成される環境づくりを推進していくために、全小学校区で教室を開設する。	×	R2年度は108教室(対前年比69.7%)を開催し、参加人数が1,596人(対前年比56.9%)と減少した。コロナ禍において外出自粛や活動が制約を受ける中、参加人数の制限やプログラムの見直しなど工夫をしながら教室を開催した。
					3,113	2,804	1,596									
5-4	63	ふれあい交流館の入館者数(千人/年)	教育委員会 生涯学習文化課	24	25				26					施設利用に関する情報発信を積極的に行い、利用者の増加を図る。	×	R2年度は利用者数が8,206人(対前年比40.4%)と大幅に減少した。コロナ禍において外出自粛や活動が制約を受ける中、開催時期の変更や小規模な自主事業の企画など事業計画を変更し、自主・共催など11事業を実施した。
					22	20	8									
5-4	64	一人あたりの図書貸出冊数(冊)	教育委員会 図書館	5.0	5.4				6.0					読み聞かせの実施やレファレンス及び図書資料の充実等、館内サービスの向上を図り、利用者の満足度アップを目指す。また、みらいTVやfacebook等広報により新規利用者獲得を行い貸出冊数増に取り組む。	△	4-5月に新型コロナウイルス感染防止のため、企画展等を中止しせざるを得ない状況であった。しかし、通常の貸出業務については感染防止に努めながら実施したため、貸出冊数はほぼ横ばい状況にとどめることができた。
					5.3	5.5	5.1									
5-4	65	公民館利用者数(千人/年)	教育委員会 生涯学習文化課	164	167				170					生涯学習事業の周知や機会の拡大により、公民館利用者数の増加を図る。	△	R2年度は利用回数8,966回(対前年比79.0%)、利用者数116,240人(対前年比69.9%)と減少した。コロナ禍において外出自粛や活動が制約を受ける中、屋外や広い会場を活用するなど工夫しながら事業を行った。
					129	166	116									
5-4	66	中央公民館の生涯学習サークル登録数(団体)	教育委員会 生涯学習文化課	28	30				32					多種多様な生涯学習活動への市民ニーズに対応するため、中心となって活動してもらいリーダーを育成促進するとともに、活動団体の増に取り組む。	×	サークル団体の新陳代謝が難しく、新規サークルが伸び悩んでいる。令和3年度からの名称変更、機能広範化を契機に、促進する。
					28	27	23									
5-5	67	黒部市美術館・吉田科学館の利用者数(千人/年)	教育委員会 生涯学習文化課	80	85				90					市民の芸術・科学に触れる場として博物館施設の充実を図り、利用者の増加を目指す。	×	R2年度は前年より2館とも来館者が大きく減少した。コロナ禍において外出自粛や活動が制約を受ける中、美術館は企画展を延期したが、科学館は人数制限を行いながら新たにオンライン事業を行うなど工夫した。
					68	87	31									
5-5	68	国際文化センター・コーレの利用者数(千人/年)	総務企画部 企画情報課	150	160				170					魅力ある文化ホールとしてサービス向上に努め、利用者数の増加を目指す。	×	新型コロナの影響により利用者数124,668人(前年比61.7%)と大幅に減少し、自主事業についても多くが延期や中止となったが、感染対策に努めながらギネス記録に挑戦し、認定されるなど、できることを模索し芸術文化の普及に努めた。
					212	201	124									
5-5	69	伝承芸能・伝承技術士認定者数(人)	教育委員会 生涯学習文化課	110	120				130					認定制度により、伝承芸能・技術を保存するとともに、その後継者の育成を図り、継承を維持する。また伝統文化の存在を広め理解を深める。	○	認定者数は、しばしば保存会の1人であったが、着実に後継者育成、保存継承が維持できている。
					113	116	117									

目標とする指標一覧表(令和2年度実績)

進捗状況の凡例および該当数		◀R2年度進捗状況▶ ◎:目標値を達成しているもの ○:進展しているもの △:横ばい状況のもの ×:進展していないもの														
施策区分	No.	指標名	担当課	現況値 H29	目標値									目標の考え方	R2進捗状況	R2進捗状況の 分析・評価・理由等
					実績											
					H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8			
5-6	70	総合体育センター・錬成館・宇奈月体育センター・健康スポーツプラザの利用者数(千人/年)	教育委員会 スポーツ課	372	375				380					市民ひとりスポーツを推進するため、スポーツ関連施設の整備を行い、利用者数の増を図る。	×	新型コロナウイルス感染症の影響(施設の制限や閉館)による利用者の減と推測されることから、今年度の値は特異値と考えられる。今後も収束が見込めない場合は、目標値の設定を修正する必要がある。
					375	358	159									
5-6	71	黒部名水マラソン大会およびエブリパティスポーツデイの参加数(人/年)	教育委員会 スポーツ課	19,241	19,500				19,800					黒部市の最大イベントとして、多くの参加者を募る。	—	(新型コロナウイルス感染拡大の影響から事業を中止)
					19,658	17,914	-									
5-6	72	総合型地域スポーツクラブの会員数(人)	教育委員会 スポーツ課	1,717	1,750				1,800					市民ひとりスポーツを推進するため、スポーツ教室を開催している総合型地域スポーツクラブの会員数の増を図る。	△	新型コロナウイルス感染症の影響により、会員が加入を見合わせたことが会員数減の理由の一つと推測されることから、今年度の値は特異値と考えられる。今後も収束が見込めない場合は、目標値の設定を修正する必要がある。
					1,755	1,746	1,459									
5-7	73	国際交流団体数(団体)	総務企画部 企画情報課	26	28				30					市民の国際感覚醸成と国際交流活動の促進を図るため、国際交流に関わる団体の増加を目指す。	△	団体数は横ばいとなっているが、活動実態を伴わない団体も含まれていることから、団体の活動支援を行いながら国際交流活動の促進を図る。
					26	26	26									
6-1	74	流入・流出人口(人/年)	総務企画部 企画情報課	3,294	3,400				3,500					産業・福祉・教育分野などの魅力向上に努め、流入人口の増加と流出人口の減少を目指す。	—	新型コロナの影響でR2国勢調査の結果が遅れており、R3.11月に公表予定となっている。
					-	-	-	-	-							
6-1	75	移住・定住体験施設の利用者数(人/年)	総務企画部 企画情報課	197	450				600					定住体験施設の増設と移住PR活動による利用者の増加を図る。	×	新型コロナの影響により、利用者数が減少した。県外から県内への移動が制限されるなど、ウィズコロナを念頭に置きながら利用者の増加につながるよう移住PR活動を行う。
					179	150	106									
6-2	76	公募提案型協働事業の提案事業数(件/年)	総務企画部 企画情報課	7	10				15					公募提案型事業の実施により市民等の積極的なまちづくりへの参画を促す協働のまちづくりを推進する。	○	市民提案型とチャレンジ提案型でそれぞれ1件ずつ採択件数が増えたことで全体件数が伸びた。今後も市民等への本事業を周知し協働のまちづくりの推進を図る。
					5	6	8									
6-3	77	人権啓発活動を実施した回数(回/年)	市民生活部 市民環境課	8	9				10					市民の人権問題に対する理解と認識を深めることをめざし、適切な機会を捉え、人権啓発活動を実施する。	△	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から街頭活動が減少したが、小学校での人権出前教室や保育所での人形劇上演、福祉施設での啓発活動などにより、人権尊重意識の高揚に努めた。
					9	8	6									
6-3	78	審議会などへの女性登用率(%)	教育委員会 生涯学習文化課	26.0	28.0				30.0					審議会等に女性の登用を進めることにより、女性が安心して職場や地域で活躍できる社会を目指す。	△	登用率はほぼ横ばいの状態が続いているが、各審議会等の役員改選期に向け周知を行うなど、女性活躍の場の創出を図っていく。
					25.7	26.4	26.2									
6-4	79	職員出前講座、市長と語る会の参加者(人/年)	総務企画部 企画情報課	1,800	2,250				2,500					出前講座、市長と語る会を通し、市の取組を知ってもらう。	×	コロナ禍の影響もあり、出前講座の申し込みは例年より少なかったが、市長と語る会については、より周知を行うことで例年並みの実施することができた。また、地区、団体ごとのテーマに応じられるようテーマ設定に留意することで意見交換の活性化につなげるよう努めた。
					872	1,045	551									
6-5	80	Wi-Fiアクセス箇所数(箇所)	総務企画部 企画情報課	4	8				12					安全安心な公共Wi-Fiアクセスポイントを増やすことにより観光客等の満足度を高める。	○	R2は国際文化センターコーラシを追加。各施設の需要を考慮しながら、KUROBEcityWi-Fi及びTOYAMAFreeWi-Fi等の整備を進めていく必要がある。
					8	8	9									
6-6	81	行政改革実行計画に掲げる取組の達成率(%)	総務企画部 総務課	40	80				80					~H29:第3次推進期間、H30~H34:第4次推進期間、H35~H39:第5次推進期間において設定した行革の取組が着実に達成されるよう管理を行い、市の諸課題の解決を図る。	△	22の実行計画で、14計画が目標を達成するが、一部目標指標等の見直しが必要と考える。 ※23実行計画で、1計画はコロナ禍により未実施。
					56	69	63									

目標とする指標一覧表(令和2年度実績)

進捗状況の凡例および該当数	<R2年度進捗状況> ◎:目標値を達成しているもの ○:進展しているもの △:横ばい状況のもの ×:進展していないもの
---------------	--

施策区分	No.	指標名	担当課	現況値 H29	目標値										目標の考え方	R2 進捗 状況	R2進捗状況の 分析・評価・理由等
					実績												
					H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9			
6-7	82	実質公債費比率(%)	総務企画部 財政課	13.4	16.0以下					17.9以下					起債償還がR元年度ごろから増加し高い水準を推移する見込みであり、起債の発行を抑制し継続的に繰上償還を進める。	◎	統合中学校、道の駅の整備事業などの市債償還額が増加し、今後実質公債費比率は増加する見込みである。引き続き、交付税措置のある起債を活用するなど、健全な財政運営に努める。
					12.0	11.3	11.5										
6-7	83	一般会計市債残高(臨時財政対策債を除く)(億円)	総務企画部 財政課	206	222					196					起債償還がR元年度ごろから増加し高い水準を推移する見込みであり、起債の発行を抑制し継続的に繰上償還を進める。	◎	依然として発行額が高い水準にあるため、年度間の大型事業の平準化により、新規市債発行額と毎年度の元金償還額を均衡させることで、市債残高の抑制に努める。
					207	204	204										
6-7	84	口座振替率(市税)(%)	総務企画部 税務課	63	65					67					便利で納め忘れのない口座振替の推進に努めるとともに、コンビニ収納等を導入することで、納税環境の利便性の向上を図る。	△	納税通知書送付時に口座振替勧奨チラシを同封するなどの啓発はしているが、横ばいであった。スマートフォン決済やコンビニ収納を導入し、納税環境が多様化している現状においては、維持できているものと考え
					60	60	60										